

文化表现学科

2019年9月27日 更新

科目名	文学に親しむ		単位数	2	実務経験	担当教員 おいかわ みちゆき 及川 道之
ナンバリングコード	LC211	授業形態	講義	有・無		
授業の内容	古代から近代までの日本文学の主要な作品と作家について順を追って取り上げ、それぞれの特性と意義・魅力について考察していく。個々の作品を実際に読み進めながら、背景となった時代や社会との関わりや文学が有する価値を実感する。					
到達目標	1. 文学の魅力と価値について深く理解できている。 2. 社会の不透明性に対して想像を働かすことが身についている。 3. いくつかの文学作品について自らの言葉で語る事ができている。					
学位授与方針	幼児教育学科 (1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科 (1・2・3・4・5) 文化表現学科 (①・2・③・4)					
授業計画	第1回	内容	授業の開始にあたって～文学とどう関わってきたか、これからどうかかわるのか	予習	シラバスの記載内容を熟読し、疑問点を明確しておく。	
				復習	これまでに学習した作品のリストを作る	
	第2回	内容	古事記①～神話はなぜ生まれたのか	予習	古事記の概要について調べる	
				復習	古事記の特徴と成立についてまとめる	
	第3回	内容	古事記②～創世神話を読む	予習	イザナミ・イザナミとはどんな神サマ?	
				復習	創世神話についてまとめる	
	第4回	内容	万葉集①～うたの持つ多様な魅力	予習	万葉集の概要について調べる	
				復習	取り上げたうたを整理してまとめる	
	第5回	内容	万葉集②～どう書かれていたのか	予習	「万葉がな」について調べる	
				復習	取り上げたうたを整理してまとめる	
	第6回	内容	竹取物語～かぐや姫の訴えたかったこと	予習	竹取物語の概要について調べる	
				復習	竹取物語の内容を整理してまとめる	
	第7回	内容	源氏物語①～平安朝の実相と物語の始まり	予習	源氏物語の概要について調べる	
				復習	桐壺の巻の内容を整理してまとめる	
	第8回	内容	源氏物語②～皇族と臣下との葛藤	予習	平安時代について調べる	
				復習	皇子・左大臣などの呼称を整理してまとめる	
第9回	内容	源氏物語③～「宇治十条」の世界	予習	宇治の地理と歴史を調べる		
			復習	宇治十条のメッセージを整理してまとめる		
第10回	内容	宇治拾遺物語①～昔話「藁しべ長者」の原典と実相	予習	藁しべ長者について調べる		
			復習	説話の魅力を整りしてまとめる		
第11回	内容	宇治拾遺物語②～昔話「こぶ取り爺さん」の原典と実相	予習	こぶ取爺さんについて調べる		
			復習	説話の魅力と社会背景を整理してまとめる		
第12回	内容	つれづれ草～兼好法師の内面に迫る	予習	徒然草について調べる		
			復習	作者の社会観人間観を整理してまとめる		
第13回	内容	閑吟集・柳多留～うたの魅力と楽しさ	予習	今様・川柳について調べる		
			復習	取り上げたうたを整理してまとめる		
第14回	内容	小泉八雲～「怪談」のいくつかを読む	予習	小泉八雲について調べる		
			復習	取り上げた怪談を整理してまとめる		
第15回	内容	宮沢賢治～なぜ、何を希ったのか	予習	宮沢賢治について調べる		
			復習	取り上げた作品を整理してまとめる		
予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。						
課題へのフィードバック	レポート回収の折に評価の基準を具体的に伝える					
成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する / (○) しない 成績評価の方法：筆記試験 () %、レポート・課題 (70%)、作品・発表 () %、実技 () %、授業態度 (30%)					
教科書	なし (プリントを配布する)					
参考文献	必要に応じ指示する					
注意事項	疑問点をもって授業に臨む					

科目名	生涯学習概論	単位数	2	実務経験	担当教員	まつお のぶこ 松尾 信子
ナンバリングコード	LB101	授業形態	講義	有・無		
授業の内容	すべての発達段階にある人間が充実した人生を送るため、急速に変化する社会環境に適応するために、生涯学習の重要性が一段と増しています。この講義では、生涯学習の歴史的背景、形態・方法・内容を学ぶとともに、地域の生涯学習推進の中核的拠点となる図書館において、図書館司書が学習者の援助や指導に必要な知識や考え方について理解を深めます。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生涯学習の理念や意義を理解し、専門用語を用いて自分の考えを述べることができる。 2. 自己の生涯学習プランを作成することができる。 3. 図書館司書の役割を理解し、学習者への支援計画を立てることができる。 					
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（①・2・③・4）					
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション 「人生100年時代」における働き方と生涯学習	予習	シラバスを読んでおく	
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する	
	第2回	内容	生涯学習の理念と歴史（～明治中期）	予習	明治中期までの日本の教育について調べる	
				復習	生涯学習の意味と定義についてまとめる	
	第3回	内容	生涯学習の歴史（明治末期～）	予習	明治末期以降の日本の教育について調べる	
				復習	日本の教育の歴史をまとめる	
	第4回	内容	ユネスコの生涯教育論	予習	ユネスコについて調べる	
				復習	理念と生涯教育に関する活動をまとめる	
	第5回	内容	OECDのリカレント教育 生涯学習と学校教育	予習	OECDについて調べる	
				復習	設立目的とリカレント教育についてまとめる	
	第6回	内容	〔個人ワーク〕生涯学習の理念や意義について、専門用語を用いて論文を作成する	予習	論文のテーマを決める	
				復習	内容・体裁を整えて、提出資料を作成する	
	第7回	内容	生涯各期の発達課題と生涯学習	予習	発達段階について調べる	
				復習	発達段階の特徴と学習内容についてまとめる	
	第8回	内容	生涯学習の機会と形態	予習	生涯学習の形態について調べる	
				復習	機会の多様性と形態の特徴についてまとめる	
第9回	内容	生涯学習と社会教育の方法 〔実践演習〕	予習	社会教育にはどのような方法があるか調べる		
			復習	様々な方法について特徴と成果をまとめる		
第10回	内容	生涯学習の内容と計画	予習	所沢市が実施する生涯学習の内容を調べる		
			復習	学習の内容と形態・方法の関係性をまとめる		
第11回	内容	〔グループワーク〕生涯学習プランを作成する	予習	プランのアイデアを練る		
			復習	パンフレットとプレゼン資料を作成する		
第12回	内容	〔発表〕作成した生涯学習プランの発表	予習	発表の準備（リハーサル）		
			復習	他者の発表内容に対する意見・感想をまとめる		
第13回	内容	生涯学習と社会教育施設・社会教育職員の役割と専門性	予習	生涯学習のための施設と職員について調べる		
			復習	施設と職員の機能、役割、専門性をまとめる		
第14回	内容	〔個人ワーク〕図書館司書の視点から学習支援プランを作成する	予習	プランのアイデアを練る		
			復習	パンフレットとプレゼン資料を作成する		
第15回	内容	〔発表〕作成した学習支援プランの発表 総括：生涯学習の必要性を理解し、価値を創造する	予習	プランの作成を通して何を学んだかを考える		
			復習	自己の学習計画を立て成果を想定する		
予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。復習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。						
課題へのフィードバック	レポートや課題に対する提出物に関しては、その都度、ランク付けとコメントを添付して返却します。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（40%）、作品・発表（40%）、授業態度（20%）					
教科書	なし					
参考文献	『生涯学習概論』（佐藤晴雄、学陽書房）					
注意事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 時間厳守です（始業時間に遅れて教室に入らないでください）。 2. レジュメは毎回、事前にインターネットで配信します。予習に活用するとともに、講義の際に忘れずに持参してください。 3. 授業は演習を取り入れた全員参加型ですので、楽しく活発な授業内容になるように協力してください。 					

科目名	心理学入門	単位数	2	実務経験	担当教員	かがや たかふみ 加賀谷 崇文
ナンバリングコード	GE111	授業形態	講義	有・無		
授業の内容	心理学は人の心という誰にとっても身近なものを扱う学問であるが、領域は多岐に渡り、様々な分野の「～心理学」がある。本講義では、心理学における主要な考え方を紹介するとともに、学生が授業の中で、心理学的な体験をしてもらう。					
到達目標	1. 心理学という学問領域を理解している。 2. 心理学の諸領域を知っている。 3. 心理学の代表的な理論を学んでいる。 4. 自身の体験と心理学の理論を関連付けられる。					
学位授与方針	幼児教育学科 (1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科 (1・2・3・4・5) 文化表現学科 ①②③④					
授業計画	第1回	内容	心理学とは	予習	シラバスを読んでおく。	
				復習	授業内容の確認。	
	第2回	内容	心理学の歴史	予習	教科書を読んでおく。	
				復習	授業内容の確認。	
	第3回	内容	認知と心理学	予習	教科書を読んでおく。	
				復習	自分の生活に当てはめて考える。	
	第4回	内容	行動と心理学	予習	教科書を読んでおく。	
				復習	自分の生活に当てはめて考える。	
	第5回	内容	発達と心理学	予習	教科書を読んでおく。	
				復習	自分の生活に当てはめて考える。	
	第6回	内容	知能と心理学	予習	教科書を読んでおく。	
				復習	自分の生活に当てはめて考える。	
	第7回	内容	性格と心理学	予習	教科書を読んでおく。	
				復習	自分の生活に当てはめて考える。	
	第8回	内容	心理テストと心理学	予習	教科書を読んでおく。	
				復習	自分の生活に当てはめて考える。	
第9回	内容	精神医学と心理学	予習	教科書を読んでおく。		
			復習	自分の生活に当てはめて考える。		
第10回	内容	悩みと心理学	予習	教科書を読んでおく。		
			復習	自分の生活に当てはめて考える。		
第11回	内容	対人援助と心理学	予習	教科書を読んでおく。		
			復習	自分の生活に当てはめて考える。		
第12回	内容	その他の心理学	予習	教科書を読んでおく。		
			復習	自分の生活に当てはめて考える。		
第13回	内容	心理学と研究	予習	教科書を読んでおく。		
			復習	自分の生活に当てはめて考える。		
第14回	内容	心理学と実験	予習	教科書を読んでおく。		
			復習	自分の生活に当てはめて考える。		
第15回	内容	心理学と生活	予習	教科書を読んでおく。		
			復習	自分の生活に当てはめて考える。		
予習に要する学習時間：概ね15分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。						
課題へのフィードバック	テストの結果について知らせる。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（90%）、レポート・課題（ %）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度（10%）					
教科書	『新体系 看護学全書 基礎分野 心理学』（田中一彦、長田久雄、メヂカルフレンド社）					
参考文献	『書名』（著者名、出版社名）					
注意事項	私語を慎むこと。					

科目名	現代社会入門	単位数	2	実務経験	担当教員	まつき ひさこ 松木 久子
ナンバリングコード	GE112	授業形態	講義	有・無		
授業の内容	これまで常識とってきたことが、果たして本当にそうなのか、という疑問を抱くような内容を学生たちに提示していきたい。大いに自分で疑い、考え判断してほしい。					
到達目標	1. 2. 3. オリンピックや政治について、基礎的な知識や問題点について理解できる。 4. 子どもや歴史的な事柄について、基礎的な知識や問題点について理解できる。					
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（1・②・③・4）					
授業計画	第1回	内容	野中先生担当	予習		
				復習		
	第2回	内容	野中先生担当	予習		
				復習		
	第3回	内容	野中先生担当	予習		
				復習		
	第4回	内容	野中先生担当	予習		
				復習		
	第5回	内容	野中先生担当	予習		
				復習		
	第6回	内容	野中先生担当	予習		
				復習		
	第7回	内容	野中先生担当	予習		
				復習		
	第8回	内容	オリンピックは平和の祭典か！？	予習	オリンピックについて調べる。	
				復習	学んだことをまとめる。	
第9回	内容	戦争について考える（1）	予習	第二次世界大戦について調べる。		
			復習	理解したことをまとめる。		
第10回	内容	戦争について考える（2）	予習	世界の紛争について調べる。		
			復習	理解したことをまとめる。		
第11回	内容	世界の子どもたちの状況について学ぶ（1）	予習	少年兵や児童労働について調べる。		
			復習	学んだことについてまとめる。		
第12回	内容	世界の子どもたちの状況について学ぶ（2）	予習	子どもにとっての幸せについて調べる。		
			復習	学んだことについてまとめる。		
第13回	内容	日本の政治について学ぶ	予習	政治家や政党などについて調べる。		
			復習	理解したことをまとめる。		
第14回	内容	原爆や原発の問題について学ぶ	予習	原爆や原発について調べる。		
			復習	理解したことをまとめる。		
第15回	内容	まとめと発表	予習	学び理解したことをまとめる。		
			復習	自分なりの見解を発展させる。		
	予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。					
課題へのフィードバック	授業中に小レポートや課題等により、学生の理解を深めるようにする。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（50%）、作品・発表（25%）、実技（ ）、授業態度（25%）					
教科書	『書名』（著者名、出版社名） 特に指定はしない。					
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 授業中に適宜、プリント資料等を配布し、紹介する。					
注意事項	主体的に興味関心を持ち、いろいろなことについて積極的に調べてほしい。					

科目名	くらしと経済	単位数	2	実務経験	担当教員	よしい としまさ 吉井 利眞
ナンバリングコード	BP131	授業形態	講義	有・無		
授業の内容	私たちは消費をやめることはできません。ある水準の消費生活の実現には、安定的な雇用と一定の所得が必要となります。また、消費生活は安全が不可欠です。しかし、現実はどうでしょうか。消費生活の基盤や環境がいまどうなっているのか、講義を通して整理していきます。					
到達目標	1. 経済学の基礎概念を習得し、経済時事問題を理解するための基本的な視点を確立する。 2. 消費者として行動するときに留意しなければならない消費環境について理解を深める。 3. 一般常識、時事問題に回答できる。					
学位授与方針	幼児教育学科 (1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科 (1・2・3・4・5) 文化表現学科 (1・2・③・4)					
授業計画	第1回	内容	消費者行動の理解① 消費欲求とその対象について経済学的に理解する	予習	効用という概念について検索しておく	
			復習	プリントの復習問題に答える		
	第2回	内容	消費者行動の理解② 消費生活の水準について経済学的に理解する	予習	基礎的消費とは何か調べておく	
			復習	プリントの復習問題に答える		
	第3回	内容	消費者行動の理解③ 価格と消費について経済学的に理解する	予習	価格に消費者がどう反応するか考えておく	
			復習	プリントの復習問題に答える		
	第4回	内容	消費者行動の理解④ 所得と消費について経済学的に理解する	予習	消費生活への所得の影響を考えておく	
			復習	プリントの復習問題に答える		
	第5回	内容	消費生活の現状① 家計調査について集計方法や内容について理解する	予習	総務庁のWEBページを概観しておく	
			復習	プリントの復習問題に答える		
	第6回	内容	消費生活の現状② 家計収入と消費について家計調査をもとに理解する	予習	直近の家計調査報告をWEBで見しておく	
			復習	プリントの復習問題に答える		
	第7回	内容	消費生活の現状③ 雇用と消費について家計調査をもとに理解する	予習	直近の家計調査報告をWEBで見しておく	
			復習	プリントの復習問題に答える		
	第8回	内容	消費生活の現状④ 家計消費の特徴について家計調査をもとに理解する	予習	直近の家計調査報告をWEBで見しておく	
			復習	プリントの復習問題に答える		
第9回	内容	消費者環境① 企業と家計について経済学的に理解する	予習	企業の役割を考えておく		
		復習	プリントの復習問題に答える			
第10回	内容	消費者環境② 行政と家計について経済学的に理解する	予習	租税負担についてWEBで調べておく		
		復習	プリントの復習問題に答える			
第11回	内容	消費者環境③ 消費と安全について消費者、企業、行政の関わり方を理解する	予習	PL法とは何か調べておく		
		復習	プリントの復習問題に答える			
第12回	内容	消費者環境④ 購買チャンネルの多様化について実例によりながら理解を深める	予習	楽曲の購入方法を考えておく		
		復習	プリントの復習問題に答える			
第13回	内容	賢い消費者とは① 財やサービスの選択基準の確立について考える	予習	各自の商品の選択基準を考えておく		
		復習	プリントの復習問題に答える			
第14回	内容	賢い消費者とは② 現在の消費と将来の消費について考える	予習	貯蓄の理由を考えておく		
		復習	プリントの復習問題に答える			
第15回	内容	総括 私が考える消費生活	予習	これまでのプリントを見直す		
		復習	プリントの復習問題に答える			
予習に要する学習時間：概ね 90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90分を目安とする。						
課題へのフィードバック	復習問題にコメントする					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／(○)しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（80%）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度（20%）					
教科書	なし					
参考文献	必要に応じて授業時に指示します					
注意事項	経済関係のニュースに関心を持ちようにしましょう。					

科目名	情報と社会	単位数	2	実務経験	担当教員 のなか ひろふみ 野中 博史
ナバリングコード	CT111	授業形態	講義	有・無 無	
授業の内容	社会人としての適切な判断、合理的な推論、自律的発表等ができる力を育成することを目的とし、メディアと情報の観点から現代社会における各種の社会的問題を取り上げて民主主義化における法理論的側面も含めて考察する授業とする。				
到達目標	1. 現実の社会的問題に関して法的根拠に基づいて合理的な判断を下す力を身に付けることができる。 2. 現実の社会問題を分析し、自分なりの意見を持つことができるようになる。 3. 現実の社会問題に関して持った自分の意見を発表できるようになる。				
学位授与方針	幼児教育学科 (1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科 (1・2・3・4・5) 文化表現学科 (1・2・3・4)				
授業計画	第1回	内容	ガイダンス 民主主義下における報道の役割と表現の自由について概説する	予習	シラバスp読んでおく
				復習	授業内容を理解すること
	第2回	内容	表現の自由 民主主義と表現の自由の関係、その意味と意義について説明する。	予習	表現の自由について調べておくこと
				復習	授業内容について要旨を箇条書きすること
	第3回	内容	検閲の禁止と表現規制。検閲と表現規制の違いについて解説する。	予習	検閲について調べておくこと
				復習	授業内容について要旨を箇条書きすること
	第4回	内容	取材と報道の自由。報道の自由の意味、範囲について説明する。	予習	報道の自由について調べておくこと
				復習	授業内容について要旨を箇条書きすること
	第5回	内容	情報流通と頒布の自由 表現の自由が情報の流通にまで及ぶことを説明する。	予習	情報流通の自由について調べておくこと
				復習	授業内容について要旨を箇条書きすること
	第6回	内容	報道と国家利益。報道と国家利益の衝突について事例に基づいて説明する。	予習	報道と国家について調べておくこと
				復習	授業内容について要旨を箇条書きすること
	第7回	内容	振り返りと小テスト	予習	これまで学んだことを確認しておくこと
				復習	授業内容について要旨を箇条書きすること
	第8回	内容	平等社会の実現と差別表現。差別表現の問題について考える。	予習	差別表現について調べておくこと
				復習	授業内容について要旨を箇条書きすること
第9回	内容	子どもをめぐる表現規制。子どもをめぐる表現規制について考える。	予習	子どもを巡る表現規制について調べておくこと	
			復習	授業内容について要旨を箇条書きすること	
第10回	内容	名誉棄損と人権。名誉棄損とは何か、表現の自由の制約について考える。	予習	名誉棄損について調べておくこと	
			復習	授業内容について要旨を箇条書きすること	
第11回	内容	名誉棄損と免責。名誉棄損の免責とは何か、表現の自由と人権について考える。	予習	名誉棄損の免責について調べておくこと	
			復習	授業内容について要旨を箇条書きすること	
第12回	内容	プライバシーの侵害。プライバシー侵害と人権について解説する	予習	プライバシー侵害について調べておくこと	
			復習	授業内容について要旨を箇条書きすること	
第13回	内容	プライバシーの侵害と免責。プライバシー侵害の免責意味について考える。	予習	プライバシー侵害の免責について調べておくこと	
			復習	授業内容について要旨を箇条書きすること	
第14回	内容	報道と人権について、事件をもとに検証する	予習	新聞を読んでおくこと	
			復習	授業内容について要旨を箇条書きすること	
第15回	内容	表現の自由とその制約について概括的に説明する	予習	新聞を読んでおくこと	
			復習	授業内容について要旨を箇条書きすること	
	予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。				
課題へのフィードバック	適宜、確認の時間をとる。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施()する/○しない 成績評価の方法：筆記試験()%、レポート・課題(60%)、作品・発表(20%)、実技()%、授業態度(20%)				
教科書	『書名』(著者名、出版社名) 独自の教材を提供する				
参考文献	『書名』(著者名、出版社名)：マスメディア論(有斐閣)				
注意事項	本授業は、「アクティブラーニング」方式を取り入れた授業である。方法は教員が提示した具体的事例(新聞記事などのニュース)に対し、学生がそれぞれ自分の考えを述べるように促す。				

科目名	書道を学ぶ	単位数	2	実務経験	担当教員	つちや あけみ 土屋 明美
ナバリングコード	CE141	授業形態	演習	④・無		
授業の内容	日本の伝統及び現代文化に加え異文化に対して理解する。基本的な漢字(楷書・行書)の筆づかい・筆の運び方から作品の制作まで行うことができる力を身につけることを目的とする。毎時間、お手本を課題にして練習と清書を繰り返す。楷書・行書の知識を習得して自由制作にまとめる。					
到達目標	1. 日本の伝統及び現代文化に加え異文化に対して理解している 2. 基本的な漢字(楷書・行書)の筆づかい・筆の運び方から作品の制作まで行うことができる力を身につけている 3. 表現する知識・能力を身につけている					
学位授与方針	幼児教育学科 (1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科 (1・2・3・4・5) 文化表現学科 (①・②・3・4)					
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション、授業の進め方	予習	シラバスを読んでおく	
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する	
	第2回	内容	姿勢・執筆/さまざまな楷書	予習	プリントを読んでおく	
				復習	さまざまな楷書についてまとめる	
	第3回	内容	楷書①九成宮醜泉銘 練習	予習	身近な楷書について調べる	
				復習	九成宮醜泉銘について理解する	
	第4回	内容	" ② " 清書	予習	九成宮醜泉銘の要点を整理しておく	
				復習	楷書の基本についてまとめる	
	第5回	内容	" ③孔子廟堂碑 練習	予習	プリントを読んでおく	
				復習	孔子廟堂碑について理解する	
	第6回	内容	" ④ " 清書	予習	孔子廟堂碑について調べる	
				復習	楷書の用筆についてまとめる	
	第7回	内容	" ⑤半切にまとめる	予習	楷書の要点を整理しておく	
				復習	半切についてまとめる	
	第8回	内容	行書①さまざまな行書	予習	プリントを読んでおく	
				復習	行書について理解する	
第9回	内容	" ②蘭亭序 練習	予習	身近な行書について調べる		
			復習	蘭亭序について理解する		
第10回	内容	" ③ " 清書	予習	行書の要点を整理しておく		
			復習	蘭亭序についてまとめる		
第11回	内容	" ④風信帖 練習	予習	プリントを読んでおく		
			復習	風信帖について理解する		
第12回	内容	" ⑤ " 清書	予習	風信帖の要点を整理しておく		
			復習	行書の用筆についてまとめる		
第13回	内容	" ⑥半切にまとめる	予習	行書の要点を整理しておく		
			復習	半切についてまとめる		
第14回	内容	自由制作①試作	予習	プリントを読んでおく		
			復習	草稿を考える		
第15回	内容	" ②完成	予習	草稿を推敲する		
			復習	制作を振り返り、改善方法をまとめる		
予習に要する学習時間：概ね15分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。						
課題へのフィードバック	課題作品にコメントを行う					
成績評価	試験期間における定期試験：実施()する/ (○)しない 成績評価の方法： 作品・発表 (60%)、授業態度 (40%)					
教科書	『新編書道I』教育出版社					
参考文献	随時、参考文献を配布する					
注意事項	書道に関心を持って授業に臨むことを希望する。 用具・用材：大筆、硯、墨、下敷、文鎮、水滴、半紙など					

科目名	英会話基礎演習	単位数	2	実務経験	担当教員	あかまつ みちこ 赤松 道子
ナバリングコード	GE121	授業形態	演習	有・無		
授業の内容	英会話の基本的具体的な項目を少しずつ学び、少しずつ覚え、練習していきます。聞くこと、話すことを中心として、1対1で話す経験を通して、身近な話題をはっきりとゆっくりと集中して聞き取り、話す練習をします。授業の最初にアンケートを行い、学生のみなさんの要望を授業に取り入れます。小話を聞き、クイズに答えながら、英語に慣れていきましょう。テーマ修了後に「ふりかえりの記録」にわからない単語・表現を書いてもらい、次回の授業で復習します。(授業内容は授業時間によって変更がある場合があります)。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. はっきりとゆっくりと自分、家族、周りの世界の具体的な事柄について、基本的な表現を理解する。 2. 質問したり、答えたりのやり取りを身につける。 3. 恥ずかしさや英語への恐れを少なくし、人前で話すことに慣れて、発表できる。 					
学位授与方針	幼児教育学科 (1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科 (1・2・3・4・5) 文化表現学科 (1・②・3・4)					
授業計画	第1回	内容	授業アンケート記入と自己紹介。学生に適した自己紹介を学ぶ	予習	自分のことを日本語で紹介できるように整理する	
				復習	自己紹介の定型的表現を復習する	
	第2回	内容	自己紹介・あいさつの仕方 出会ったとき、別れる時の表現を学ぶ	予習	自分の知っているあいさつ表現をまとめる	
				復習	あいさつ表現の定型的言い方を復習する	
	第3回	内容	仕事・職業 基本的な表現	予習	どのような職業があるか、書き出して整理する	
				復習	仕事、職業について単語、表現を復習する	
	第4回	内容	世界の言葉・人々・国々(1) 基本表現。 日本と密接な関係にある国を取り上げる	予習	日本と密接な関係にある国はどのような国か、日本語で整理してみる	
				復習	日本と密接な関係にある国の場所を確認し、国名を音読する	
	第5回	内容	世界の言葉・人々・国々(2) 言語、人々 〇〇語、〇〇人という表現を学ぶ	予習	世界の言語を列挙してみる	
				復習	世界の言語と人々の国籍についての単語を音読し、復習する	
	第6回	内容	世界の言葉・人々・国々(3) 世界の国々 〇〇国、〇〇国の、という表現を理解する	予習	近い国の名前を英語で調べる	
				復習	国名を音読し、書いて復習する	
	第7回	内容	家族(1) 基本表現 家族関係の基本的な単語を理解する	予習	基本的な家族についての単語を英語で書いてみる	
				復習	家族の表現を音読し、書いて確認する	
	第8回	内容	家族(2) 親戚、友。 幅広い関係を示す表現を学ぶ	予習	親戚についての言い方を日本語で整理する	
				復習	親戚に関する単語を書いて確認する	
	第9回	内容	家族(3) 応用練習 家族についての表現を用いて会話練習する	予習	家系図を日本語で書いてみる	
				復習	家族に関する文章を音読 自分の家族について書いてみる	
	第10回	内容	時の表現(1) 基本的な表現の習得 時を示す表現方法を学ぶ	予習	数字を英語で確認する	
				復習	時間の表現を読み上げて確認する	
	第11回	内容	時の表現(2) 毎日、朝から夜までの表現 〇〇時に何をするとという表現を学ぶ	予習	朝から夜までの自分の行動予定を振り返る	
				復習	朝から夜までの英語表現を復習	
	第12回	内容	時の表現(3) 年月日について 西暦、月、日の表現方法を学ぶ	予習	月の言い方を整理する	
				復習	西暦、月、日の表現を書き、音読し、復習する	
	第13回	内容	時の表現(4) 曜日、頻度の表現 いつもする、ときどきする、という頻度を示す表現を学ぶ	予習	曜日の言い方を書いてみる	
				復習	頻度の副詞を確認し、文章を音読する	
	第14回	内容	誕生日、要望の表現 〇〇したい、という要望の表現を学び、自分の例を話す	予習	自分の誕生日を英語で書いてみる	
				復習	要望の表現を確認し、音読する	
	第15回	内容	色彩・洋服・買物の表現。 買物場面を念頭に置いて、会話練習する	予習	色彩に関する単語を整理する	
				復習	洋服、買物の表現を確認し、書いてみる	
	第16回	内容	質疑応答の基本表現 疑問文の練習 会話を継続するために適した質問ができるように練習する	予習	疑問詞を書き出してみる	
				復習	普通文を疑問文に直し、音読する	
	第17回	内容	食事・食べ物(1) 基本的な表現の習得 食べ物の単語を確認する	予習	野菜、果物の単語を書いてみる	
				復習	食べ物の単語を音読し、それを用いて文章をつくる	
	第18回	内容	食事・食べ物(2) 朝食・昼食 食事場面の練習をする	予習	朝食、昼食に食べるものを整理する	
				復習	食事場面の会話を音読する	

	第19回	内容	食事・食べ物(3) 注文の仕方。応用練習 注文・支払の仕方の基本を学ぶ	予習	支払方法はどのようなものがあるか、まとめる
				復習	注文、支払場面の会話を書き出し、音読する
	第20回	内容	食事・食べ物(4) 世界の料理。世界の民族料理に 注目し、味についても学ぶ	予習	日本の近隣国の料理の特徴をまとめる
				復習	世界の料理に関する表現を音読
授業計画	第21回	内容	あいづちの打ち方、会話で特徴的な表現を 学ぶ	予習	前回授業での味についての表現を振り返り、書き出してまとめる
				復習	自分の意見を表現できるように、あいづちの文章を音読する
	第22回	内容	住まい・家・部屋 基本表現の習得。 〇〇あります、という存在を示す表現の練習をする	予習	自分の家の間取りを日本語で整理する
				復習	家、部屋の単語、文章を自宅に即して書いてみる
	第23回	内容	道案内・方角。基本表現の練習。実際に自分の最寄り駅から学校まで、東京の地下鉄を使って道案内をする	予習	自宅から学校までの行き方を日本語で確認する
				復習	地下鉄マップを使い、案内をシミュレーションして振り返る
	第24回	内容	電話、電話の対応(1) 電話の基本表現。 電話の仕方の基本表現を学ぶ	予習	自分が電話するとき、日本語でどのような手順で話をするか整理する
				復習	電話の基本表現の文章を音読する
	第25回	内容	電話、電話の対応(2) 伝言、電話の種類。職場での伝言の取次、対応を練習する	予習	自分が伝言を依頼するとき、どうするか日本語でまとめる
				復習	伝言の表現を書き出し、音読する
	第26回	内容	クリスマス・新年。歌・ゲーム。世界のクリスマス、日本のクリスマスと比較し、関連表現を学ぶ	予習	日本のクリスマスはどのようなものか、日本語で考えてみる
				復習	クリスマスについて自分の経験を話せるように、文章を書いてみる
	第27回	内容	日本の新年。日本に特徴的な料理、習慣を取り上げて、関連表現を学び、自分の例を話す練習をする	予習	自宅での新年の送り方を振り返って整理する
				復習	日本の新年の習慣についての文章を再度書き、音読する
	第28回	内容	スケジュール・約束・提案。基本表現。未来形を学び、約束に関連する表現を学ぶ	予習	自分の1週間、1年間のスケジュールを整理
				復習	約束、提案の表現を書き出して、音読する
	第29回	内容	将来・予定・人生設計。基本表現。自分の将来の希望について話す練習をする	予習	自分の人生設計、将来やりたいことを日本語で整理する
				復習	自分の将来について文章化し、音読する
	第30回	内容	復習・試験練習。 今まで学んできた内容を確認し、復習する	予習	誕生日にしたいことをまとめる
				復習	復習のプリントの内容を確認し、書き出し、音読する
予習に要する学習時間：概ね 15 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	定期試験後に解答を示し、解説する。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施(○)する/()しない 成績評価の方法：筆記試験(70%)、レポート・課題()%、作品・発表()%、実技()%、授業態度(30%)				
教科書	カリキュラムに応じてプリントを配付します。				
参考文献	必要な場合には指示します。				
注意事項	表現の習得のために発音の練習をします。間違ってもかまいませんから、大きな声で発音すること。意欲を持ち、積極的に授業に参加すること。授業には英語の辞書を持参すること。(電子辞書、冊子式辞書どちらでもよい)				

科目名	韓国語会話基礎演習	単位数	2	実務経験	担当教員	うおん じよんびん 元 鍾 彬
ナバリンコード	GE122	授業形態	演習	有・無		
授業の内容	日本には様々な国からたくさんの方が集まり生活しています。この人たちと一緒に平和な社会を築くための「異文化との対話」は、重要なキーワードとなっています。本講義では、アジア地域として日・韓の似ている文化を比較したり、また異なる面白い文化なども調べたりしながら進めます。韓国の若い人たちが好きなドラマや音楽などと接しながらヒアリングや会話の練習を行います。また、韓国文化体験をするために新大久保に見学に行きます。					
到達目標	1. ハングルの基礎をしっかりと学び、文字が読めるようになる。 2. 自分の名前をはじめ、ハングルで文字が書けるようになる。 3. 簡単な日常会話ができるようになる。 4. 主体的に韓国語の表現と日本語の表現の違いを学ぶ。					
学位授与方針	幼児教育学科 (1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科 (1・2・3・4・5) 文化表現学科 (①・2・3・4)					
授業計画	第1回	内容	ガイダンスーハンガルの学び方 ハンガルのなり立ちについて学びます。	予習	韓国のハンガルの成り立ちについて調べる	
				復習	ハングル文字体系について学習する	
	第2回	内容	ハンガルの発音(子音) 子音の音表記と一緒に基本子音 14 個と双 子音 5 個を学びます。	予習	ハンガルの子音と母音の関係を調べる。	
				復習	ハンガルの子音と母音の基本構造を確認する。	
	第3回	内容	ハンガルの発音(母音) 基本の母音 10 個と合成母音 11 個、全部 21 個の母音を音帆由真と一緒に学びます。	予習	子音と母音の発音記号を調べる。	
				復習	子音と母音の発音構造を確認する。	
	第4回	内容	母音と二重母音 母音には陽と陰があることを学びます。母 音の発音練習をします。	予習	二重母音の音表記を調べる。	
				復習	二重母音の発音を練習する。	
	第5回	内容	ハングル(パッチム) 子音の音表記を確認しながらパッチムの 読み方や書き方を学びます。	予習	パッチムとは何か、調べる。	
				復習	二重母音の読み方とパッチムについて確認。	
	第6回	内容	単語を読む テキストにある単語を読みながら正確な 発音を練習します。聞いた単語を書く練習 をします。 スマートフォンでハンガルの入力方法を 学びます。	予習	第1課を読む練習をする。	
				復習	ハンガルの書き方を確認する。(子音・母音・ パッチム)	
	第7回	内容	教室でよく使うことば 日常的な言葉や教室でよく使う言葉を日 本語の表現とどう違うのかを考えながら 学びます。	予習	韓国の挨拶の言葉について調べる。	
				復習	教室で使う子どもを覚える。	
	第8回	内容	自己紹介 基本的な子音と母音が分かると読み書き ができるので、自己紹介の文書を書いて発 表をします。	予習	第5課を調べる。	
				復習	自己紹介文を確認する。	
	第9回	内容	これは何ですか?テキスト 43 頁を学びま す。指示代名詞を学び、簡単な文書を作り ながら友達と「이/그/저」を使った会話の 練習をします。	予習	指示代名詞について調べる。	
復習				第7課の単語を覚える。		
第10回	内容	数字を学ぼう(発音が似ているもの探し) 数詞には漢数詞と固有数詞があります。漢 数詞の数え方、使い方を学びます。	予習	数詞について調べる。		
			復習	数字を覚える。		
第11回	内容	数字の読み方 モノを数える時は固有数詞を使います。も のを数える時の単位も一緒に学びます。	予習	モノを数える時の単位について調べる。		
			復習	時計の読み方を確認する。		
第12回	内容	位置や方向を学ぼう 方向や位置を表す言葉を学び、会話の練習 をします。テキストの 42 頁をみながら会 話の文書を作ります。	予習	方向について調べる。		
			復習	テキスト P42 を確認する。		
第13回	内容	今日は何曜日ですか? 曜日や時を表す言葉を一緒に学び、昨日・ 共・明日の曜日をいう練習をします。	予習	第8課の単語を調べる。		
			復習	曜日を確認し、話してみる。		
第14回	内容	これはいくらです? 韓国のお金について調べたり、物を買う時 の会話の練習をします。	予習	第9課の単語を調べてくる。		
			復習	買い物に使う言葉や単語を確認する。		
第15回	内容	韓国の食文化、若者の文化について調べま しょう。なぜ韓国人は誕生日の時にワカメ スープを食べるのかを調べたり考えま す。	予習	韓国の食文化について調べる。		
			復習	これまでの学習を総括して振り返る。		
第16回	内容	「～です。～ます。」の丁寧な現在形を学ぼう。 丁寧な表現には「かしこまった表現」と「打ち解けた 表現」があります。両方の使い方を学びます。	予習	韓国の言葉の丁寧な言い方を調べる。		
			復習	「～요. ~습니다.」の表現を確認する。		
第17回	内容	明日は何をしますか?(予定、推測)	予習	時を現す言葉を調べる。		

			予定や推定をする時に使う言葉、「~할 예정」又は動詞の活用「바ッチムのㄴ, ㄹ」を学びます。	復習	丁寧な表現を使いながら予定や推定の言葉を確認する。
	第18回	内容	シークレットガーデン① 聞き取り練習と聞いたことばの確認 韓国語ドラマをみながら聞こえる言葉(単語)を書きます。皆でどのような言葉が聞こえたのか黒板に書いて確認し、お互い学びます。	予習	韓国のドラマの特徴について調べる。
				復習	打ち解けた表現を確認する。
	第19回	内容	シークレットガーデン② 聞き取り練習と聞いたことばの確認 韓国語ドラマをみながら聞こえる言葉(単語)を書きます。皆でどのような言葉が聞こえたのか黒板に書いて確認し、お互い学びます。	予習	新しく出た単語や言い方の意味を調べる。
				復習	前回の単語や言い方を確認する。
	第20回	内容	シークレットガーデン③ 聞き取り練習と聞いたことばの確認 韓国語ドラマをみながら聞こえる言葉(単語)を書きます。皆でどのような言葉が聞こえたのか黒板に書いて確認し、お互い学びます。	予習	新しく出た単語や言い方の意味を調べる。
				復習	前回の単語や言い方を確認する。
授業計画	第21回	内容	シークレットガーデン④ 聞き取り練習と聞いたことばの確認 韓国語ドラマをみながら聞こえる言葉(単語)を書きます。皆でどのような言葉が聞こえたのか黒板に書いて確認し、お互い学びます。	予習	新しく出た単語や言い方の意味を調べる。
				復習	前回の単語や言い方を確認する。
	第22回	内容	シークレットガーデン⑤ 聞き取り練習と聞いたことばの確認 韓国語ドラマをみながら聞こえる言葉(単語)を書きます。皆でどのような言葉が聞こえたのか黒板に書いて確認し、お互い学びます。	予習	新しく出た単語や言い方の意味を調べる。
				復習	前回の単語や言い方を確認する。
	第23回	内容	シークレットガーデン⑥ 聞き取り練習と聞いたことばの確認 韓国語ドラマをみながら聞こえる言葉(単語)を書きます。皆でどのような言葉が聞こえたのか黒板に書いて確認し、お互い学びます。	予習	新しく出た単語や言い方の意味を調べる。
				復習	前回の単語や言い方を確認する。
	第24回	内容	シークレットガーデン⑦ 聞き取り練習と聞いたことばの確認 韓国語ドラマをみながら聞こえる言葉(単語)を書きます。皆でどのような言葉が聞こえたのか黒板に書いて確認し、お互い学びます。	予習	新しく出た単語や言い方の意味を調べる。
				復習	前回の単語や言い方を確認する。
	第25回	内容	シークレットガーデン⑧ 聞き取り練習と聞いたことばの確認 韓国語ドラマをみながら聞こえる言葉(単語)を書きます。皆でどのような言葉が聞こえたのか黒板に書いて確認し、お互い学びます。	予習	新しく出た単語や言い方の意味を調べる。
				復習	前回の単語や言い方を確認する。
	第26回	内容	シークレットガーデン⑨ 聞き取り練習と聞いたことばの確認 韓国語ドラマをみながら聞こえる言葉(単語)を書きます。皆でどのような言葉が聞こえたのか黒板に書いて確認し、お互い学びます。	予習	新しく出た単語や言い方の意味を調べる。
				復習	前回の単語や言い方を確認する。
第27回	内容	シークレットガーデン⑩ 聞き取り練習と聞いたことばの確認 韓国語ドラマをみながら聞こえる言葉(単語)を書きます。皆でどのような言葉が聞こえたのか黒板に書いて確認し、お互い学びます。	予習	新しく出た単語や言い方の意味を調べる。	
			復習	前回の単語や言い方を確認する。	
第28回	内容	シークレットガーデン⑪ 聞き取り練習と聞いたことばの確認 韓国語ドラマをみながら聞こえる言葉(単語)を書きます。皆でどのような言葉が聞こえたのか黒板に書いて確認し、お互い学びます。	予習	新しく出た単語や言い方の意味を調べる。	
			復習	前回の単語や言い方を確認する。	
第29回	内容	シークレットガーデン⑫ 聞き取り練習と聞いたことばの確認 韓国語ドラマをみながら聞こえる言葉(単語)を書きます。皆でどのような言葉が聞こえたのか黒板に書いて確認し、お互い学びます。	予習	新しく出た単語や言い方の意味を調べる。	
			復習	前回の単語や言い方を確認する。	
第30回	内容	まとめ 授業で学んだことを全体的に復習をします。	予習	これまで何を学んできたのかを確信する。	
			復習	全体の総括として振り返る。	

	予習に要する学習時間：概ね 15 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。
課題へのフィードバック	ハンゲル表を理解と習得に関しては毎回チェックし、書き方や読み方について丁寧に指導します。
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ %）、レポート・課題（50%）、作品・発表（20%）、実技（ %）、授業態度（30%）
教科書	『書店』（著者名、出版社名） 『最新チャレンジ！韓国語』（金順玉・阪堂千津子 著、白水社）
参考文献	『書店』（著者名、出版社名） 毎回補助資料を配布する。
注意事項	授業の時に小テストを行うことがあります。レポートとして簡単な「自己紹介」をハンゲルで作成し、発表します。 5月半ばにハンゲル表を20回書く課題を出します。基礎を学ぶ時は欠席をしないようにしてください。テキストは可能限り購入下さい。授業に必要な資料を毎回配布します。

科目名	中国語会話基礎演習	単位数	2	実務経験	担当教員 やまぐち よし 山口 芳
ナンバリングコード	GE123	授業形態	演習	有・無	
授業の内容	中国語で簡単なコミュニケーションができるようになるために、中国語の基礎を身につけて、さらに中国や中国文化に対する理解と関心を高めていく。具体的には、日常生活の様々な場面を通じて、中国の人々の生活や中国の文化に触れながら講義を進めていく。				
到達目標	1. 中国語の発音（ピンイン）の読み方を身につけている 2. 基本的な文章（語順）を正しく組み立てることができる 3. それぞれの場面に適切なコミュニケーション能力を身につけている				
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（1・②・③・4）				
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション、中国について、中国語の基本概念	予習	シラバスを読んでおく
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する
	第2回	内容	発音Ⅰ（単母音・子音1・声調）	予習	基本母音・子音・声調を確認しておく
				復習	テキストの「発音練習」のページにある内容を读めるようになるまで練習する
	第3回	内容	発音Ⅱ（二重母音・子音2）、簡単な挨拶	予習	二重母音・子音を読んでおく
				復習	ピンインのつづり規則①をまとめる、更に簡単な挨拶を暗記できるまで練習する
	第4回	内容	発音Ⅲ（三重母音）、数字①	予習	三重母音を読んでおく
				復習	数字を暗記できるまで練習する
	第5回	内容	発音Ⅳ（鼻母音）	予習	鼻母音を確認しておく
				復習	テキストの「発音練習」のページにある内容を读めるようになるまで練習する
	第6回	内容	発音の復習、自分の名前の中国語読み、中国人の名前について	予習	中国語の発音を整理して・ピンインのつづり規則②をまとめる
				復習	中国語の発音をまとめる、課題を作成する
	第7回	内容	学習用品（文法項目：「是」の述語文・一般疑問文）	予習	単語を読んでおく
				復習	文型を整理して、課題を作成する
	第8回	内容	自己紹介Ⅰ、発表（名前・身分・国籍）	予習	文型を確認しておく
				復習	自己紹介ができるようになるまで練習する
	第9回	内容	私達の学校（文法項目：形容詞述語文・省略疑問文）、中国の大学の紹介	予習	単語を読んでおく
				復習	形容詞述語文を理解する
	第10回	内容	物についての評価（文法項目：主述述語文）、発表（自己紹介を含む学校の紹介）	予習	テーマについて確認しておく
				復習	学校の紹介ができるようになるまで練習する
	第11回	内容	数字②、日付・時刻の表現、量詞（助数詞）	予習	数字の読み方をもう一度確認しておく、常用量詞を読んでおく
				復習	数字に関する表現をまとめる
	第12回	内容	お金の表現（文法項目：名詞述語文）	予習	お金の表現を読んでおく
				復習	名詞述語文・量詞の使い方を理解する
	第13回	内容	食べ物・飲み物（文法項目：「動詞述語文」と「有」の述語文）、中国人の食事について	予習	単語を確認しておく
				復習	文型を整理して、課題を作成する
	第14回	内容	レストランで注文の仕方（反復疑問文・選択疑問文）	予習	単語を暗記しておく
				復習	会話文を空で言えるようになるまで練習する
	第15回	内容	家族・住まい（文法項目：「在」の述語文・介詞「離」）	予習	文型を読んでおく
				復習	文型を理解して、課題を作成する
	第16回	内容	家族の紹介、発表（場所、人数、メンバー、学校からの距離）	予習	文型について確認しておく
				復習	家族の紹介ができるようになるまで練習する
	第17回	内容	食事（文法項目：完了相・助動詞「想」・介詞「從…到」）	予習	語順の再確認をしておく
				復習	文型をまとめて、課題を作成する
	第18回	内容	自分の一日、発表（起床から寝るまでの行動）	予習	単語・文型を確認しておく
				復習	自分の一日が発表できるように練習する
	第19回	内容	アルバイト（文法項目：時量の表現）	予習	単語・日付・時刻の表現を確認しておく
				復習	会話文が流暢に読めるように練習する
	第20回	内容	職業・仕事（文法項目：介詞「在」）	予習	会話文を読んでおく
				復習	文型を理解して、課題を作成する

授 業 計 画	第 21 回	内容	旅行（１）（文法項目：過去の経験・介詞「給」）	予習	文型「完了相」について確認しておく
				復習	会話文が流暢に読めるように練習する
	第 22 回	内容	旅行（２）（文法項目：「是…的」の構造文）	予習	単語を暗記しておく
				復習	文型を理解して、課題を作成する
	第 23 回	内容	車の運転（文法項目：助動詞「会、能、可以」）	予習	苦手な発音を練習しておく
				復習	会話文が流暢に読め、そして応用できるように練習する
	第 24 回	内容	中国語の DVD 鑑賞と質疑応答	予習	学習された単語が流暢に読めるように練習する
				復習	DVD で聞き取れなかった単語を暗記しておく
	第 25 回	内容	今何をしていますか（文法項目：進行形・連動文）	予習	単語を読んでおく
				復習	文型を理解して、課題を作成する
	第 26 回	内容	趣味（文法項目：助動詞「喜歡」・動詞の重ね型）	予習	会話文を読んでおく
				復習	自分の趣味について言えるように練習する
	第 27 回	内容	疑問詞のまとめ、文型の整理、会話文の作成	予習	疑問詞をまとめ・文型を整理しておく
				復習	作成された疑問文を練習する
	第 28 回	内容	自己紹介Ⅱ（200 字程度）作文、発表	予習	今まで発表された内容をもう一度確認しておく
				復習	自己紹介が発表できるように練習する
	第 29 回	内容	疑問詞の応用会話、発表会のリハーサル	予習	テキストの会話文が流暢に読めるように練習する
				復習	聞き取れていない疑問文をもう一度確認しておく
	第 30 回	内容	総合復習、発表会	予習	会話応用・最終の発表ができるように準備しておく
				復習	良い点・改善点などをまとめる
予習に要する学習時間：概ね 15 分を目安とする。				復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。	
課題へのフィードバック	作成した課題を採点する				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： レポート・課題（40%）、発表（40%）、授業態度（20%）				
教科書	カリキュラムに応じたオリジナルテキスト				
参考文献	『最新 2 訂版』中国語はじめての一步』（竹島 金吾監修、尹 景春・竹島 毅著 白水社） 『漢語口語速成（入門編）』（北京語言大学出版社）				
注意事項	毎回ポイントを説明し、繰り返し練習することによって覚えていく 毎回の内容を積み上げながら取り組むため、原則として欠席はしないようにすること				

科目名	スポーツと健康	単位数	2	実務経験	担当教員	きたほら せいいち 北洞 誠一
ナバリングコード	GE131	授業形態	実技	有		
授業の内容	自分の身体のコリ、ハリ、痛み等の違和感を自分自身で改善する運動療法の仕方を、毎回の実践で身につけていきます。また健康を保つための食事と心を健全に保つための理論を座学で学習します。場所は、茶室、教室、屋外（航空公園）を使います。					
到達目標	1. 自分の身体の左右の違いや違和感を感じ、それらを改善できるテクニックを身につける。 2. 正しい食事についての知識を身につける。 3. 心の健全さを保つための心理学の理論を学ぶ。					
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7） 地域保育学科（1・2・3・4・5） 文化表現学科（①・2・3・4）					
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション：授業の内容を理解する	予習	シラバスを読み内容を理解する	
				復習	授業内容を振り返り受講の可否を決める	
	第2回	内容	座って身体を緩める体操1：首コリ解消	予習	テキストの座位首コリレッスンに目を通す	
				復習	首コリ解消のレッスンを家で実践する	
	第3回	内容	座って身体を緩める体操2：肩コリ解消	予習	テキストの座位肩コリレッスンに目を通す	
				復習	肩コリレッスンを家で実践する	
	第4回	内容	座って身体を緩める体操3：腰コリ解消	予習	テキストの座位腰コリレッスンに目を賭す	
				復習	腰コリレッスンを家で実践する	
	第5回	内容	座って身体を緩める体操4：背中コリ解消	予習	テキストの座位背中コリレッスンに目を通す	
				復習	背中コリレッスンを家で実践する	
	第6回	内容	座って身体を緩める体操5：脚コリ解消	予習	テキストの座位脚コリレッスンに目を賭す	
				復習	脚コリレッスンを家で実践する	
	第7回	内容	ウォーキング実習1：航空公園内ウォーキング（歩数測定）	予習	ウォーキングの健康効果を検索し調べる	
				復習	ウォーキングの健康効果のレポートを作成する	
	第8回	内容	寝ながら身体を緩める体操1：首コリ解消	予習	テキストの仰臥位首コリレッスンに目を通す	
				復習	座位・仰臥位首コリレッスンを家で実践する	
	第9回	内容	寝ながら身体を緩める体操2：肩コリ解消	予習	テキストの仰臥位肩コリレッスンに目を通す	
復習				座位・仰臥位肩コリレッスンを家で実践する		
第10回	内容	寝ながら身体を緩める体操3：腰コリ解消	予習	テキストの仰臥位腰コリレッスンに目を通す		
			復習	座位・仰臥位腰コリレッスンを家で実践する		
第11回	内容	寝ながら身体を緩める体操4：背中コリ解消	予習	テキストの仰臥位背中コリレッスンに目を通す		
			復習	座位・仰臥位背中コリレッスンを家で実践する		
第12回	内容	寝ながら身体を緩める体操5：脚コリ解消	予習	テキストの仰臥位脚コリレッスンに目を通す		
			復習	座位・仰臥位脚コリレッスンを家で実践する		
第13回	内容	座学：食と健康1：食性と食材性	予習	食と健康の関係を調べてレポートにまとめる		
			復習	食性と食材性について学んだことをまとめる		
第14回	内容	座学：食と健康2：人類の食の歴史	予習	人類史について調べてノートにまとめてくる		
			復習	食の歴史について学んだことをレポートにまとめる		
第15回	内容	前期のまとめ：身体を緩める体操と食のまとめ	予習	前期に学んだことをノートにまとめる		
			復習	前期に学んだことをレポートにまとめて移出する		
第16回	内容	立って身体を緩める体操1：首コリ解消	予習	テキストの立位首コリレッスンに目を通す		
			復習	座位・仰臥位・立位首コリレッスンを家で実践する		
第17回	内容	立って身体を緩める体操2：肩コリ解消	予習	テキストの立位肩コリレッスンに目を通す		
			復習	座位・仰臥位・立位肩コリレッスンを家で実践する		

	第18回	内容	立って身体を緩める体操3：腰コリ解消	予習	テキストの立位腰コリレッスンに目を通す
				復習	座位・仰臥位・立位腰コリレッスンを家で実践する
	第19回	内容	立って身体を緩める体操4：背中コリ解消	予習	テキストの立位背中コリレッスンに目を通す
				復習	座位・仰臥位・立位背中コリレッスンを家で実践する
	第20回	内容	立って身体を緩める体操5：脚コリ解消	予習	テキストの立位脚コリレッスンに目を通す
				復習	座位・仰臥位・立位脚コリレッスンを家で実践する
授業計画	第21回	内容	ウォーキング実習2：航空公園内ウォーキング（心拍数測定）	予習	運動と心拍数について調べてノートにまとめる
				復習	健康維持に必要な歩数と心拍数の関係についてレポートにまとめる
	第22回	内容	ペアになって身体を緩める体操1：脚を緩める	予習	今まで学んだ脚コリのレッスンを実践する
				復習	ペアの脚のレッスンを家族や友人に実践する
	第23回	内容	ペアになって身体を緩める体操2：腕を緩める	予習	今までに学んだ首・肩のレッスンを実践する
				復習	ペアの腕のレッスンを家族や友人に実践する
	第24回	内容	ペアになって身体を緩める体操3：脚と腕から全身を緩める	予習	今まで学んだ背中コリのレッスンを実践する
				復習	ペアの脚・腕のレッスンを家族や友人に実践する
	第25回	内容	応用のレッスン1：腹筋と背筋の調整	予習	背中コリのレッスンを実践する
				復習	腹筋と背筋のレッスンを家で実践する
	第26回	内容	応用のレッスン2：骨盤と肩甲帯の連動	予習	骨盤と肩甲帯の解剖図を調べる
				復習	骨盤と肩甲帯のレッスンを家で実践する
	第27回	内容	応用のレッスン3：ウォーキングのための動き	予習	脚コリのレッスンを実践する
				復習	ウォーキングのレッスンを家で実践する
	第28回	内容	座学：アドラー心理学1	予習	アドラー心理学の資料1に目を通し理解する
				復習	アドラー心理学の基本的考え方をノートにまとめる
	第29回	内容	座学：アドラー心理学2	予習	アドラー心理学の資料2に目を通し理解する
				復習	アドラー心理学を日常生活に活かすための方法をレポートにまとめる
第30回	内容	後期のまとめ：全身を緩める体操と心の健康のまとめ	予習	後期の学習内容を理解する	
			復習	年間の学習内容をレポートにまとめて提出する	
予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。					
課題へのフィードバック	発表やレポートに対してコメントをする				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ %）、レポート・課題（40%）、作品・発表（ %）、実技（40%）、授業態度（20%）				
教科書	『あべこべ1分間体操』（北洞誠一、大和出版）				
参考文献	『漫画でやさしくわかるアドラー心理学』（岩井俊憲、日本マネジメントセンター）				
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実技の時は、動きやすい服装で参加する。スカートは不可。 ・ 授業開講の最低人数は5名ですが、5名集まらない場合は開講の可否を相談します。 				

科目名	ゼミナール I	単位数	1	実務経験	担当教員	のなか ひろふみ 野中 博史
ナンバリングコード	GE301	授業形態	演習	有・無		
授業の内容	① 明治時代の新聞の購読と考察（メッセージ分析） ② 雑誌・絵本の取材と制作 以上の2点を中心に教養と実技のスキルを修得する授業とします。					
到達目標	1. 新聞の伝えた内容を一定のルールに従って分析することができる 2. 雑誌や絵本の編集ができる					
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（1・2・3・4）					
授業計画	第1回	内容	ガイダンス 明治時代の新分を読む①	予習	シラバスを読んでおくこと	
				復習	関連資料について調べること	
	第2回	内容	明治時代の新分を読む②	予習	明治ニュース辞典を読んでおくこと	
				復習	関連資料について調べること	
	第3回	内容	明治時代の新分を読む③	予習	明治ニュース辞典を読んでおくこと	
				復習	関連資料について調べること	
	第4回	内容	明治時代の新分を読む④	予習	明治ニュース辞典を読んでおくこと	
				復習	関連資料について調べること	
	第5回	内容	明治時代の新分を読む⑤	予習	明治ニュース辞典を読んでおくこと	
				復習	関連資料について調べること	
	第6回	内容	明治時代の新分を読む⑥	予習	明治ニュース辞典を読んでおくこと	
				復習	関連資料について調べること	
	第7回	内容	雑誌・絵本の作り方①	予習	絵本や雑誌について調べておくこと	
				復習	編集作業について学習したことを見返すこと	
	第8回	内容	雑誌・絵本の作り方②	予習	次の作業について検討し、調べておくこと	
				復習	編集作業について学習したことを見返すこと	
第9回	内容	雑誌・絵本の作り方③	予習	次の作業について検討し、調べておくこと		
			復習	編集作業について学習したことを見返すこと		
第10回	内容	雑誌・絵本の作り方④	予習	次の作業について検討し、調べておくこと		
			復習	編集作業について学習したことを見返すこと		
第11回	内容	雑誌・絵本の作り方⑤	予習	次の作業について検討し、調べておくこと		
			復習	編集作業について学習したことを見返すこと		
第12回	内容	雑誌・絵本の作り方⑥	予習	次の作業について検討し、調べておくこと		
			復習	編集作業について学習したことを見返すこと		
第13回	内容	雑誌・絵本の作り方⑦	予習	次の作業について検討し、調べておくこと		
			復習	編集作業について学習したことを見返すこと		
第14回	内容	雑誌・絵本の作り方⑧	予習	次の作業について検討し、調べておくこと		
			復習	編集作業について学習したことを見返すこと		
第15回	内容	まとめ	予習	課題を考察すること		
			復習	課題を考察すること		
予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。復習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。						
課題へのフィードバック	適宜、習熟度について確認をし、話し合います。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（40%）、作品・発表（40%）、実技（ ）、授業態度（20%）					
教科書	『書名』（著者名、出版社名） 特にありません。					
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 適宜資料を配布します。					
注意事項	絵本や雑誌作り等に関しては、何にでも興味を持ち、積極的に活動する気持ちで取り組んでください。					

科目名	ゼミナールⅠ		単位数	1	実務経験	担当教員 おいかわ みちゆき 及川 道之	
ナバリングコード	GE301		授業形態	演習	有・無		
授業の内容	卒業研究・卒業制作を目的とする2年次のゼミナールⅡに向けた準備のための授業。日本文学について学ぶことが主であるが、広く文化や歴史について関心のあることが望ましい。これらの分野への関心の立て方や問題意識が持てるよう、宇治拾遺物語や宮沢賢治『銀河鉄道の夜』川端康成『伊豆の踊子』などを実際読み進めながら懇切に指導する。						
到達目標	1. ゼミナールⅡのテーマが決定できている。 2. 文学・文化・歴史についての問題意識を持てている。 3. 資料の収集と整理の方法が身についている。						
学位授与方針	幼児教育学科(1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科(1・2・3・4・5) 文化表現学科(①・②・3・4)						
授業計画	第1回	内容	ゼミナールの意義と今後の方針			予習	シラバスを熟読して疑問点を明確にしておく
					復習	ゼミナールの内容と目的を整理してまとめる	
	第2回	内容	宇治拾遺物語を読む①～昔話の基底にあるもの			予習	どのような昔話があるのか調べておく
					復習	言葉や内容の調べ方についてまとめる	
	第3回	内容	宇治拾遺物語を読む②～昔話が伝えるもの			予習	実際に読んで疑問点を明確にしておく
					復習	解決した疑問箇所を整理してまとめる	
	第4回	内容	宇治拾遺物語を読む③～昔話と異界			予習	実際に読んで疑問点を明確にしておく
					復習	解決した疑問箇所を整理してまとめる	
	第5回	内容	宇治拾遺物語を読む④～昔話と動物			予習	実際に読んで疑問点を明確にしておく
					復習	解決した疑問箇所を整理してまとめる	
	第6回	内容	宇治拾遺物語を読む⑤～昔話と社会通念			予習	実際に読んで疑問点を明確にしておく
					復習	解決した疑問箇所を整理してまとめる	
	第7回	内容	銀河鉄道の夜を読む①～物語の始まり			予習	銀河鉄道の夜・宮沢賢治について調べる
					復習	メモや資料をまとめてノートに整理する	
	第8回	内容	銀河鉄道の夜を読む②～天体との関わり			予習	本文を読んで疑問点を明らかにする
					復習	メモや資料をまとめてノートに整理する	
第9回	内容	銀河鉄道の夜を読む③～乗客たちとの出会い			予習	本文を読んで疑問点を明らかにする	
				復習	メモや資料をまとめてノートに整理する		
第10回	内容	銀河鉄道の夜を読む④～ジョバンニとカムパネルラ			予習	本文を読んで疑問点を明らかにする	
				復習	メモや資料をまとめてノートに整理する		
第11回	内容	銀河鉄道の夜を読む⑤～何を伝えようとしたのか			予習	本文を読んで疑問点を明らかにする	
				復習	メモや資料をまとめてノートに整理する		
第12回	内容	伊豆の踊子を読む①～遊行する人びと			予習	伊豆の踊子・川端康成について調べる	
				復習	メモや資料をまとめてノートに整理する		
第13回	内容	伊豆の踊子を読む②～エリートの眼差し			予習	本文を読んで疑問点を明らかにする	
				復習	メモや資料をまとめてノートに整理する		
第14回	内容	伊豆の踊子を読む③～恋愛小説の王道			予習	本文を読んで疑問点を明らかにする	
				復習	メモや資料をまとめてノートに整理する		
第15回	内容	ゼミナールⅡに向けて			予習	14回までの内容を整理する	
				復習	ゼミナールⅡへの準備を時程表に示す		
予習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。							
課題へのフィードバック	課題提時に個別に伝える。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施()する/ (○)しない 成績評価の方法：筆記試験()%、レポート・課題(70%)、作品・発表()%、実技()%、授業態度(30%)						
教科書	なし(プリントを配布する)						
参考文献	必要に応じて指示する						
注意事項	疑問点をもって授業に臨む						

科目名	ゼミナール I	単位数	1	実務経験	担当教員	えもと まさし 江本 全志
ナンバリングコード	GE301	授業形態	演習	有・無		
授業の内容	本ゼミナールではコンピュータサイエンス、データサイエンスについて学ぶ。特に、コンピュータサイエンスの用語の調査と発表、Java プログラミング、オープン教育リソースである JMOOC の講義教材を利用してデータサイエンスを学習する。また、ICT を活用し、スマートフォンやタブレットを用い、発表・コメント・投票など双方向型授業も行なう。					
到達目標	1. 自分がまとめた事柄を分かりやすく発表できる。 2. データの分析と活用の方法や能力を身につけている。 3. ゼミナール II に向けて、必要な基本的なコンピュータ技術を身につけている。					
学位授与方針	幼児教育学科 (1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科 (1・2・3・4・5) 文化表現学科 (1 ②③・4)					
授業計画	第1回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく	
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する	
	第2回	内容	JMOOC を用いたデータサイエンスの講義① Java プログラミング① Eclipse の操作	予習	Java 言語について調べる	
				復習	Eclipse を操作する。	
	第3回	内容	コンピュータサイエンスの用語に関する調査 Java プログラミング② 変数	予習	発表予定の用語について調べる	
				復習	発表された用語の関連用語を調べる	
	第4回	内容	コンピュータサイエンスの用語に関する発表① Java プログラミング③ キーボード入力	予習	発表予定の用語について調べる	
				復習	発表された用語の関連用語を調べる	
	第5回	内容	JMOOC を用いたデータサイエンスの講義② Java プログラミング④ 演算子	予習	データサイエンスの用語について調べる	
				復習	講義に関連する関連用語を調べる	
	第6回	内容	コンピュータサイエンスの用語に関する発表② Java プログラミング⑤ 条件文 if	予習	発表予定の用語について調べる	
				復習	発表された用語の関連用語を調べる	
	第7回	内容	コンピュータサイエンスの用語に関する発表③ Java プログラミング⑥ 条件文 論理演算	予習	発表予定の用語について調べる	
				復習	発表された用語の関連用語を調べる	
	第8回	内容	JMOOC を用いたデータサイエンスの講義③ Java プログラミング⑦ 条件文 switch	予習	データサイエンスの用語について調べる	
				復習	講義に関連する関連用語を調べる	
第9回	内容	コンピュータサイエンスの用語に関する発表④ Java プログラミング⑧ 繰り返し文 for	予習	発表予定の用語について調べる		
			復習	発表された用語の関連用語を調べる		
第10回	内容	コンピュータサイエンスの用語に関する発表⑤ Java プログラミング⑨ 繰り返し文 while	予習	発表予定の用語について調べる		
			復習	発表された用語の関連用語を調べる		
第11回	内容	JMOOC を用いたデータサイエンスの講義④ Java プログラミング⑩ 繰り返し文 do-while	予習	データサイエンスの用語について調べる		
			復習	講義に関連する関連用語を調べる		
第12回	内容	コンピュータサイエンスの用語に関する発表⑥ Java プログラミング⑪ 配列	予習	発表予定の用語について調べる		
			復習	発表された用語の関連用語を調べる		
第13回	内容	コンピュータサイエンスの用語に関する発表⑦ Java プログラミング⑫ 文字列の操作	予習	発表予定の用語について調べる		
			復習	発表された用語の関連用語を調べる		
第14回	内容	JMOOC を用いたデータサイエンスの講義⑤ Java プログラミング⑬ 並び替え	予習	データサイエンスの用語について調べる		
			復習	講義に関連する関連用語を調べる		
第15回	内容	まとめ	予習	これまで作成した課題を確認する		
			復習	これまで作成した課題を振り返る		
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	学生が作成した課題に問題がある場合、コメントを行なう。発表への講評を行ないます。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する / (O) しない 成績評価の方法： レポート・課題 (30 %)、作品・発表 (30 %)、授業態度 (40 %)					
教科書	プリントまたは PDF 形式のファイルを配布します。					
参考文献	なし					
注意事項						

科目名	ゼミナール I	単位数	1	実務経験	担当教員	なかにし きわ 中西 希和
ナバリングコード	GE301	授業形態	演習	有・無		
授業の内容	ファッションはその時代の政治や経済、社会的な現象、ライフスタイルと深く関係しています。ファッションを研究するためにはファッションが持つ文化的・社会的な意味を理解し、様々な視点から考察する必要があります。この授業ではファッション関連の文献を輪読しながら資料の収集方法、論文の構成等を学び、そして関心のあるテーマを見つけ、問題意識を明確にしていくことを目指します。また、作品制作に必要な基礎的な技術を習得することを目指します。					
到達目標	1. ファッション関連の文献を読み、資料の集め方、論文の構成、書き方等を理解している。 2. 関心のあるテーマを見つけ、問題意識を明確にすることができる。 3. 作品制作に必要な基礎的な技術を身につけている。					
学位授与方針	幼児教育学科 (1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科 (1・2・3・4・5) 文化表現学科 ①②③・4					
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	シラバスを読んでおく	
				復習	この授業で習得すべき内容を理解する	
	第2回	内容	ファッションに関する講義①	予習	プリントを読んでおく	
				復習	プリント、ノートを整理する	
	第3回	内容	ファッションに関する講義②	予習	プリントを読んでおく	
				復習	プリント、ノートを整理する	
	第4回	内容	ファッションに関する講義③	予習	プリントを読んでおく	
				復習	プリント、ノートを整理する	
	第5回	内容	ファッションに関する講義④	予習	プリントを読んでおく	
				復習	プリント、ノートを整理する	
	第6回	内容	ファッション業界に関する映像鑑賞	予習	指定された文献を読む	
				復習	ノートをもとに内容を確認する	
	第7回	内容	織研新聞の講読・報告①	予習	わからない箇所を調べておく	
				復習	ノートをもとに内容を確認する	
	第8回	内容	織研新聞の講読・報告②	予習	わからない箇所を調べておく	
				復習	自分の意見をまとめる	
	第9回	内容	織研新聞の講読・報告③	予習	わからない箇所を調べておく	
				復習	新聞記事を読む	
	第10回	内容	織研新聞の講読・報告④	予習	報告の準備をする	
				復習	要点を整理する	
	第11回	内容	様々な装飾・アレンジ方法の基礎練習	予習	必要な道具等を準備する	
				復習	装飾・アレンジ方法を確認する	
	第12回	内容	小物制作①	予習	必要な道具等を準備する	
				復習	制作の計画を立てる	
	第13回	内容	小物制作②	予習	制作方法を確認する	
				復習	内容を復習する	
	第14回	内容	小物制作③	予習	計画を確認する	
				復習	制作を振り返り、考えをまとめる	
	第15回	内容	まとめ	予習	プリント、ノート等を整理する	
				復習	実生活に活かす方法を考える	
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	課題・作品の講評、授業の振り返りを行います。					
成績評価	試験期間における定期試験： 実施 () する / (○) しない 成績評価の方法： 課題・作品 (60%)、授業態度 (40%)					
教科書	なし 必要に応じ、プリントを配布します。					
参考文献	授業の中で随時、紹介します。					
注意事項	図像資料を紹介しながら授業を行うため、パワーポイント、DVD を使用します。					

科目名	ゼミナールⅡ	単位数	2	実務経験	担当教員	のなか ひろふみ 野中 博史
ナンバリングコード	GE401	授業形態	演習	有・無		
授業の内容	① 地域に根差した情報を調べて発見し発信する ② 発見した事柄について論文もしくは書籍として発刊する					
到達目標	1. 主体的に物事を調査する力を育むことができる 2. 情報を書籍などとして発信する力を育むことができる 3. 他者にインタビューする力を育むことができる 4. 地域を知ることができる					
学位授与方針	幼児教育学科 (1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科 (1・2・3・4・5) 文化表現学科 (1・2・3・4)					
授業計画	第1回	内容	今年度の授業について相談	予習	シラバスを読んでおくこと	
				復習	論文執筆に関する資料を読んでおくこと	
	第2回	内容	卒論としてのテーマの考察	予習	論文執筆に関する資料を読んでおくこと	
				復習	論文執筆に関する調査をしておくこと	
	第3回	内容	卒論としてのテーマをいかにして調査するかの考察	予習	論文執筆に関する調査をしておくこと	
				復習	論文関連書籍を読んでおくこと	
	第4回	内容	調査に必要な書籍の考察	予習	論文執筆に関する調査をしておくこと	
				復習	論文関連書籍を読んでおくこと	
	第5回	内容	調査に必要な書籍の調査・考察	予習	論文執筆に関する調査をしておくこと	
				復習	論文関連書籍を読んでおくこと	
	第6回	内容	調査に必要な書籍の調査・考察	予習	論文関連書籍を読んでおくこと	
				復習	論文関連書籍を読んでおくこと	
	第7回	内容	調査に必要な書籍の調査・考察	予習	論文関連書籍を読んでおくこと	
				復習	論文関連書籍を読んでおくこと	
	第8回	内容	調査に必要な書籍の調査・考察	予習	論文関連書籍を読んでおくこと	
				復習	論文関連書籍を読んでおくこと	
	第9回	内容	調査に必要な書籍の調査・考察	予習	論文関連書籍を読んでおくこと	
				復習	論文関連書籍を読んでおくこと	
	第10回	内容	調査に必要な書籍の調査・考察	予習	論文関連書籍を読んでおくこと	
				復習	論文関連書籍を読んでおくこと	
	第11回	内容	関連資料の収集・取材	予習	論文関連書籍を読んでおくこと	
			復習	論文関連書籍を読んでおくこと		
第12回	内容	関連資料の収集・取材	予習	論文関連書籍を読んでおくこと		
			復習	論文関連書籍を読んでおくこと		
第13回	内容	関連資料の収集・取材	予習	論文関連書籍を読んでおくこと		
			復習	論文関連書籍を読んでおくこと		
第14回	内容	関連資料の収集・取材	予習	論文関連書籍を読んでおくこと		
			復習	論文関連書籍を読んでおくこと		
第15回	内容	関連資料の調査。収集・取材	予習	論文関連書籍を読んでおくこと		
			復習	論文関連書籍を読んでおくこと		
第16回	内容	関連資料の調査。収集・取材	予習	論文関連書籍を読んでおくこと		
			復習	論文関連書籍を読んでおくこと		
第17回	内容	関連資料の調査。収集・取材	予習	論文関連書籍を読んでおくこと		
			復習	論文関連書籍を読んでおくこと		
第18回	内容	関連資料の調査。収集・取材	予習	論文関連書籍を読んでおくこと		
			復習	論文関連書籍を読んでおくこと		
第19回	内容	関連資料の調査。収集・取材	予習	論文関連書籍を読んでおくこと		
			復習	論文関連書籍を読んでおくこと		
第20回	内容	関連資料の調査。収集・取材	予習	論文関連書籍を読んでおくこと		
			復習	論文関連書籍を読んでおくこと		
授業計画	第21回	内容	調査に必要な書籍の調査・考察	予習	論文関連書籍を読んでおくこと	
				復習	論文関連書籍を読んでおくこと	

	第22回	内容	論文作成・雑誌・絵本の制作	予習	論文関連書籍を読んでおくこと	
				復習	論文執筆・雑誌・絵本作成に努めること	
	第23回	内容	論文作成・雑誌・絵本の制作	予習	論文執筆・雑誌・絵本作成に努めること	
				復習	論文執筆・雑誌・絵本作成に努めること	
	第24回	内容	論文作成・雑誌・絵本の制作	予習	論文執筆・雑誌・絵本作成に努めること	
				復習	論文執筆・雑誌・絵本作成に努めること	
	第25回	内容	論文作成・雑誌・絵本の制作	予習	論文執筆・雑誌・絵本作成に努めること	
				復習	論文執筆・雑誌・絵本作成に努めること	
	第26回	内容	論文作成・雑誌・絵本の制作	予習	論文執筆・雑誌・絵本作成に努めること	
				復習	論文執筆・雑誌・絵本作成に努めること	
	第27回	内容	論文作成・雑誌・絵本の制作	予習	論文執筆・雑誌・絵本作成に努めること	
				復習	論文執筆・雑誌・絵本作成に努めること	
	第28回	内容	論文作成・雑誌・絵本の制作	予習	論文執筆・雑誌・絵本作成に努めること	
				復習	論文執筆・雑誌・絵本作成に努めること	
	第29回	内容	論文作成・雑誌・絵本の発表会	予習	論文執筆・雑誌・絵本発表の準備	
				復習	発表会の反省	
	第30回	内容	学習成果のチェック・面談	予習	到達目標に対する確認	
				復習	今後の課題	
	予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。					
	課題へのフィードバック	毎回、到達度を確認します				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ %）、レポート・課題（50 %）、作品・発表（50 %）、実技（ %）、授業態度（ %）					
教科書	『書店』（著者名、出版社名） 特にありません					
参考文献	『書店』（著者名、出版社名） 適宜、資料を配布します。					
注意事項	なるべく早くテーマを決めてください					

科目名	ゼミナールⅡ	単位数	2	実務経験	担当教員	おいかわ みちゆき 及川 道之
ナバリングコード	GE401	授業形態	演習	有・無		
授業の内容	日本の文学・文化・歴史などをテーマに自身が考察した内容をまとめる。ゼミナールⅠで学習した事柄に基づいて論文や作品の完成に向けて作業を進める。					
到達目標	1. 自らが選択したテーマへの理解が深まっている。 2. 論文や作品を完成させ提出できている。					
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7） 地域保育学科（1・2・3・4・5） 文化表現学科（①・②・3・4）					
授業計画	第1回	内容	開講にあたって～卒業論文・卒業制作とは	予習	選択するテーマの候補をいくつか絞る	
				復習	メモや資料をノートに整理してまとめる	
	第2回	内容	古事記上巻を読む①～神話へのアプローチ	予習	用意された文章を読んで疑問点を明確にする	
				復習	メモや資料をノートに整理してまとめる	
	第3回	内容	古事記上巻を読む②～神話へのアプローチ	予習	用意された文章を読んで疑問点を明確にする	
				復習	メモや資料をノートに整理してまとめる	
	第4回	内容	万葉集を読む①～和歌へのアプローチ	予習	用意された和歌を読んで疑問点を明確にする	
				復習	メモや資料をノートに整理してまとめる	
	第5回	内容	万葉集を読む②～和歌へアプローチ	予習	用意された和歌を読んで疑問点を明確にする	
				復習	メモや資料をノートに整理してまとめる	
	第6回	内容	竹取物語を読む①～物語へのアプローチ	予習	用意された文章を読んで疑問点を明確にする	
				復習	メモや資料をノートに整理してまとめる	
	第7回	内容	竹取物語を読む②～物語へのアプローチ	予習	用意された文章を読んで疑問点を明確にする	
				復習	メモや資料をノートに整理してまとめる	
	第8回	内容	源氏物語を読む①～物語へのアプローチ	予習	用意された文章を読んで疑問点を明確にする	
				復習	メモや資料をノートに整理してまとめる	
	第9回	内容	源氏物語を読む②～物語へのアプローチ	予習	用意された文章を読んで疑問点を明確にする	
				復習	メモや資料をノートに整理してまとめる	
	第10回	内容	源氏物語を読む③～物語へのアプローチ	予習	用意された文章を読んで疑問点を明確にする	
				復習	メモや資料をノートに整理してまとめる	
	第11回	内容	近代文学を読む①～小説の読み方	予習	用意された文章を読んで疑問点を明確にする	
				復習	メモや資料をノートに整理してまとめる	
	第12回	内容	近代文学を読む②～小説の読み方	予習	用意された文章を読んで疑問点を明確にする	
				復習	メモや資料をノートに整理してまとめる	
	第13回	内容	近代文学を読む③～小説の読み方	予習	用意された文章を読んで疑問点を明確にする	
				復習	メモや資料をノートに整理してまとめる	
	第14回	内容	近代文学を読む④～小説の読み方	予習	用意された文章を読んで疑問点を明確にする	
				復習	メモや資料をノートに整理してまとめる	
	第15回	内容	前期の終わりにあたって～テーマの決定	予習	卒業論文・製作のテーマを決定しておく	
				復習	夏季休暇中の学習計画表を作成する	
	第16回	内容	前期終了後の学習内容について報告	予習	報告用の資料を用意する	
				復習	改善点・反省点の有無について検討する	
	第17回	内容	今後のスケジュールを時程表に示す	予習	報告用に時程表を作成する	
				復習	改善点・反省点の有無について検討する	
	第18回	内容	テーマ別に応じた個別指導①	予習	疑問点・問題点を明確にしておく	
				復習	改善点・反省点の有無について検討する	
	第19回	内容	テーマ別に応じた個別指導②	予習	疑問点・問題点を明確にしておく	
				復習	改善点・反省点の有無について検討する	

	第20回	内容	テーマ別に応じた個別指導③	予習	疑問点・問題点を明確にしてお
				復習	
授 業 計 画	第21回	内容	テーマ別に応じた個別指導④	予習	疑問点・問題点を明確にしてお
				復習	改善点・反省点の有無について検討する
	第22回	内容	中間発表会	予習	発表用の資料を準備する
				復習	改善点・反省点の有無について検討する
	第23回	内容	テーマ別に応じた個別指導⑤	予習	疑問点・問題点を明確にしてお
				復習	改善点・反省点の有無について検討する
	第24回	内容	テーマ別に応じた個別指導⑥	予習	疑問点・問題点を明確にしてお
				復習	改善点・反省点の有無について検討する
	第25回	内容	テーマ別に応じた個別指導⑦	予習	疑問点・問題点を明確にしてお
				復習	改善点・反省点の有無について検討する
	第26回	内容	テーマ別に応じた個別指導⑦	予習	疑問点・問題点を明確にしてお
				復習	改善点・反省点の有無について検討する
	第27回	内容	中間発表会	予習	発表用の資料を準備する
				復習	改善点・反省点の有無について検討する
	第28回	内容	テーマ別に応じた個別指導⑧	予習	疑問点・問題点を明確にしてお
				復習	改善点・反省点の有無について検討する
	第29回	内容	テーマ別に応じた個別指導⑧	予習	疑問点・問題点を明確にしてお
				復習	改善点・反省点の有無について検討する
	第30回	内容	最終発表会	予習	発表用の資料を準備する
				復習	提出に向けて最終確認を行う
予習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。					
課題へのフィードバック	提出時に評価の基準について個々に伝える				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ %）、レポート・課題（70%）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度（30%）				
教科書	『書店』（著者名、出版社名） なし（プリントを配布する）				
参考文献	『書店』（著者名、出版社名） 必要に応じて指示する				
注意事項	主体的に取り組む				

科目名	ゼミナールⅡ		単位数	2	実務経験	担当教員 えもと まさし 江本 全志
ナンバリングコード	GE401	授業形態	演習	有・無		
授業の内容	本ゼミナールではコンピュータに関連する事柄をテーマとします。3次元CG、AR、音楽・動画編集、動きのあるホームページの制作を学び、コンピュータに関わる内容から各自のテーマを見つけ、研究・作品制作を進めていきます。授業内ではICTを活用し、スマートフォンやタブレットを用いて、発表やコメントなど双方向型授業も行なっていきます。					
到達目標	1. 関心のあるテーマを見つけることができる。 2. 各自のテーマに沿って、研究や作品制作を進めることができる。 3. 自らの考えを分かりやすく発表できる。 4. 研究や作品制作を進めるためのコンピュータ技術を身につけている。					
学位授与方針	幼児教育学科 (1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科 (1・2・3・4・5) 文化表現学科 (1 ②③・4)					
授業計画	第1回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく	
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する	
	第2回	内容	3次元CGの演習①	予習	3次元CGについて調べる	
				復習	Blenderの基本操作を復習する	
	第3回	内容	3次元CGの演習②	予習	Blenderの機能について調べる	
				復習	Blenderの操作を復習する	
	第4回	内容	3次元CGの演習③	予習	ボーン機能について調べる	
				復習	ボーン機能の操作を復習する	
	第5回	内容	3次元CGの演習④	予習	UV展開について調べる	
				復習	UV展開の操作を復習する	
	第6回	内容	ARの体験①	予習	ARについて調べる	
				復習	ARの体験をまとめる	
	第7回	内容	ARの体験②	予習	AR.jsについて調べる	
				復習	ARの手順をまとめる	
	第8回	内容	校歌のPV作成① 音楽のアレンジ グループワークでの作業	予習	様々なPVを閲覧する	
				復習	作業分担を確認する	
	第9回	内容	校歌のPV作成② 動画編集 グループワークでの作業	予習	動画素材について考える	
				復習	動画編集の操作を復習する	
	第10回	内容	校歌のPV作成③ 動画編集 グループワークでの作業	予習	PVのストーリーを考える	
				復習	動画・音声の組み合わせ方法を復習する	
第11回	内容	動きのあるホームページの制作体験	予習	動きのあるホームページについて調べる		
			復習	ツールの使い方を復習する		
第12回	内容	研究・作品制作のテーマの検討	予習	興味のあるコンピュータ技術について調べる		
			復習	興味あるテーマを整理する		
第13回	内容	研究・作品制作のテーマの発表①	予習	研究・作品制作のテーマの発表の準備をする		
			復習	研究・作品制作のテーマの発表を振り返る		
第14回	内容	研究・作品制作のテーマの発表②	予習	研究・作品制作のテーマの発表の準備をする		
			復習	研究・作品制作のテーマの発表を振り返る		
第15回	内容	研究・作品制作のテーマの発表③	予習	研究・作品制作のテーマの発表の準備をする		
			復習	研究・作品制作のテーマの発表を振り返る		
第16回	内容	研究・作品制作のテーマ決定	予習	研究・作品制作のテーマの詳細を詰める		
			復習	研究・作品制作の計画を考える		
第17回	内容	研究・作品制作の個別指導と討議①	予習	研究・作品制作の進捗を確認する		
			復習	研究・作品制作の状況をまとめる		
第18回	内容	研究・作品制作の個別指導と討議②	予習	研究・作品制作の進捗を確認する		
			復習	研究・作品制作の状況をまとめる		
第19回	内容	研究・作品制作の個別指導と討議③	予習	研究・作品制作の進捗を確認する		
			復習	研究・作品制作の状況をまとめる		
第20回	内容	研究・作品制作の個別指導と討議④	予習	研究・作品制作の進捗を確認する		
			復習	研究・作品制作の状況をまとめる		

授 業 計 画	第 21 回	内容	研究・作品制作の個別指導と討議⑤	予習	研究・作品制作の進捗を確認する
				復習	研究・作品制作の状況をまとめる
	第 22 回	内容	研究・作品制作の個別指導と討議⑥	予習	研究・作品制作の進捗を確認する
				復習	研究・作品制作の状況をまとめる
	第 23 回	内容	研究・作品制作の個別指導と討議⑦	予習	研究・作品制作の進捗を確認する
				復習	研究・作品制作の状況をまとめる
	第 24 回	内容	研究・作品制作の個別指導と討議⑧	予習	研究・作品制作の進捗を確認する
				復習	研究・作品制作の状況をまとめる
	第 25 回	内容	研究・作品制作の個別指導と討議⑨	予習	研究・作品制作の進捗を確認する
				復習	研究・作品制作の状況をまとめる
	第 26 回	内容	研究・作品制作の個別指導と討議⑩	予習	研究・作品制作の進捗を確認する
				復習	研究・作品制作の状況をまとめる
	第 27 回	内容	研究・作品制作の成果発表と資料作成①	予習	研究・作品制作の状況を整理する
				復習	研究・作品制作の成果発表を振り返る
	第 28 回	内容	研究・作品制作の成果発表と資料作成②	予習	研究・作品制作の状況を整理する
				復習	研究・作品制作の成果発表を振り返る
	第 29 回	内容	研究・作品制作の成果発表と資料作成③	予習	研究・作品制作の状況を整理する
				復習	研究・作品制作の成果発表を振り返る
	第 30 回	内容	まとめ	予習	作成した課題や研究・作品などを確認する
				復習	作成した課題や研究・作品などを振り返る
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	課題や研究・作品、発表への講評を行ないます。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（30%）、作品・発表（30%）、授業態度（40%）				
教科書	プリントまたは PDF 形式のファイルを配布します。				
参考文献	なし				
注意事項					

科目名	ゼミナールⅡ	単位数	2	実務経験	担当教員	なかにし きわ 中西 希和
ナバリングコード	GE401	授業形態	演習	有・無		
授業の内容	ファッション文化、ファッションビジネス等に関わる内容から各自のテーマを見つけ、調査、研究を進め、論文または作品とレポートにまとめていきます。調査、研究を通してファッションに関わる様々な問題について考察し、得られた知識を実生活や社会において活用していくことを考えます。					
到達目標	1. 関心のあるテーマを見つけることができる。 2. 各自のテーマに沿って、調査、研究を進めることができる。 3. 調査、研究を進め、成果をまとめる。					
学位授与方針	幼児教育学科 (1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科 (1・2・3・4・5) 文化表現学科 ①②③・4					
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション、小物制作	予習	制作方法を確認する	
				復習	内容を復習する	
	第2回	内容	ファッション関連文献の輪読①	予習	指定された文献を読む	
				復習	ノートをもとに内容を確認する	
	第3回	内容	ファッション関連文献の輪読②	予習	わからない箇所を調べておく	
				復習	ノートをもとに内容を確認する	
	第4回	内容	ファッション関連文献の輪読③	予習	要点をまとめる	
				復習	ノートをもとに内容を確認する	
	第5回	内容	ファッションに関する資料の歴史	予習	ファッション情報の入手方法を調べる	
				復習	ファッション情報の歴史を理解する	
	第6回	内容	ファッションに関する資料の調査	予習	ファッション雑誌を読む	
				復習	調査結果を理解する	
	第7回	内容	様々な装飾・アレンジ方法の基礎練習	予習	必要な道具等を準備する	
				復習	装飾・アレンジ方法を確認する	
	第8回	内容	小物制作①	予習	必要な道具等を準備する	
				復習	装飾・アレンジ方法を確認する	
	第9回	内容	小物制作②	予習	制作方法を確認する	
				復習	内容を復習する	
	第10回	内容	資料、研究方法を検討する	予習	関心・興味のあることを整理しておく	
				復習	研究方法を確認する	
	第11回	内容	調査を行う	予習	調査内容を確認する	
				復習	調査内容を整理する	
	第12回	内容	テーマを決める	予習	テーマについて考える	
				復習	テーマを再確認する	
	第13回	内容	資料、研究方法を決める	予習	資料を収集する	
				復習	資料を読む	
	第14回	内容	調査を進める①	予習	計画を立てる	
				復習	調査結果を整理する	
	第15回	内容	調査を進める②	予習	調査資料を確認する	
				復習	調査結果を整理する	
	第16回	内容	テーマ別研究・制作、個別指導①	予習	調査資料を確認する	
				復習	調査結果を整理する	
	第17回	内容	テーマ別研究・制作、個別指導②	予習	調査資料を確認する	
				復習	調査結果を整理する	
	第18回	内容	テーマ別研究・制作、個別指導③	予習	調査資料を確認する	
				復習	調査結果を整理する	
	第19回	内容	テーマ別研究・制作、個別指導④	予習	調査資料を確認する	
				復習	調査結果を整理する	
	第20回	内容	テーマ別研究・制作、個別指導⑤	予習	調査資料を確認する	
				復習	調査結果を整理する	

授 業 計 画	第 21 回	内容	テーマ別研究・制作、個別指導⑥	予習	調査資料を確認する
				復習	調査結果を整理する
	第 22 回	内容	中間報告	予習	報告のための準備をする
				復習	内容を整理し、計画を立てる
	第 23 回	内容	テーマ別研究・制作、個別指導⑦	予習	文章にまとめる
				復習	文章を確認する
	第 24 回	内容	テーマ別研究・制作、個別指導⑧	予習	文章にまとめる
				復習	文章を確認する
	第 25 回	内容	テーマ別研究・制作、個別指導⑨	予習	文章にまとめる
				復習	文章を確認する
	第 26 回	内容	仕上げ、まとめ①	予習	次回の準備をする
				復習	内容を確認する
	第 27 回	内容	仕上げ、まとめ②	予習	次回の準備をする
				復習	内容を確認する
	第 28 回	内容	仕上げ、まとめ③	予習	次回の準備をする
				復習	内容を確認する
	第 29 回	内容	仕上げ、まとめ④	予習	次回の準備をする
				復習	内容を確認する
	第 30 回	内容	提出、発表	予習	内容を確認し、準備をする
				復習	実生活において活用する
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	課題・作品の講評、授業の振り返りを行います。				
成績評価	試験期間における定期試験： 実施（ ）する / (○) しない 成績評価の方法： 課題・作品（60%）、発表（20%）、授業態度（20%）				
教科書	なし 必要に応じ、プリントを配布します。				
参考文献	授業の中で随時、紹介します。				
注意事項					

科目名	短大生基礎力演習		単位数	1	実務経験	担当教員 のなか ひろふみ 野中 博史 他
ナンバリングコード	GE201	授業形態	演習	有・無		
授業の内容	短期大学での学習を円滑に行うとともに社会に出て不可欠となる、各種の文章の書き方のエクササイズを行う授業とする。4人の教員が分担して担当し、1年後期からのゼミを選択する際の参考となります。					
到達目標	1. 小論文を書くことができるようになる。 2. 実用的な文章を書くことができるようになる。 3. 敬語を使用することができるようになる 4. メールの書き方ができるようになる。					
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（1・②・③・4）					
授業計画	第1回	内容	授業のガイダンス	予習	シラバスを読んでおく	
				復習	知らばるを理解する	
	第2回	内容	小論文の書き方	予習	新聞を読んでおくこと	
				復習	授業内容を確認する	
	第3回	内容	実用的な文章の書き方	予習	友人、両親、先生等に手紙をする	
				復習	授業内容を確認する	
	第4回	内容	メールの書き方	予習	友人、両親、先生等にメールをする	
				復習	授業内容を確認する	
	第5回	内容	小論文の書き方	予習	新聞を読んでおくこと	
				復習	授業内容を確認する	
	第6回	内容	実用的な文章の書き方	予習	友人、両親、先生等に手紙をする	
				復習	授業内容を確認する	
	第7回	内容	メールの書き方	予習	友人、両親、先生等にメールをする	
				復習	授業内容を確認する	
	第8回	内容	小論文の書き方	予習	新聞を読んでおくこと	
				復習	授業内容を確認する	
第9回	内容	実用的な文章の書き方	予習	友人、両親、先生等に手紙をする		
			復習	授業内容を確認する		
第10回	内容	メールの書き方	予習	友人、両親、先生等にメールをする		
			復習	授業内容を確認する		
第11回	内容	小論文の書き方	予習	新聞を読んでおくこと		
			復習	授業内容を確認する		
第12回	内容	実用的な文章の書き方	予習	友人、両親、先生等に手紙をする		
			復習	授業内容を確認する		
第13回	内容	メールの書き方	予習	友人、両親、先生等にメールをする		
			復習	授業内容を確認する		
第14回	内容	全体のまとめ	予習	これまでの内容を確認する		
			復習	授業内容を確認する		
第15回	内容	全体のまとめ	予習	これまでの内容を確認する		
			復習	授業内容を確認する		
予習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。復習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。						
課題へのフィードバック	適宜、確認をとり指導します。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（20%）、レポート・課題（60%）、作品・発表（%）、実技（%）、授業態度（20%）					
教科書	『書名』（著者名、出版社名） 毎回、教員が配布します。					
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 適宜、指示します					
注意事項	4人の教員で分担します。教員ごとに内容が違いますので、最初のガイダンスで説明します。					

科目名	ことばと表現	単位数	2	実務経験	担当教員	おいかわみちゆき あいざわひろみち 及 川 道 之 ・ 相 沢 浩 通
ナンバリングコード	LC101	授業形態	演習	有・無		
授業の内容	短大生にとって必須とされる様々な内容の文章を読解する能力と、自身の考えを的確に伝えられる表現力が身につけられるよう、「読む」「書く」「話す」トレーニングを丹念に繰り返す。					
到達目標	1 様々なタイプの文章が読解できる。 2 要求された内容について文章で伝えることができる。 3 自らの考えを口頭で伝えることができる。 .					
学位授与方針	幼児教育学科 (1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科 (1・2・3・4・5) 文化表現学科 (1・②・③・4)					
授業計画	第1回	内容	授業の開始にあたって	予習	シラバスを熟読する	
				復習	授業の方針と内容をノートにまとめる	
	第2回	内容	スピーチに慣れる	予習	人前で話すことが円滑に行えるよう心掛ける	
				復習	メモや資料をノートにまとめる	
	第3回	内容	新聞記事を読む①	予習	新聞を読むことを習慣にする	
				復習	メモや資料をノートにまとめる	
	第4回	内容	新聞記事を読む②	予習	新聞を読むことを習慣にする	
				復習	メモや資料をノートにまとめる	
	第5回	内容	新聞記事を読む③	予習	新聞を読むことを習慣にする	
				復習	メモや資料をノートにまとめる	
	第6回	内容	新聞記事を読む④	予習	新聞を読むことを習慣にする	
				復習	メモや資料をノートにまとめる	
	第7回	内容	新聞記事を読む⑤	予習	新聞を読むことを習慣にする	
				復習	メモや資料をノートにまとめる	
	第8回	内容	新聞のコラムを書き写す①	予習	新聞を読むことを習慣にする	
				復習	メモや資料をノートにまとめる	
	第9回	内容	新聞のコラムを書き写す②	予習	新聞を読むことを習慣にする	
				復習	メモや資料をノートにまとめる	
	第10回	内容	新聞のコラムを書き写す③	予習	新聞を読むことを習慣にする	
				復習	メモや資料をノートにまとめる	
第11回	内容	新聞記事を要約する①	予習	新聞を読むことを習慣にする		
			復習	メモや資料をノートにまとめる		
第12回	内容	新聞記事を要約する②	予習	新聞を読むことを習慣にする		
			復習	メモや資料をノートにまとめる		
第13回	内容	新聞記事を要約する③	予習	新聞を読むことを習慣にする		
			復習	メモや資料をノートにまとめる		
第14回	内容	語彙を習得する①	予習	様々なタイプの文章を読むよう心掛ける		
			復習	配布されたプリントを繰り返し確認する		
第15回	内容	語彙を習得する②	予習	様々なタイプの文章を読むよう心掛ける		
			復習	配布されたプリントを繰り返し確認する		
第16回	内容	語彙を習得する③	予習	様々なタイプの文章を読むよう心掛ける		
			復習	配布されたプリントを繰り返し確認する		
第17回	内容	漢字検定3級に挑戦	予習	実際に漢字検定の問題を解いてみる		
			復習	誤った解答を修正する		
第18回	内容	漢字検定準2級に挑戦①	予習	実際に漢字検定の問題を解いてみる		
			復習	誤った解答を修正する		
第19回	内容	漢字検定準2級に挑戦②	予習	実際に漢字検定の問題を解いてみる		
			復習	誤った解答を修正する		
第20回	内容	漢字検定2級に挑戦①	予習	実際に漢字検定の問題を解いてみる		

				復習	
授 業 計 画	第 21 回	内容	漢字検定 2 級に挑戦②	予習	実際に漢字検定の問題を解いてみる
				復習	誤った解答を修正する
	第 22 回	内容	漢字検定 2 級に挑戦③	予習	実際に漢字検定の問題を解いてみる
				復習	誤った解答を修正する
	第 23 回	内容	語彙読解力検定 3 級に挑戦①	予習	語彙読解力検定について調べる
				復習	誤った解答を修正する
	第 24 回	内容	語彙読解力検定 3 級に挑戦②	予習	語彙読解力検定の問題を解いてみる
				復習	誤った解答を修正する
	第 25 回	内容	語彙読解力検定準 2 級に挑戦①	予習	語彙読解力検定の問題を解いてみる
				復習	誤った解答を修正する
	第 26 回	内容	語彙読解力検定準 2 級に挑戦②	予習	語彙読解力検定の問題を解いてみる
				復習	誤った解答を修正する
	第 27 回	内容	履歴書を書く	予習	各項目に沿って内容をまとめておく
				復習	メモを参考にして改めて履歴書を完成させる
第 28 回	内容	小論文を書く	予習	論文を書く際に注意することを考えておく	
			復習	メモを参考にして改めて論文を完成させる	
第 29 回	内容	自身でテーマを選び考えを述べ合う①	予習	自身のテーマを用意しておく	
			復習	メモを参考にして改めて話す内容をまとめる	
第 30 回	内容	自身でテーマを選び考えを述べ合う②	予習	自身のテーマを用意しておく	
			復習	メモを参考にして改めて話す内容をまとめる	
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。				復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。	
課題へのフィードバック	評価の基準を伝える。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（ %）、レポート・課題（ 70 %）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度（ 30 %）				
教科書	『書店』（著者名、出版社名） なし（プリントを配布する）				
参考文献	『書店』（著者名、出版社名） 必要に応じて指示する				
注意事項	常に主体的に取り組む				

科目名	情報処理演習	単位数	2	実務経験	担当教員 えもと まさし 江本 全志
ナンバリングコード	BP141	授業形態	演習	有・無	
授業の内容	コンピュータの基本的な操作、文書作成ソフトのワード、表計算ソフトのエクセル、プレゼンテーションソフトのパワーポイントの基本的な使い方を中心に学びます。また、電子メールの使い方、マルチメディアの画像作成・編集や音楽作成なども学びます。大学生活や今後の社会生活において困らないコンピュータスキルを身に付けることを目指します。				
到達目標	1. パソコンの日常生活の利用で困らないタイピングスキルを身につけている。 2. ワード、エクセル、パワーポイントの基本的な操作ができる。 3. 画像編集の基本的な操作ができる。 4. 情報の利活用ができる。				
学位授与方針	幼児教育学科 (1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科 (1・2・3・4・5) 文化表現学科 (1・2・③・4)				
授業計画	第1回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する
	第2回	内容	コンピュータの基礎・画像作成	予習	画像の形式について調べる
				復習	コンピュータの操作を復習する
	第3回	内容	ワードの基礎・ファイルの印刷の仕方 アニメーション GIF の作成	予習	ワードの機能について調べる
				復習	画像編集ソフトの使い方を復習する
	第4回	内容	インターネット・情報モラル・タイピング 電子メール	予習	電子メールについて調べる
				復習	タイピングの練習をする
	第5回	内容	ワード レポート・レジュメ	予習	レポートの形式について調べる
				復習	二段組みのやり方を復習する
	第6回	内容	ワード 時間割表の作成	予習	表機能について調べる
				復習	表の作り方を復習する
	第7回	内容	ワード 時間割表の作成の続き	予習	文字列の折り返しについて調べる
				復習	画像の貼り付け方を復習する
	第8回	内容	エクセルの基礎	予習	エクセルの機能について調べる
				復習	数式の入れ方を復習する
	第9回	内容	エクセルの基礎の続き エクセル 家計簿の作成	予習	家計簿の仕組みについて調べる
				復習	SUMIF 関数を復習する
	第10回	内容	エクセル グラフを使った情報分析	予習	グラフの種類について調べる
				復習	グラフの作り方を復習する
第11回	内容	エクセル 診断シート	予習	診断シートのテーマを考える	
			復習	セルの装飾の仕方を復習する	
第12回	内容	エクセル 診断シートの続き	予習	IF 関数について調べる	
			復習	IF 関数を複数使う場合のやり方を復習する	
第13回	内容	パワーポイントの基礎	予習	パワーポイントの機能について調べる	
			復習	アニメーション機能を復習する	
第14回	内容	パワーポイント 紙芝居スライドの作成	予習	紙芝居のテーマを考える	
			復習	画像の背景の消し方を復習する	
第15回	内容	パワーポイント 紙芝居スライドの作成の 続き	予習	スライドマスタについて調べる	
			復習	スライドマスタの使い方を復習する	
第16回	内容	前期の復習・後期のガイダンス	予習	シラバスで後期の内容を読んでおく	
			復習	後期で習得すべき内容を理解する	
第17回	内容	ワード イラスト素材の作成	予習	図形ツールについて調べる	
			復習	曲線の図形の編集の仕方を復習する	
第18回	内容	ワード イラスト素材の作成の続き	予習	色の RGB 形式について調べる	
			復習	色の取得方法を復習する	
第19回	内容	エクセル 栄養素の計算と分析	予習	栄養素について調べる	
			復習	食べ物の栄養素の調べ方を復習する	
第20回	内容	エクセル 栄養素の計算と分析の続き	予習	栄養素の基準値の計算方法について調べる	
			復習	VLOOKUP 関数を復習する	

授 業 計 画	第 21 回	内容	合成画像の作成	予習	レイヤーについて調べる
				復習	画像編集ソフトのツールの使い方を復習する
	第 22 回	内容	スマートフォンの壁紙の作成	予習	スマートフォンの壁紙の形式について調べる
				復習	レイヤーの使い方を復習する
	第 23 回	内容	パワーポイント おすすめの紹介の作成	予習	おすすめしたいものを考える
				復習	テキストの装飾を復習する
	第 24 回	内容	パワーポイント おすすめの紹介の作成の続き	予習	スライド間のアニメーションについて調べる
				復習	吹き出しの入れ方を復習する
	第 25 回	内容	音楽の作成	予習	MIDI について調べる
				復習	音符の入力の仕方を復習する
	第 26 回	内容	音楽の作成の続き	予習	楽譜を探す
				復習	打楽器の入力の仕方を復習する
	第 27 回	内容	ワード イベントカードの作成	予習	イベントカードのテーマを考える
				復習	図形の上下関係の変え方を復習する
	第 28 回	内容	エクセル クロスワードの作成	予習	条件付き書式について調べる
				復習	IF 関数を復習する
	第 29 回	内容	エクセル クロスワードの作成の続き	予習	文字列の連結について調べる
				復習	条件による画像の変え方を復習する
	第 30 回	内容	まとめ	予習	これまで作成した課題を確認する
				復習	これまで作成した課題を振り返る
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	学生が作成した課題に問題がある場合、コメントを行なう。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（50%）、授業態度（50%）				
教科書	プリントまたは PDF 形式のファイルを配布します。				
参考文献	なし				
注意事項					

科目名	日本文化論	単位数	2	実務経験	担当教員 おいかわ みちゆき 及川 道之
ナンバリングコード	LC111	授業形態	講義	有・無	
授業の内容	明治43年(1910)に柳田国男の手によって刊行された『遠野物語』を読む。岩手県遠野の地に伝えられた民話や昔話を通して近代以前の人々の暮らしと心性のあり様を知ること、通常提示されている歴史像が実際には偏ったものであることに気づかされる。そうした気づきや発見を通して、日本文化の多様な広がりや奥深さが誰にとっても理解できるように授業を展開したい。				
到達目標	1. 民話や昔話の魅力を実感できる。 2. 近代以前の人々の実像が理解できる。 3. 歴史的想像力を働かすことができる。				
学位授与方針	幼児教育学科(1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科(1・2・3・4・5) 文化表現学科(①・②・3・4)				
授業計画	第1回	内容	授業の開始にあたって	予習	柳田国男・遠野物語について調べる
				復習	授業時のメモ・資料をノートにまとめる
	第2回	内容	明治43年当時の世界と日本	予習	年表などで1910年当時の出来事を調べる
				復習	授業時のメモ・資料をノートにまとめる
	第3回	内容	遠野物語序文～柳田国男の思い	予習	序文を読んで疑問点を明らかにしておく
				復習	授業時のメモ・資料をノートにまとめる
	第4回	内容	オシラサマ・カクラサマ～「地域限定」の神々	予習	該当本文を読んで疑問点を明らかにしておく
				復習	授業時のメモ・資料をノートにまとめる
	第5回	内容	山人・天狗～山に棲むモノ	予習	該当本文を読んで疑問点を明らかにしておく
				復習	授業時のメモ・資料をノートにまとめる
	第6回	内容	ザシキワラシ～家の盛衰	予習	該当本文を読んで疑問点を明らかにしておく
				復習	授業時のメモ・資料をノートにまとめる
	第7回	内容	河童～異類との遭遇	予習	該当本文を読んで疑問点を明らかにしておく
				復習	授業時のメモ・資料をノートにまとめる
	第8回	内容	猿・狐・熊～多様な動物たち	予習	該当本文を読んで疑問点を明らかにしておく
				復習	授業時のメモ・資料をノートにまとめる
第9回	内容	狼と人との葛藤	予習	該当本文を読んで疑問点を明らかにしておく	
			復習	授業時のメモ・資料をノートにまとめる	
第10回	内容	身近な異界としての山	予習	該当本文を読んで疑問点を明らかにしておく	
			復習	授業時のメモ・資料をノートにまとめる	
第11回	内容	幽体離脱とあの世	予習	該当本文を読んで疑問点を明らかにしておく	
			復習	授業時のメモ・資料をノートにまとめる	
第12回	内容	マヨイガ～富を授けるもの	予習	該当本文を読んで疑問点を明らかにしておく	
			復習	授業時のメモ・資料をノートにまとめる	
第13回	内容	山里と海との交流	予習	該当本文を読んで疑問点を明らかにしておく	
			復習	授業時のメモ・資料をノートにまとめる	
第14回	内容	合戦・津波～歴史を記憶する	予習	該当本文を読んで疑問点を明らかにしておく	
			復習	授業時のメモ・資料をノートにまとめる	
第15回	内容	授業の終了にあたって～近代以前の人々の暮らしと心性	予習	ノートを整理して疑問点を明らかにしておく	
			復習	授業時のメモ・資料をノートにまとめる	
	予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。				
課題へのフィードバック	課題提出時に評価の基準を伝える				
成績評価	試験期間における定期試験：実施()する/(○)しない 成績評価の方法：筆記試験(80%)、レポート・課題()%、作品・発表()%、実技()%、授業態度(20%)				
教科書	『遠野物語』(柳田国男、角川ソフィア文庫)				
参考文献	必要に応じて指示する				
注意事項	常に主体的に取り組む				

科目名	女性文化論	単位数	2	実務経験	担当教員	なかにし きわ 中西 希和
ナンバリングコード	LC311	授業形態	講義	有・無		
授業の内容	歴史を振り返ると、女性は地位や様々な権利を制限されてきたといえ、それは服装からも読み取ることができます。この授業では女性がこれまでどのような問題に直面し、取り組んできたのか、それによって女性の生き方がどのように変わってきたのかを当時の女性の服装から探っていきます。そして、様々な場面における女性の役割を考え、将来自立した女性として生きていく際に直面する諸問題に対応していく力を身につけることを目指します。					
到達目標	1. 女性が築いてきた文化を理解している。 2. 取り上げるテーマを自分自身の問題として考えることができる。					
学位授与方針	幼児教育学科 (1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科 (1・2・3・4・5) 文化表現学科 ① 2・3・④					
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	シラバスを読んでおく	
				復習	この授業で習得すべき内容を理解する	
	第2回	内容	少女から女性へ 子ども服の歴史	予習	子ども服について調べる	
				復習	子ども服の歴史について理解する	
	第3回	内容	女性の身体に対する意識の変化① スポーツウェアの歴史	予習	スポーツウェアについて調べる	
				復習	スポーツウェアの歴史について理解する	
	第4回	内容	女性の身体に対する意識の変化② 下着の歴史	予習	下着の歴史について調べる	
				復習	下着の歴史について理解する	
	第5回	内容	服装におけるジェンダー① 女性解放運動	予習	女性解放運動について調べる	
				復習	女性解放運動について理解する	
	第6回	内容	服装におけるジェンダー② スカート、パンツ	予習	ジェンダーについて調べる	
				復習	服装におけるジェンダーについてまとめる	
	第7回	内容	日本人女性の服装 和装から洋装への変化	予習	日本の開国について調べる	
				復習	日本における洋装化について理解する	
	第8回	内容	女性と教育 女子学校制服、女子大学の創立者と建学の精神	予習	建学の精神について考える	
				復習	女子学校制服の変遷について理解する	
第9回	内容	様々な結婚① 結婚式の種類	予習	結婚式について調べる		
			復習	結婚式の種類についてまとめる		
第10回	内容	様々な結婚② 婚礼衣装の歴史	予習	婚礼衣装について調べる		
			復習	婚礼衣装の歴史を理解する		
第11回	内容	女性の働き方① アンペイド・ワーク	予習	女性の働き方について調べる		
			復習	女性の働き方を理解する		
第12回	内容	家庭経営と男女の役割	予習	家庭内での仕事について調べる		
			復習	家庭における男女の役割について考える		
第13回	内容	女性の働き方② ペイド・ワーク	予習	日本の女性の働き方について調べる		
			復習	将来の働き方について考える		
第14回	内容	女性の働き方③ 他国との比較 アメリカやヨーロッパの実態	予習	外国の女性の働き方について調べる		
			復習	女性の働き方についてレポートにまとめる		
第15回	内容	授業の振り返りとまとめ	予習	配布プリントを整理しておく		
			復習	内容を復習し、将来について考える		
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。						
課題へのフィードバック	授業内に小テストを実施し、解説と授業の振り返りを行います。					
成績評価	試験期間における定期試験： 実施 () する / (○) しない 成績評価の方法： 筆記試験 (30%)、レポート・課題 (30%)、授業態度 (40%)					
教科書	なし 必要に応じ、プリントを配布します。					
参考文献	授業の中で随時、紹介します。					
注意事項	図像資料を紹介しながら授業を行うため、パワーポイント、DVDを使用します。					

科目名	風土と文化	単位数	2	実務経験	担当教員	おいかわ みちゆき 及川 道之
ナバリングコード	LC212	授業形態	講義	有・無		
授業の内容	みやこが現在の奈良県明日香村とその周辺に置かれていた時代からの「古都」の歴史と実情を探る。都という空間とそこに生きた人びとについて学ぶことで、現代に生きる私たちの感性に様々な影響が及んでいることを再認識する。					
到達目標	1. 古都の歴史的展開が理解できる。 2. それぞれの都の特性が理解できる。 3. 歴史と風土との関わりが理解できる。					
学位授与方針	幼児教育学科 (1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科 (1・2・3・4・5) 文化表現学科 (①・②・3・4)					
授業計画	第1回	内容	授業の開始にあたって	予習	年表・地図・資料集などを用意する	
				復習	授業時のメモや書き込みをノートにまとめる	
	第2回	内容	飛鳥という土地	予習	飛鳥について疑問点や問題点をまとめておく	
				復習	授業時のメモや書き込みをノートにまとめる	
	第3回	内容	和歌に表現された飛鳥	予習	飛鳥を詠んだ和歌を万葉集から抜き出す	
				復習	授業時のメモや書き込みをノートにまとめる	
	第4回	内容	近江大津京～ささなみの志賀の都	予習	近江の国、大津京について疑問点など明らかにしておく	
				復習	授業時のメモや書き込みをノートにまとめる	
	第5回	内容	藤原京～日本最初の計画都市	予習	藤原京について疑問点などを明らかにしておく	
				復習	授業時のメモや書き込みをノートにまとめる	
	第6回	内容	大和盆地という空間	予習	奈良県の地理を地図などで理解しておく	
				復習	授業時のメモや書き込みをノートにまとめる	
	第7回	内容	「ならのみやこ」平城京の実像	予習	平城京について疑問点などを明らかにしておく	
				復習	授業時のメモや書き込みをノートにまとめる	
	第8回	内容	東大寺と正倉院	予習	東大寺と正倉院について調べておく	
				復習	授業時のメモや書き込みをノートにまとめる	
第9回	内容	平城京から長岡京	予習	長岡京について調べておく		
			復習	授業時のメモや書き込みをノートにまとめる		
第10回	内容	平安京遷都～怨霊の時代	予習	平安遷都前後の歴史を調べておく		
			復習	授業時のメモや書き込みをノートにまとめる		
第11回	内容	鴨川のウチとソト	予習	京都市の地理を地図などで理解しておく		
			復習	授業時のメモや書き込みをノートにまとめる		
第12回	内容	平安京の寺社	予習	京都市内にある主な寺と神社を調べておく		
			復習	授業時のメモや書き込みをノートにまとめる		
第13回	内容	秀吉による平安京再建	予習	応仁の乱、豊臣秀吉について調べておく		
			復習	授業時のメモや書き込みをノートにまとめる		
第14回	内容	鎌倉と平泉～武士の「みやこ」北辺の「みやこ」	予習	鎌倉と平泉について調べておく		
			復習	授業時のメモや書き込みをノートにまとめる		
第15回	内容	重要事項のチェック～授業内容を振り返る	予習	ノートでこれまでの授業の内容をまとめる		
			復習	思い出せなかった事柄を再確認する		
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。						
課題へのフィードバック	授業終了時に各自に伝える					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（ 80%）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度（ 20%）					
教科書	なし（プリントを配布）					
参考文献	必要に応じて指示する					
注意事項	常に主体的に取り組む					

科目名	地域文化を学ぶ	単位数	2	実務経験	担当教員	おいかわ みちゆき 及川 道之
ナバリングコード	LC312	授業形態	演習	有・無		
授業の内容	所沢市及び周辺の地域を実際に訪ねて文化や歴史について理解する。					
到達目標	1. 地域に伝わる文化や歴史が理解できている。 2. 地理自然など所沢周辺の環境について理解できる。					
学位授与方針	幼児教育学科 (1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科 (1・2・3・4・5) 文化表現学科 (①・2・③・④)					
授業計画	第1回	内容	所沢と周辺の地域の歴史について	予習	所沢市及び周辺の地域の歴史について調べる	
				復習	メモや書き込みを整理してノートにまとめる	
	第2回	内容	所沢と周辺の地域の文化について	予習	所沢市及び周辺の地域の文化について調べる	
				復習	メモや書き込みを整理してノートにまとめる	
	第3回	内容	所沢と周辺の地域の地理自然について	予習	所沢市及び周辺の地域の地理自然を調べる	
				復習	メモや書き込みを整理してノートにまとめる	
	第4回	内容	トトロの森を訪ねる①	予習	トトロの森について調べる①	
				復習	メモや書き込みを整理してノートにまとめる	
	第5回	内容	トトロの森を訪ねる②	予習	トトロの森について調べる②	
				復習	メモや書き込みを整理してノートにまとめる	
	第6回	内容	トトロの森を訪ねる③	予習	トトロの森について調べる③	
				復習	メモや書き込みを整理してノートにまとめる	
	第7回	内容	トトロの森を紹介するパンフレットを作る	予習	パンフレットの作成に必要な資料を用意する	
				復習	パンフレットを完成させる	
	第8回	内容	三富新田を訪ねる①	予習	三富新田について調べる①	
				復習	メモや書き込みを整理してノートにまとめる	
第9回	内容	三富新田を訪ねる②	予習	三富新田について調べる②		
			復習	メモや書き込みを整理してノートにまとめる		
第10回	内容	三富新田を訪ねる③	予習	三富新田について調べる③		
			復習	メモや書き込みを整理してノートにまとめる		
第11回	内容	三富新田を紹介するパンフレットを作る	予習	パンフレットの作成に必要な資料を用意する		
			復習	パンフレットを完成させる		
第12回	内容	航空公園と市街地を訪ねる①	予習	航空公園とその周辺について調べる①		
			復習	メモや書き込みを整理してノートにまとめる		
第13回	内容	航空公園と市街地を訪ねる②	予習	航空公園とその周辺について調べる②		
			復習	メモや書き込みを整理してノートにまとめる		
第14回	内容	航空公園と市街地を訪ねる③	予習	航空公園とその周辺について調べる③		
			復習	メモや書き込みを整理してノートにまとめる		
第15回	内容	航空公園や市街地を紹介するパンフレットを作る	予習	パンフレットの作成に必要な資料を用意する		
			復習	パンフレットを完成させる		
予習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。復習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。						
課題へのフィードバック	提出時に各自に伝達する					
成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する / (○) しない 成績評価の方法：筆記試験 (%)、レポート・課題 (50%)、作品・発表 (%)、実技 (%)、授業態度 (50%)					
教科書	『書名』(著者名、出版社名) なし					
参考文献	『書名』(著者名、出版社名) 必要に応じて指示する					
注意事項	主体的に取り組む					

科目名	文化を訪ねる	単位数	2	実務経験	担当教員 おいかわ みちゆき 及川 道之
ナンバリングコード	LC412	授業形態	演習	有・無	
授業の内容	「風土と文化」をはじめこれまでの授業で学んだことを活用して、各自で立てたスケジュールに基づいて2泊3日の旅程で京都を訪ねて廻る。				
到達目標	1. 自身で京都旅行の行動計画が立てられる。 2. 計画に基づいて滞りなく行動できる。 3. オリジナルの旅行記が作成できる。				
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（①・②・3・④）				
授業計画	第1回	内容	授業の開始にあたって～授業の特性と諸注意	予習	メシラパスを熟読しておく
				復習	メモを参考にして改めてノートにまとめる
	第2回	内容	行動計画を立てるために	予習	ガイドブックなどで資料を用意する
				復習	使用する資料地図を精選する
	第3回	内容	行動計画書の作成と旅行前の最終確認	予習	行動計画書の試案を作る
				復習	行動計画書を完成させる
	第4回	内容	京都旅行1日目①	予習	予定通り円滑に行動できるか最終確認を行う
				復習	訪問先の情報など詳細に記録する
	第5回	内容	京都旅行1日目②	予習	予定通り円滑に行動できるか最終確認を行う
				復習	訪問先の情報など詳細に記録する
	第6回	内容	京都旅行1日目③	予習	予定通り円滑に行動できるか最終確認を行う
				復習	訪問先の情報など詳細に記録する
	第7回	内容	京都旅行2日目①	予習	予定通り円滑に行動できるか最終確認を行う
				復習	訪問先の情報など詳細に記録する
	第8回	内容	京都旅行2日目②	予習	予定通り円滑に行動できるか最終確認を行う
				復習	訪問先の情報など詳細に記録する
第9回	内容	京都旅行2日目③	予習	予定通り円滑に行動できるか最終確認を行う	
			復習	訪問先の情報など詳細に記録する	
第10回	内容	京都旅行2日目④	予習	予定通り円滑に行動できるか最終確認を行う	
			復習	訪問先の情報など詳細に記録する	
第11回	内容	京都旅行3日目①	予習	予定通り円滑に行動できるか最終確認を行う	
			復習	訪問先の情報など詳細に記録する	
第12回	内容	京都旅行3日目②	予習	予定通り円滑に行動できるか最終確認を行う	
			復習	訪問先の情報など詳細に記録する	
第13回	内容	京都旅行3日目③	予習	予定通り円滑に行動できるか最終確認を行う	
			復習	訪問先の情報など詳細に記録する	
第14回	内容	京都旅行3日目④	予習	予定通り円滑に行動できるか最終確認を行う	
			復習	訪問先の情報など詳細に記録する	
第15回	内容	旅行記の作成	予習	旅行中の記録や写真を整理しておく	
			復習	訪問先の情報など詳細に記録する	
予習に要する学習時間：概ね15分を目安とする。復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。					
課題へのフィードバック	提出する際に各自に伝達する				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ %）、レポート・課題（20%）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度（80%）				
教科書	『書名』（著者名、出版社名） なし				
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 必要に応じて指示する				
注意事項	主体的に取り組む				

科目名	文学の歩み	単位数	2	実務経験	担当教員 あいざわ ひろみち 相沢 浩通
ナンバリングコード	LC201	授業形態	講義	有・無	
授業の内容	古代から近世へと至る永く豊かな日本文学の歴史を通観します。しかし、半期という限られた期間に扱うのに対象はあまりに膨大です。よって、本講義では、物語史を中心に据え、神話、作り物語、歌物語、説話、軍記物語、御伽草子、仮名草子、浄瑠璃を取り上げます。				
到達目標	1. 煩わしい古典文法や古語から解放されて大いに多くを読み、各時代の空気を味わうことができる。 2. 人間というものへの理解を深め、人生をより豊かなものにすることができる。 3. 誇るべき日本の文学、芸術、思想、歴史に親しみ、今後の読書と研究に役立てることができる。				
学位授与方針	幼児教育学科 (1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科 (1・2・3・4・5) 文化表現学科 (①・②・③・④)				
授業計画	第1回	内容	『古事記』① イザナキとイザナミ 国生み・神生み	予習	知っている神話を思い出してみる
				復習	上代の人々のおおらかさをまとめる
	第2回	内容	『古事記』② アマテラスとスサノオ 天の石屋	予習	テキストに目を通しておく
				復習	日本国の成り立ちをまとめる
	第3回	内容	『日本書紀』 天地開闢	予習	テキストに目を通しておく
				復習	神話が語っているものを考える
	第4回	内容	『竹取物語』 かぐや姫の昇天	予習	テキストに目を通しておく
				復習	仮名のつくり物語について知識をまとめる
	第5回	内容	『伊勢物語』 筒井筒	予習	テキストに目を通しておく
				復習	和歌と歌物語の知識をまとめる
	第6回	内容	『大和物語』『平中物語』 生田川伝説 三角関係	予習	テキストに目を通しておく
				復習	恋愛の諸相について考える
	第7回	内容	『日本霊異記』 異類婚姻譚 仏教説話	予習	テキストに目を通しておく
				復習	仏教説話の特色をまとめる
	第8回	内容	『今昔物語集』 「藪の中」「羅生門」と芥川龍之介	予習	芥川龍之介の作品を読んでおく
				復習	世俗説話のエネルギーを味わう
第9回	内容	『将門記』『陸奥話記』 平将門の敗死 安倍貞任の敗北	予習	テキストに目を通しておく	
			復習	初期軍記の特色をまとめる	
第10回	内容	『保元物語』『平治物語』 幼な子らの処刑 悪源太雷化譚	予習	テキストに目を通しておく	
			復習	鎌倉軍記の特色をまとめる	
第11回	内容	『平家物語』『太平記』 平家の女人たち 北条一門の自害	予習	テキストに目を通しておく	
			復習	女人の悲しみをまとめる	
第12回	内容	『義経記』『曾我物語』 弁慶立往生 今剣(いまつるぎ) 仇討	予習	テキストに目を通しておく	
			復習	準軍記の特色をまとめる	
第13回	内容	御伽草子 一寸法師 浦島の太郎	予習	テキストに目を通しておく	
			復習	おとぎばなしの特色をまとめる	
第14回	内容	仮名草子 浄瑠璃 一休ばなし 耳なし芳一 出世景清	予習	テキストに目を通しておく	
			復習	近代初期の文学の特色をまとめる	
第15回	内容	総括	予習	扱った全作品を概観しておく	
			復習	物語史の流れをまとめる	
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。					
課題へのフィードバック	筆記試験実施後、解説を行います。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施(○)する/()しない 成績評価の方法：筆記試験(60%)、レポート・課題()%、作品・発表()%、実技()%、授業態度(40%)				
教科書	なし				
参考文献	なし				
注意事項	1. 現代語訳付きのテキストを配布して使用しますので、古典は初めて…でも全く大丈夫。楽しく参加できます。 2. 筆記試験に備えて、プリント、ノートはきちんと整備しておきましょう。				

科目名	古典文学を読む		単位数	2	実務経験	担当教員 おいかわ みちゆき 及川 道之
ナバリングコード	LC301	授業形態	演習	有・無		
授業の内容	8世紀の初めに成立したと伝わる『古事記』の上巻を読む。『古事記』の上巻には世界の始まりの様子と神々の様々な姿が描かれており、日本の神話が伝えるメッセージを読み解き、古代の歴史や文化の実像について考察を深めていく。					
到達目標	1 日本神話の内容を理解している。 2 日本文化の特性について理解している。 3 主要な神がみの特徴について理解している。 .					
学位授与方針	幼児教育学科 (1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科 (1・2・3・4・5) 文化表現学科 (1・2・3・4)					
授業計画	第1回	内容	授業の開始にあたって	予習	古事記について調べる	
				復習	メモ書き込みをノートにまとめる	
	第2回	内容	古事記が成立した時代	予習	多安麻呂・平城京について調べる	
				復習	メモ書き込みをノートにまとめる	
	第3回	内容	古事記「序」を読む	予習	古事記序文について調べる	
				復習	メモ書き込みをノートにまとめる	
	第4回	内容	「天地初発の時」世界の始まり	予習	古事記冒頭を読んで疑問点を書き出す	
				復習	メモ書き込みをノートにまとめる	
	第5回	内容	「大八島国の誕生」国土の生成	予習	イザナキイザナミについて調べる	
				復習	メモ書き込みをノートにまとめる	
	第6回	内容	「黄泉の国訪問」死とあの世の起源	予習	黄泉国について調べる	
				復習	メモ書き込みをノートにまとめる	
	第7回	内容	「三貴子の誕生」最高神天照大御神	予習	ミソギ・高天原について調べる	
				復習	メモ書き込みをノートにまとめる	
	第8回	内容	天照大御神とスサノヲ命	予習	アマテラス・スサノヲについて調べる	
				復習	メモ書き込みをノートにまとめる	
	第9回	内容	「八雲立つ出雲」八俣の大蛇	予習	八雲立つについて調べる	
復習				メモ書き込みをノートにまとめる		
第10回	内容	「オホナムチと因幡の素戔」	予習	出雲・稲葉について調べる		
			復習	メモ書き込みをノートにまとめる		
第11回	内容	「根の国訪問」と大国主の誕生	予習	根の国について調べる		
			復習	メモ書き込みをノートにまとめる		
第12回	内容	「国譲り」と出雲大社	予習	出雲大社について調べる		
			復習	メモ書き込みをノートにまとめる		
第13回	内容	「天孫降臨」山と海の神の娘たち	予習	最初に天から降る神について調べる		
			復習	メモ書き込みをノートにまとめる		
第14回	内容	山幸彦と海幸彦	予習	ヤマサチウミサチについて調べる		
			復習	メモ書き込みをノートにまとめる		
第15回	内容	授業の終了にあたって	予習	これまでのノートを改めて整理する		
			復習	主だった神々や神話の内容を再確認する		
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。						
課題へのフィードバック	授業終了の折に伝達する					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）％、レポート・課題（70％）、作品・発表（ ）％、実技（ ）％、授業態度（30％）					
教科書	なし（プリントを配布）					
参考文献	必要に応じて指示する					
注意事項						

科目名	古典文学を読む	単位数	2	実務経験	担当教員 あいざわ ひろみち 相沢 浩通
ナンバリングコード	LC301	授業形態	演習	有・無	
授業の内容	『平治物語』を講読します。平治元年(1159) 12月9日、宮廷内の権力争いを発端として勃発したクーデターは、源氏軍と平家軍の決戦となり、敗北した源氏方に数々の悲話を残しつつ、時代は驕(おご)る平家の世へと移行してゆきます。				
到達目標	1. 忠孝・武勇・潔さ・慈悲・もののあはれ。永きに亘り日本人が重んじてきたところを共有することができる。 2. 衣食住・戦闘と刀剣武器・信仰に関する歴史的知識を獲得して、「歴史もの」の小説・演劇・映画・アニメ・コミック・ゲーム等をより深く楽しむことができる。				
学位授与方針	幼児教育学科(1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科(1・2・3・4・5) 文化表現学科(①・②・③・④)				
授業計画	第1回	内容	授業計画の説明、軍記文学の概観	予習	シラバスに目を通しておく
				復習	サムライへのリスペクトをまとめる
	第2回	内容	『平治物語』の文学史上の位置と梗概	予習	資料に目を通しておく
				復習	主要軍記作品をまとめる
	第3回	内容	院政期の社会と平治の乱	予習	摂関政治・院政について調べておく
				復習	平治の乱の政治状況を把握する
	第4回	内容	『平治物語』講読① クーデターの勃発まで	予習	テキストに目を通しておく
				復習	乱の対立関係をまとめる
	第5回	内容	『平治物語』講読② 三条殿焼き討ち	予習	テキストに目を通しておく
				復習	これまでの事件の経過をまとめる
	第6回	内容	『平治物語』講読③ 大内裏の攻防戦(前編)	予習	テキストに目を通しておく
				復習	寝返りによる形勢逆転をまとめる
	第7回	内容	『平治物語』講読④ 大内裏の攻防戦(後編)	予習	テキストに目を通しておく
				復習	平家方の作戦を確認する
	第8回	内容	『平治物語』講読⑤ 源氏の敗北	予習	テキストに目を通しておく
				復習	戦闘の方法をまとめる
第9回	内容	『平治物語』講読⑥ 義朝らの死	予習	テキストに目を通しておく	
			復習	武人の名誉と不名誉を考える	
第10回	内容	『平治物語』講読⑦ 常葉の逃避行(前編)	予習	テキストに目を通しておく	
			復習	敗者の境遇をまとめる	
第11回	内容	『平治物語』講読⑧ 常葉の逃避行(後編)	予習	テキストに目を通しておく	
			復習	信心について考える	
第12回	内容	『平治物語』講読⑨ 常葉の出頭	予習	テキストに目を通しておく	
			復習	親孝行について考えをまとめる	
第13回	内容	『平治物語』講読⑩ 後日談 義平・頼朝ら	予習	テキストに目を通しておく	
			復習	怪異譚について考えをまとめる	
第14回	内容	『平治物語』講読⑪ 後日談 常葉・義経ら	予習	テキストに目を通しておく	
			復習	女性の幸福について考えを深める	
第15回	内容	総括	予習	物語の梗概を確認しておく	
			復習	古典文学を読むことの意義を考える	
予習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。					
課題へのフィードバック	筆記試験の実施後、解説を行います。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施(○)する/()しない 成績評価の方法：筆記試験(60%)、レポート・課題()%、作品・発表()%、実技()%、授業態度(40%)				
教科書	なし				
参考文献	『保元物語 平治物語 承久記』(栃木孝惟・日下力他校注、岩波書店)				
注意事項	1. 現代語訳の付いたテキストを配布して使用しますので、古典は初めて…でも全く大丈夫です。 2. 絵巻物等の絵画資料を活用して、平安時代の風俗(服装・武装・戦闘・信仰等)の解説に力を入れてゆきますので楽しみに。				

科目名	近代文学を読む		単位数	2	実務経験	担当教員 小清水 裕子
ナンバリングコード	LC302	授業形態	演習	有・無		
授業の内容	日本の明治期以降の文学である近代文学の作品を読解し、作品や作者について理解を深める。様々なジャンルの近代文学に親しみ、作品を味わう姿勢を養うとともに、近代文学の研究に関する基礎的な事柄について理解することを目的とする。					
到達目標	1. 近代文学の作品を読解して考察したことを表現することができる。 2. 近代文学の研究についての基礎的な事項を理解している。 3. 近代文学の作品を読解したことを通して、近代文学史を理解している。 4. 近代文学の作品の解釈の多様性について理解できる。					
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（①・2・3・4）					
授業計画	第1回	内容	ガイダンス、近代文学の研究の基礎		予習	シラバスを読んでおく
					復習	習得する内容について確認する
	第2回	内容	幸田露伴「五重塔」		予習	作品を読む
					復習	作品と作者について整理する
	第3回	内容	森鷗外「舞姫」		予習	作品を読む
					復習	作品と作者について整理する
	第4回	内容	樋口一葉「たけくらべ」		予習	作品を読む
					復習	作品と作者について整理する
	第5回	内容	夏目漱石「夢十夜」		予習	作品を読む
					復習	作品と作者について整理する
	第6回	内容	与謝野晶子「みだれ髪」		予習	作品を読む
					復習	作品と作者について整理する
	第7回	内容	島崎藤村「破壊」		予習	作品を読む
					復習	作品と作者について整理する
	第8回	内容	志賀直哉「城崎にて」		予習	作品を読む
					復習	作品と作者について整理する
	第9回	内容	芥川龍之介「蜘蛛の糸」		予習	作品を読む
				復習	作品と作者について整理する	
第10回	内容	中島敦「弟子」		予習	作品を読む	
				復習	作品と作者について整理する	
第11回	内容	高村光太郎「智恵子抄」		予習	作品を読む	
				復習	作品と作者について整理する	
第12回	内容	宮沢賢治「銀河鉄道の夜」		予習	作品を読む	
				復習	作品と作者について整理する	
第13回	内容	川端康成「古都」		予習	作品を読む	
				復習	作品と作者について整理する	
第14回	内容	三島由紀夫「金閣寺」		予習	作品を読む	
				復習	作品と作者について整理する	
第15回	内容	近代文学のまとめ		予習	今まで読解した作品と作者を整理する	
				復習	作品のジャンルや近代文学史を整理する	
	予習に要する学習時間：概ね40分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね15分を目安とする。					
課題へのフィードバック	作成したレポート及び、発表にコメントをする					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： レポート・課題（60%）、発表（20%）、授業態度（20%）					
教科書	事前に提示する					
参考文献	適宜提示する					
注意事項	予習時に作品を読んで気づいた問題点などをまとめておき、授業時の発表・討論時					

科目名	女性文学を読む		単位数	2	実務経験	担当教員 小清水 裕子
ナンバリングコード	LC411	授業形態	演習	有・無		
授業の内容	女性特有の表現などに注意しながら女性文学の作品を読解し、作品や作者について理解を深める。フェミニズムやジェンダーの視点などを持って作品に関わる姿勢を養い、女性文学の研究に関する基礎的な事柄について理解することを目的とする。					
到達目標	1. 女性文学の作品を読解して考察したことを表現することができる。 2. 女性文学の研究についての基礎的な事項を理解している。 3. 女性文学の特性について理解している。					
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（1・②・3・4）					
授業計画	第1回	内容	ガイダンス、女性文学の研究の基礎	予習	シラバスを読んでおく	
				復習	習得する内容について確認する	
	第2回	内容	樋口一葉「にごりえ」	予習	作品を読む	
				復習	作品と作者について整理する	
	第3回	内容	与謝野晶子「みだれ髪」	予習	作品を読む	
				復習	作品と作者について整理する	
	第4回	内容	吉屋信子「花物語」	予習	作品を読む	
				復習	作品と作者について整理する	
	第5回	内容	壺井栄「坂道」	予習	作品を読む	
				復習	作品と作者について整理する	
	第6回	内容	岡本かの子「生々流転」	予習	作品を読む	
				復習	作品と作者について整理する	
	第7回	内容	森茉莉「父の帽子」	予習	作品を読む	
				復習	作品と作者について整理する	
	第8回	内容	林芙美子「放浪記」	予習	作品を読む	
				復習	作品と作者について整理する	
	第9回	内容	宇野千代「おはん」	予習	作品を読む	
復習				作品と作者について整理する		
第10回	内容	幸田文「台所の音」	予習	作品を読む		
			復習	作品と作者について整理する		
第11回	内容	大庭みな子「三匹の蟹」	予習	作品を読む		
			復習	作品と作者について整理する		
第12回	内容	吉本ばなな「キッチン」	予習	作品を読む		
			復習	作品と作者について整理する		
第13回	内容	江國香織「冷静と情熱の間」	予習	作品を読む		
			復習	作品と作者について整理する		
第14回	内容	綿矢りさ「蹴りたい背中」	予習	作品を読む		
			復習	作品と作者について整理する		
第15回	内容	女性文学のまとめ	予習	今まで読解した作品と作者を整理する		
			復習	作品のジャンルや近代文学史を整理する		
予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね15分を目安とする。						
課題へのフィードバック	作成したレポート及び、発表にコメントをする					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： レポート・課題（60%）、発表（20%）、授業態度（20%）					
教科書	事前に提示する					
参考文献	適宜提示する					
注意事項	予習時に作品を読んで気づいた問題点などをまとめておく。					

科目名	図書館概論	単位数	2	実務経験	担当教員 のなか ひろふみ 野中 博史
ナンバリングコード	LB111	授業形態	講義	有・無 <input checked="" type="radio"/> 有	
授業の内容	図書館司書として不可欠の図書館に関する知識の修得及び図書館に関する課題を発見する力並びにその課題を解決する力を育む授業である。				
到達目標	1. 図書館司書としての知識を育むことができる。 2. 図書館の機能と意義についての知識を育むことができる 3. 図書館の諸問題について考察することができる。				
学位授与方針	幼児教育学科 (1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科 (1・2・3・4・5) 文化表現学科 (1・2・3・4)				
授業計画	第1回	内容	15回にわたる授業の内容と授業方法、予習・復習の方法、授業の仕方について説明	予習	シラバスを読んでおくこと
				復習	授業内容について理解しておくこと
	第2回	内容	図書館の歴史と機能	予習	教科書の所定の項を読んでおくこと
				復習	学習したことを自分なりに調べること
	第3回	内容	現代社会と図書館	予習	教科書の所定の項を読んで調べておくこと
				復習	学習したことを自分なりに調べること
	第4回	内容	図書館の理念①図書館の自由と民主主義	予習	教科書の所定の項を読んで調べておくこと
				復習	学習したことを自分なりに調べること
	第5回	内容	図書館の理念②図書館の自由と司書	予習	教科書の所定の項を読んで調べておくこと
				復習	学習したことを自分なりに調べること
	第6回	内容	図書館の理念③	予習	教科書の所定の項を読んで調べておくこと
				復習	学習したことを自分なりに調べること
	第7回	内容	図書館法規と行政・施策	予習	教科書の所定の項を読んで調べておくこと
				復習	学習したことを自分なりに調べること
	第8回	内容	地域社会と図書館	予習	教科書の所定の項を読んで調べておくこと
				復習	学習したことを自分なりに調べること
第9回	内容	公共図書館の制度と機能	予習	教科書の所定の項を読んで調べておくこと	
			復習	学習したことを自分なりに調べること	
第10回	内容	学校図書館の制度と機能	予習	教科書の所定の項を読んで調べておくこと	
			復習	学習したことを自分なりに調べること	
第11回	内容	大学図書館の制度と機能	予習	教科書の所定の項を読んで調べておくこと	
			復習	学習したことを自分なりに調べること	
第12回	内容	専門図書館の制度と機能	予習	教科書の所定の項を読んで調べておくこと	
			復習	学習したことを自分なりに調べること	
第13回	内容	国立国会図書館の制度と機能	予習	教科書の所定の項を読んで調べておくこと	
			復習	学習したことを自分なりに調べること	
第14回	内容	図書館をめぐる最近の動向と問題	予習	教科書の所定の項を読んで調べておくこと	
			復習	学習したことを自分なりに調べること	
第15回	内容	これまでの授業内容の確認	予習	教科書の所定の項を読んで調べておくこと	
			復習	学習したことを自分なりに調べること	
予習に要する学習時間：概ね50分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね130分を目安とする。					
課題へのフィードバック	適宜確認の時間をとります。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する / <input checked="" type="radio"/> しない 成績評価の方法：筆記試験 () %、レポート・課題 (50%)、作品・発表 (30%)、実技 () %、授業態度 (20%)				
教科書	『書名』（著者名、出版社名） 『図書館概論』（日本図書館協会）				
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 適宜、指示します。				
注意事項	学習した内容に関して、関連事項をなるべく自分で調べるようにしてください。評価点になります。				

科目名	図書館サービス概論	単位数	2	実務経験	担当教員	のなか ひろふみ 野中 博史
ナンバリングコード	LB112	授業形態	講義	有・無		
授業の内容	図書館司書として不可欠の図書館サービスに関する知識を修得し、図書館サービスに関する課題を発見する力並びにその課題を解決する力を育む授業とする。					
到達目標	1. 図書館サービスの機能と内容について説明できる。 2. 各種図書館サービスの実践ができる。 3. 図書館図書の配架ができる。 4.					
学位授与方針	幼児教育学科 (1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科 (1・2・3・4・5) 文化表現学科 (1・2・3・4)					
授業計画	第1回	内容	15回にわたる授業の内容と授業方法、予習・復習の方法、授業の仕方について説明	予習	シラバスを読んでおく	
				復習	この科目で修得すべき内容を理解する	
	第2回	内容	図書館の機能とサービスの目的・意義	予習	図書館の基本機能について調べておく。	
				復習	学習した内容について箇条書きでまとめる。	
	第3回	内容	図書館サービスの役割と制度	予習	図書館の機能と役割について調べておく	
				復習	学習した内容について箇条書きでまとめる。	
	第4回	内容	図書館サービスの種類と意義	予習	図書館サービスの種類について調べる	
				復習	学習した内容について箇条書きでまとめる。	
	第5回	内容	図書館サービスの基準と内容	予習	図書館サービスの基準について調べる	
				復習	学習した内容について箇条書きでまとめる。	
	第6回	内容	業務分析と図書館職員の能力・外部資源の活用	予習	業務分析と外部資源について調べておく	
				復習	学習した内容について箇条書きでまとめる。	
	第7回	内容	来館者へのサービス	予習	来館者サービスについて調べておく	
				復習	学習した内容について箇条書きでまとめる。	
	第8回	内容	図書館の利用空間の構成と整備	予習	図書館の構成について調べておく	
				復習	学習した内容について箇条書きでまとめる。	
第9回	内容	書籍配架の原理と工夫	予習	書籍は以下について図書館で調べておく		
			復習	学習した内容について箇条書きでまとめる。		
第10回	内容	貸出サービスの構造	予習	貸出の条件、手続きについて調べておく		
			復習	学習した内容について箇条書きでまとめる。		
第11回	内容	リクエストサービスとレファレンス	予習	レファレンスサービスについて調べておく		
			復習	学習した内容について箇条書きでまとめる。		
第12回	内容	著作権・プライバシーへの配慮	予習	著作権など法律について調べおく		
			復習	学習した内容について箇条書きでまとめる。		
第13回	内容	児童サービス・高齢者サービス	予習	サービスの内容について調べておく		
			復習	学習した内容について箇条書きでまとめる。		
第14回	内容	障害者サービス・多文化サービス	予習	サービスの内容について調べておく		
			復習	学習した内容について箇条書きでまとめる。		
第15回	内容	集会文化活動・図書館サービスのデリバリー	予習	サービスの内容について調べておく		
			復習	学習した内容について箇条書きでまとめる。		
予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。						
課題へのフィードバック	適宜、学習成果に関して確認の時間を取る。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）％、レポート・課題（60％）、作品・発表（ ）％、実技（ ）％、授業態度（40％）					
教科書	『書名』（著者名、出版社名）『図書館サービス概論』（日本図書館協会）					
参考文献	『書名』（著者名、出版社名）					
注意事項	評価するうえで重視するのは以下の2点です。①積極的に発言し、確認時間で質問に答えること②復習することが大切です。復習には教員が用意した「箇条書きノート」を提供します。					

科目名	社会人基礎講座	単位数	2	実務経験	担当教員	まつお のぶこ 松尾 信子
ナンバリングコード	CT201	授業形態	講義	有・無		
授業の内容	インターシップ実習や就職の際に必要なとされる知識や心構え、接遇マナー、コミュニケーションについて学びます。この授業では、実社会で活躍する先輩の講和、学内プレ・インターンシップ、実習やディスカッションを行い、実践に役立ちます。インターンシップを希望する学生の必須の教科であり、学科としては準必修科目の位置付けです。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会人に必要なマナーやスキルを修得し、実践できる。 2. 社会人として必要な基本的知識とコミュニケーション能力を身につけることができる。 3. 社会貢献をするために、自己確立と協調性を身につけることができる。 					
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（1・②・③・④）					
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション 社会人に求められるものは何か	予習	シラバスを読んでおく	
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する	
	第2回	内容	学生と社会人の意識や考え方の差はどこにあるのか	予習	企業が新入社員に求めるものは何かを調べる	
				復習	学生と社会人の考え方の違いをまとめる	
	第3回	内容	インターンシップと企業が求める人間像	予習	インターンシップとは何かを調べる	
				復習	意義と目的をまとめ、実習計画を立てる	
	第4回	内容	接遇の基本①【実践トレーニング】身だしなみ、基本動作 【社会人講話】① 事務系職員	予習	人の印象を判断する要素について調べる	
				復習	講話に関するレポートを作成・提出する	
	第5回	内容	接遇の基本②【実践トレーニング】挨拶、お辞儀	予習	お辞儀について種類を調べる	
				復習	実践トレーニングを繰り返し、身につける	
	第6回	内容	接遇の基本③【実践トレーニング】言葉づかい 【社会人講話】② 営業系職員	予習	敬語について調べる	
				復習	講話に関するレポートを作成・提出する	
	第7回	内容	コミュニケーションの基本①【実践トレーニング】基本4要素	予習	コミュニケーションの重要性について調べる	
				復習	敬語の使い方を覚え、実践に活かす	
	第8回	内容	コミュニケーションの基本②【実践トレーニング】話すと聴く 【社会人講話】③ 図書館司書	予習	司書の役割を調べ、講師への質問内容を考える	
				復習	講話に関するレポートを作成・提出する	
第9回	内容	コミュニケーションの基本②【実践トレーニング】コミュニケーションスタイル、 報告・連絡・相談	予習	報告・連絡・相談について調べる		
			復習	自己改革に役立てるための方法をまとめる		
第10回	内容	接遇マナーを「秋草祭」の現場で活かす	予習	学園祭の意義について調べる		
			復習	秋草祭参加の目的、実践内容をまとめる		
第11回	内容	電話対応の基本【実践トレーニング】	予習	ビジネスにおける電話対応の流れを調べる		
			復習	基本的な受け答え、よく使われる敬語をまとめる		
第12回	内容	文書作成の基本【演習】ビジネス文書の作成	予習	ビジネス文書の種類を調べる		
			復習	秋草祭の案内状を作成し、提出する		
第13回	内容	学内プレ・インターンシップの事前準備	予習	第3回講義資料およびまとめを再読する		
			復習	目的、内容、成果を再確認し、実践にそなえる		
第14回	内容	学内プレ・インターンシップの実践	予習	挨拶、マナー、心構えをチェックする		
			復習	学びや気づき内容のレポート作成・提出する		
第15回	内容	学内プレ・インターンシップの総括 授業の総括	予習	レポート内容を確認し、発表の準備をする		
			復習	卒業するまでに身につける内容をまとめる		
予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。						
課題へのフィードバック	レポートや課題に対する提出物に関しては、その都度、ランク付けとコメントを添付して返却します。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（40%）、実技（40%）、授業態度（20%）					
教科書	『わかる！使える！ホスピタリティの教科書』（浦郷義郎、PHP 研究所）					
参考文献	なし					
注意事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 特別な理由のない限り全員受講してください。レジュメは毎回インターネットで配信します。 2. 授業は毎回、演習やグループワークを取り入れ、実践を通して意識やマナーを身につけます。 3. 学内プレ・インターンシップを通して、積極的な職場体験を期待します 					

科目名	インターンシップ	単位数	2	実務経験	担当教員	えもと まさし 江本 全志
ナンバリングコード	CT232	授業形態	実習	有・無		
授業の内容	インターンシップでは、社会人としての基本的なマナーやコミュニケーション能力を身につけ、実習を通して職業の理解をしていきます。実習は働くことの意味や責任を体感し、将来の職業選択のための良い機会になります。本授業は、学生の学ぶ側から社会人の働く側への変わるための手助けをする役割を担っております。					
到達目標	1. 社会人として必要なマナーを身につけている。 2. 社会人として必要なコミュニケーション力を身につけている。 3. 社会人として必要な積極さを身につけている。					
学位授与方針	幼児教育学科 (1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科 (1・2・3・4・5) 文化表現学科 (1②③④)					
授業計画	第1回	内容	ガイダンス： インターンシップ実習の意義、概要とスケジュール	予習	シラバスを読んでおく	
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する	
	第2回	内容	体験から学ぶ 前回のインターンシップ実習生の報告会	予習	インターンシップについて調べる	
				復習	報告会の体験談をまとめる	
	第3回	内容	インターンシップ実習受入企業・団体の業種や職種の調査 自己分析と他己分析（グループワーク）	予習	興味のある業種と職種を考える	
				復習	業種と職種を検討する	
	第4回	内容	書類の書き方 面接の受け方	予習	面接におけるマナーについて調べる	
				復習	書類の書き方を復習する	
	第5回	内容	インターンシップ実習の申し込み 実習先の決定	予習	実習の申し込み先を考える	
				復習	実習先の情報をまとめる	
	第6回	内容	仕事の基本的知識とマナー① 心構え、挨拶、言葉遣い、身だしなみ	予習	仕事のマナーについて調べる	
				復習	挨拶や言葉遣いを復習する	
	第7回	内容	仕事の基本的知識とマナー② 電話の受け方、かけ方、メモの取り方	予習	電話のマナーについて調べる	
				復習	電話とメモに関することを復習する	
	第8回	内容	インターンシップ実習	予習	翌日の実習の仕事内容を確認する	
				復習	実習時の事柄を振り返る	
第9回	内容	インターンシップ実習	予習	翌日の実習の仕事内容を確認する		
			復習	実習時の事柄を振り返る		
第10回	内容	インターンシップ実習	予習	翌日の実習の仕事内容を確認する		
			復習	実習時の事柄を振り返る		
第11回	内容	インターンシップ実習	予習	翌日の実習の仕事内容を確認する		
			復習	実習時の事柄を振り返る		
第12回	内容	インターンシップ実習	予習	翌日の実習の仕事内容を確認する		
			復習	実習時の事柄を振り返る		
第13回	内容	インターンシップ実習	予習	翌日の実習の仕事内容を確認する		
			復習	実習時の事柄を振り返る		
第14回	内容	インターンシップ実習報告会の準備	予習	報告会の発表内容を考える		
			復習	報告会の発表資料を確認する		
第15回	内容	インターンシップ実習報告会（発表）	予習	報告会の練習をする		
			復習	報告会を振り返る		
予習に要する学習時間：概ね 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	インターンシップ実習の講評を行なう。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（10%）、作品・発表（20%）、実習（60%）、授業態度（10%）					
教科書	プリントまたはPDF形式のファイルを配布します。					
参考文献	なし					
注意事項						

科目名	キャリアデザイン	単位数	2	実務経験	担当教員	まつお のぶこ 松尾 信子
ナバリンコード	CT331	授業形態	講義	有・無		
授業の内容	就職活動を含むさまざまな節目における決断は、自分自身でしなければなりません。その際に、自分が望む生き方や働き方を軸にした職業選択、意識や能力の形成に対して主体性をもって計画し、実行していくことがキャリアデザインです。経済的・精神的視点、職業や働き方、自己理解等を通して、自己のキャリア形成をはかります。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生き生きとした仕事人生を実現するために、キャリアをデザインすることができる。 2. 「自分らしい仕事」を選択できるようになる。 3. 就職活動に向けて、今後の課題を明確にすることができる。 					
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（1・2・③・④）					
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション 100歳まで生きる時代に働き方はどう変わるか	予習	シラバスを読んでおく	
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する	
	第2回	内容	キャリアデザインとは何か	予習	教科書の第1章を熟読する	
				復習	キャリア理論の背景と意義についてまとめる	
	第3回	内容	現代人のライフサイクルを考える	予習	女性の社会進出について調べる	
				復習	社会環境の変化と女性の社会進出のまとめ	
	第4回	内容	年齢段階別キャリアデザインの方法を学ぶ	予習	教科書の第2章を熟読する	
				復習	学生生活での行動が与える影響をまとめる	
	第5回	内容	キャリアデザインを経済的側面と精神的側面から学ぶ	予習	経済的自立と精神的満足について考える	
				復習	自分の将来を想定して、生涯収支を計算する	
	第6回	内容	働き方や雇用形態を理解する	予習	雇用形態について調べる	
				復習	雇用形態によるメリット、デメリットのまとめ	
	第7回	内容	多様化する職業観について考える	予習	職業選択の際の基準について調べる	
				復習	社会的活動の意味の違いについてまとめる	
	第8回	内容	業種や職種について理解する	予習	業種と職種について調べる	
				復習	自分が関心のある業種や職種のリスト作成	
第9回	内容	社会人基礎力① コンピテンシー、対人能力 [グループワーク] 対人能力を高める方法を考える	予習	教科書の第3章を熟読する		
			復習	対人能力の重要性と自己改善法のまとめ		
第10回	内容	社会人基礎力② 対自己能力、対課題能力 [グループワーク] 対自己、対課題能力の高め方を考える	予習	対自己・対課題能力について自己チェックする		
			復習	社会人基礎力の重要性と自己改善法のまとめ		
第11回	内容	自己理解① キャリア・アンカーを考える [グループワーク] キャリアの主観的側面について考える	予習	キャリア・アンカーについて調べる		
			復習	仕事における自己イメージの確立とまとめ		
第12回	内容	自己理解② キャリア意識と能力の関係 [グループワーク] 自分の道は自分で創るためには	予習	小学校から今日までの自分の過去の振り返り		
			復習	自分の将来像について考えをまとめる		
第13回	内容	自己理解③ 自分のキャリアデザインをつくる	予習	自分の希望する仕事に関連する資格を調べる		
			復習	目標を設定し、学生時代の行動計画を立てる		
第14回	内容	自己理解④ 自己紹介と自己PRの違い、伝えるべきポイントを理解する	予習	採用試験の面接の際の質問内容を調べる		
			復習	面接想定問答一覧表に解答内容を記載する		
第15回	内容	授業の総括と決意表明	予習	講義の振り返りとポイントの再確認		
			復習	就職活動に備え、今後の方向性を明確にする		
予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。						
課題へのフィードバック	レポートや課題に対する提出物に関しては、その都度、ランク付けとコメントを添付して返却します。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（40%）、作品・発表（40%）、授業態度（20%）					
教科書	『キャリアデザイン入門 [I] 基礎力編 第2版』（大久保幸夫、日本経済新聞出版社）					
参考文献	『13歳のハローワーク』（村上 龍、幻冬舎）					
注意事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 始業時間は厳守してください。 2. レジュメや課題は毎回インターネットで配信しますので、講義の際に忘れずに持参してください。 3. 授業は毎回、演習やグループワークを取り入れた全員参加型です。積極的に参加する姿勢を評価します。 					

科目名	敬語とコミュニケーション		単位数	2	実務経験	担当教員	しばた 柴田 かおる
ナバリングコート	CT221	授業形態	講義	有・無			
授業の内容	敬語を使う理由と使わない理由を明確にする。広義では、初めに基本的な敬語のルールを学習。その上で、敬語を使う状況を具体的に色々と取り上げ、場面ごとに何が一番適切な敬語の使い方になるのか観察、分析し、正しく敬語が使えるようになるまで繰り返し、訓練する。						
到達目標	1. 尊敬語を正しく使える 2. 謙譲語を正しく使える 3. 丁寧語を使ってもいい場合を理解できる 4. 敬語以外の表現で敬意を表すことができる						
学位授与方針	幼児教育学科 (1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科 (1・2・3・4・5) 文化表現学科 (1・②・3・④)						
授業計画							
第1回	内容	なぜ敬語は必要なのか現代社会における敬語の考え方について、考察。具体的なケースを提示しながら敬語を使うことで、コミュニケーションの取り方がどう変わるか自ら判断できるようにする。	予習	なぜ敬語は必要なのか考えをまとめてくる			
			復習	実生活で敬語をどういう時に使うかまとめてみる			
第2回	内容	謙譲語の基本的な決まり事を学ぶ。謙譲語は自分の行為を表現することであることを徹底的に繰り返して練習することで、自然に使えるようにする。	予習	自分がよく使う謙譲語を書き出してくる			
			復習	テキストの例文問題が全問正解になるまで繰り返し返す			
第3回	内容	謙譲語の表現の中でも、丁寧語に近い表現を学ぶ。具体例を示しながら第2週で学んだ謙譲語との違いを理解する。	予習	謙譲語2と丁寧語の共通点を書き出してくる			
			復習	テキストの謙譲語例文を全問正解になるまで繰り返し返す			
第4回	内容	謙譲語と、尊敬語を混同して使わないように、具体例を示しながら学ぶ。動詞の変化を見れば、主語が省かれていても謙譲語と尊敬語の違いが分かることを反復練習で覚える。	予習	謙譲語と尊敬語の違いを書き出してくる			
			復習	テキストの中でも特に類似例文問題が全問正解になるまで繰り返し返す			
第5回	内容	ウチとソトという人間関係の区切りを念頭に、ソトの人間に対しては自分のウチ側にいる人間の行為について謙譲語を使うことを繰り返し練習。	予習	自分から見てウチとソトがどういう人間にあたるか書き出してくる			
			復習	ウチとソトという人間関係の区切りを念頭に、ソトの人間に対しては自分のウチ側にいる人間の行為について謙譲語を使うことをテキストの例文問題で繰り返し練習。			
第6回	内容	尊敬語の基本的な決まり事を学ぶ。尊敬語は自分以外の人物の行為を表すものであることを徹底的に繰り返して練習することで、自然に使えるようにする。	予習	自分が使う尊敬語を書き出してくる			
			復習	これまで習った謙譲語の言い回しと比較しながら、テキストの尊敬語例文問題を全問正解になるまで繰り返し返す			
第7回	内容	尊敬語を適切に使い、公道に張り出す告知文、公共施設での規則遵守を依頼する原稿を自ら書いてみる。状況を設定して、学生同士で尊敬語を使ってみる。	予習	課題を損益ごと謙譲語の違いに注意しながら書く			
			復習	授業で指摘されたことをもとに自分の書いた課題を推敲してみる			
第8回	内容	尊敬語の表現の中でも、人間関係を表す単語や、社会的地位を表す単語などの名詞を中心に学ぶ。更に敬意を表する宛名書きのルールも覚える。	予習	尊敬語の表現の中でも、人間関係を表す単語や、社会的地位を表す単語などの名詞を調べて書き出す			
			復習	尊敬語の表現の中でも、人間関係を表す単語や、社会的地位を表す単語などの名詞を自分で一覧表にして書き出してみる			
第9回	内容	丁寧語の基本的な決まり事を学ぶ。丁寧語は、主語が人間以外でも使えること、尊敬語や謙譲語ではなく、丁寧語でいい場合はどういった場合かを学ぶ。	予習	自分がよく使う丁寧語表現を書き出す。			
			復習	授業で教わった丁寧語例文問題を正解になるまで繰り返し書き出す			
第10回	内容	「お、ご」の使い方、改まり表現を学ぶ。それぞれ、実際に学生自身が使って表現してみる。過剰に「お、ご」を使わずに話すことも訓練する。	予習	「お、ご」を付ける単語をそれぞれ書き出してみる			
			復習	授業で教わったように「お、ご」を使って文章を書いてみる			
第11回	内容	クッション語をうまく使うことで、人間関係に配慮した敬語の使い方を身につける。実際に社会生活の中でクッション語が求められる状況を各自調べて、それにふさわしいクッション語を発表する。	予習	自分が使うクッション後を書き出してみる			
			復習	授業で教わったクッション後を整理して自分で一覧表を書いてみる			
第12回	内容	所謂バイト語について解説。何故敬語の間違ひの中でも、バイト語として括られる表現が、不快感を与えるのか考察する。実際に学生たちがよく使う、間違った敬語を挙げてもらい、それについて、自ら誤りを見つけて正しい言い方を学ぶ	予習	自分がよく使う、或いは人が使って気になるバイト後を書き出す			
			復習	バイト語として括られる表現を適切な警護で言い直してみる			
第13回	内容	人に物を依頼する場合、要求を断る場合、引き受けることが不可能であることを伝える場合について、具体的な状況を想定して、敬語を練習する。いきなり「出ません」と言わずに、できないことを相手が心から納得する言い方でどう伝えるか学ぶ。	予習	相手の言うことに否定的な意見を言う場合に相手が納得する言い方を色々書きだしてみる			
			復習	授業で教わった否定表現を、自分なりに相手が納得するような柔らかい表現に置き換えてみる			
第14回	内容	初対面の人間に対応する場合、クレームに対応する場合、自己紹介をする場合に、適切な敬語を使って表現してみる。	予習	初対面の人間に対応する場合、クレームに対応する場合、自己紹介をする場合どういいう課題を行う			

			復習	自分の書いてきた課題について授業で指摘されたことをもとに推敲し書き直す
	第15回	内容	過去14回の講義の復習を行う。よく間違える場所を特に繰り返して復唱する。	予習 これまでに配布されたテキスト全てに目を通して例題を行う
			復習	テキストの例文問題を再度やり直して自分が間違えたところを確認する
	予習に要する学習時間：概ね 80 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。			
課題へのフィードバック	期末試験の後に試験の解説を行う			
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する 成績評価の方法：筆記試験（80 %）、レポート・課題（20 %）			
教科書	その都度プリント配布			
参考文献	その都度授業で提示(敬語の考え方や使い方は時代を反映して変わってきているため、最新の情報を伝えるため)			
注意事項	授業中は実際に敬語を使って話したり書いたりしてもらおう。プリントは1回しか配布しないし、学期末まで使用するので、毎回持参すること。私語厳禁。携帯電話は切ってから授業に臨むこと。			

科目名	ホスピタリティ論	単位数	2	実務経験	担当教員	まつお のぶこ 松尾 信子
ナンバリングコード	CT332	授業形態	講義	有・無		
授業の内容	今、相手に夢や感動を与えるために自分は何をすべきかを考えて行動できる「ホスピタリティ・マインド」のある人間が求められています。AI や IOT による作業の自動化が進むこのような時代にこそ、思いやりの心を持った人材が必要とされるのです。ホスピタリティを理解し、その精神を反映した身だしなみや基本動作も身につけます。					
到達目標	1. ホスピタリティ・マインドとは何かを理解し、その精神を反映した立ち居振る舞いができる。 2. 相手に夢や感動を与えるために自分は何をすべきか、という視点から主体的な言動が取れる。 3. 学内や学外活動（学園祭・インターンシップ・アルバイト等）でホスピタリティを実践できる。 4. ホスピタリティを強みとした就職活動ができる。					
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（1・②・③・④）					
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション おもてなしの原点を知る	予習	シラバスを読んでおく	
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する	
	第2回	内容	サービスとホスピタリティの違いとは何か [グループワーク] 学園祭におけるホスピタリティの実践	予習	ディズニーランドの魅力をリストアップする	
				復習	学園祭での心構え、接遇についてまとめる	
	第3回	内容	「真実の瞬間」の重要性を学ぶ [グループワーク] 学園祭における「最高の瞬間」とは	予習	教科書の第2章と3章を熟読する	
				復習	学園祭での「最高の瞬間」創出法をまとめる	
	第4回	内容	「真実の瞬間の連続性」について理解する [グループワーク] 学園祭における実践内容の報告と感想	予習	学園祭での実践内容をまとめ、発表準備をする	
				復習	飲食店の「真実の瞬間の連続性」をまとめる	
	第5回	内容	お客さまの生涯価値はどのくらいか お客さま離れの恐ろしさとクレーム対応	予習	過去に経験した最高・最悪の瞬間の例をあげる	
				復習	クレーム対応の重要性と対応方法をまとめる	
	第6回	内容	お客さまは「顧客」ではなく「個客」である	予習	教科書の第4章を熟読する	
				復習	個客対応の重要性を事例をあげてまとめる	
	第7回	内容	ホスピタリティの視点からの接遇 [実践] 身だしなみ、表情、お辞儀、基本動作	予習	身だしなみについて調べ、整えて授業に参加	
				復習	接遇の基本要素について自己チェックする	
	第8回	内容	ホスピタリティの視点からのコミュニケーション [実践] 話す、聴く、コミュニケーション・スタイル	予習	企業が新入社員に求める資質や能力を調べる	
				復習	自己のスタイルを理解し、改善方法をまとめる	
第9回	内容	お客さまに生涯個客になっていただくためにはどうすべきか	予習	教科書の第5章を熟読する		
			復習	スマートパワーを高める方法をまとめる		
第10回	内容	お客さまの求める価値「純個客価値」とは何か	予習	教科書の第6章を熟読する		
			復習	「純個客価値」を高める方法をまとめる		
第11回	内容	企業の「見えざる資産」とは何か	予習	教科書の第7章を熟読する		
			復習	見えざる資産の重要性を項目ごとにまとめる		
第12回	内容	[学外授業による現場研修①]：一般的な飲食店や小売店におけるホスピタリティの実践	予習	チェック項目を確認し、研修の狙いを理解する		
			復習	本日の感想・気づき・意見をレポートにする		
第13回	内容	[学外授業による現場研修②]：お客さま満足度の高いホテルや百貨店におけるホスピタリティの実践	予習	チェック項目を確認し、研修の狙いを理解する		
			復習	本日の感想・気づき・意見をレポートにする		
第14回	内容	学外活動の感想発表 小テスト	予習	教科書（第1章～7章）を再読する		
			復習	学外授業の経験をもとに、今後の目標設定する		
第15回	内容	学生から社会人への意識改革 授業の総括	予習	教科書の第8章と9章を熟読する		
			復習	就職活動に活かす方法をまとめ、実践に備える		
予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。						
課題へのフィードバック	レポートや課題に対する提出物に関しては、その都度、ランク付けとコメントを添付して返却します。 小テストの筆記試験は、解答用紙の返却および解説を行います。実技については評価ポイントを明示します。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（30%）、レポート・課題（40%）、実技（20%）、授業態度（10%）					
教科書	『わかる！使える！ホスピタリティの教科書』（浦郷義郎、PHP 研究所）					
参考文献	なし					
注意事項	1. 始業時間は厳守してください。レジュメや課題は毎回インターネットで配信します。 2. 学外授業においてホテルや小売店を訪問し、ホスピタリティの大切さを体感していただきます。 3. 授業は毎回、演習やグループワークを取り入れた全員参加型です。積極的に参加する姿勢を評価します。					

科目名	プレゼンテーション	単位数	2	実務経験	担当教員 やまぐち ひろみ 山口 博美
ナンバリングコード	CT421	授業形態	演習	有・無	
授業の内容	自己表現力の最終段階のスキルとして、自己の意見や感情、企画や効果について訴え、相手に正しく理解してもらい行動させる力を身につけることが、プレゼンテーションの目標である。授業で行う多くのゲームやロールプレーを通し自己理解から自分の魅力を引き出し、社会に適応してゆく力を身につける。				
到達目標	1. 集団プレゼンテーション体験やコミュニケーションゲームから自己の魅力を知り、他の授業や就職活動に生かすことができる。 2. コミュニケーションの基礎を身につけ、自己の特色を表現するスキルを体得している。 3. 相手に納得してもらえ、社会性豊かなプレゼンテーションを実施できるスキルを身につけている。				
学位授与方針	幼児教育学科 (1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科 (1・2・3・4・5) 文化表現学科 (①・②・③・④)				
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション 講義の概略説明	予習	自己紹介を書いてくる
				復習	目標・受講のルール・評価基準をまとめる
	第2回	内容	プレゼンテーションの醍醐味と意味 メディアでのプレゼンテーション	予習	東京オリンピック、ノーベル賞のプレゼンを見る
				復習	姿勢、声、症状、態度、服装についてまとめる
	第3回	内容	プレゼンテーションの効果 (おうむ返しゲーム)	予習	自己プレゼンテーションの企画
				復習	他者と比較し長所改善点をまとめる
	第4回	内容	プレゼンテーションの挑戦 (インタビューゲーム)	予習	NHKのアナウンサーのインタビューを調べる
				復習	インタビュースキルをまとめる
	第5回	内容	傾聴力と情報収集力を養う「匠の里」	予習	テレビのニュースとフェークニュースについて調べる
				復習	ゲームを通して自己の話し方をまとめる
	第6回	内容	決定力、優先順位の決め方「船長の決断」	予習	自己の決定すべき問題の順位を調べる
				復習	自己の発言力と説得力についてまとめる
	第7回	内容	ディベート準備①ブレンストーミング テーマについてと進め方について	予習	ディベートの意味について調べる
				復習	テーマについて意見をまとめる
	第8回	内容	グループでディベート実践	予習	ディベートの効果について調べる
				復習	自己の役割と発言についてまとめる
	第9回	内容	ディベート② 新聞記事からテーマを取る	予習	新聞記事を調べる
				復習	新聞記事から意見をまとめる
	第10回	内容	グループでディベート実践	予習	テーマの論点を調べる
				復習	グループの成功・改善点をまとめる
第11回	内容	「私とは・・・」自己分析から自己理解	予習	自己分析のプリントを調べる	
			復習	プレゼンの準備書をまとめる	
第12回	内容	パワーポイントを使用して仕上げ、 発表①	予習	何を訴えるか、強調の論点を調べる	
			復習	他者の発表の評価記入	
第13回	内容	発表②	予習	プレゼン練習をしてくる	
			復習	他者の発表の評価記入、まとめる	
第14回	内容	企業研究 履歴書と志望動機、自己PR	予習	自己PRの内容を調べる	
			復習	企業研究をまとめる	
第15回	内容	企業面接 個人面接 評価について	予習	希望職種について調べる	
			復習	面接評価をまとめる	
予習に要する学習時間：概ね 15分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30分を目安とする。					
課題へのフィードバック	毎回の発表やレポートを採点しコメントする				
成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する / (○) しない 成績評価の方法：筆記試験 (%)、レポート・課題 (%)、作品・発表 (50 %)、実技 (30 %)、授業態度 (20 %)				
教科書	『書名』(著者名、出版社名)				
参考文献	『書名』(著者名、出版社名)				
注意事項	授業での発表やゲームに参加しない場合は評価になりませんので、欠席しないようにしてください				

科目名	社会人の書写	単位数	2	実務経験	担当教員 つちや あけみ 土屋 明美
ナンバリングコード	CT301	授業形態	演習	④・無	
授業の内容	身近にある書に関心を寄せ、向上心をもって新たな知識や技能の習得をめざす。基本的な「かな」文字の書き方から、小筆を用いたはがきの書き方まで行うことができる力を身につけることを目的とする。毎時間、お手本を課題にして練習と清書を繰り返す。「かな」の知識を習得して年賀状などにまとめる。				
到達目標	1. 身近な書に対する理解を深めている 2. 「かな」を中心に基本的な書写を理解している 3. 葉書・封書・手紙の書き方について説明できる 4. 日常生活の中に生かすことができるように身につけている				
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（①・②・3・4）				
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション、授業の進め方	予習	シラバスを読んでおく
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する
	第2回	内容	いろは歌①練習	予習	プリントを読んでおく
				復習	かな特有の筆づかいについてまとめる
	第3回	内容	" ②清書	予習	かな文字について整理しておく
				復習	いろは歌についてまとめる
	第4回	内容	葉書を書く①練習	予習	プリントを読んでおく
				復習	身近な葉書について調べる
	第5回	内容	" ②清書	予習	葉書の書式を理解しておく
				復習	葉書の要点をまとめる
	第6回	内容	封書を書く①練習	予習	プリントを読んでおく
				復習	身近な封書について調べる
	第7回	内容	" ②清書	予習	封書の書式を理解しておく
				復習	封書の要点をまとめる
	第8回	内容	手紙を書く①練習	予習	プリントを読んでおく
				復習	身近な手紙について調べる
第9回	内容	" ②清書	予習	手紙の書式を理解しておく	
			復習	手紙の要点をまとめる	
第10回	内容	手紙によく使われることは①練習	予習	プリントを読んでおく	
			復習	季語について調べる	
第11回	内容	" ②清書	予習	手紙の書式を理解しておく	
			復習	手紙の要点をまとめる	
第12回	内容	暑中見舞い①練習	予習	プリントを読んでおく	
			復習	暑中見舞いの書式を理解しておく	
第13回	内容	" ②清書	予習	草稿を考える	
			復習	制作を振り返り、改善方法をまとめる	
第14回	内容	年賀状①練習	予習	プリントを読んでおく	
			復習	年賀状の書式を理解しておく	
第15回	内容	" ②清書	予習	草稿を考える	
			復習	制作を振り返り、改善方法をまとめる	
予習に要する学習時間：概ね15分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。					
課題へのフィードバック	課題にコメントを行う				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 作品・発表（60%）、授業態度（40%）				
教科書	村上翠亭『かなのレッスン1（入門編）』二玄社、村上翠亭『かなのレッスン3（手紙）』二玄社				
参考文献	随時、参考文献を配布する				
注意事項	書道に関心を持って授業に臨むことを希望する。 用具・用材：大筆、硯、墨、下敷、文鎮、水滴、半紙など				

科目名	コミュニケーション論	単位数	2	実務経験	担当教員 のなか ひろふみ 野中 博史
ナバリングコード	CT212	授業形態	講義	①・無	
授業の内容	私達が日常生活で受容した情報を適切に判断し、合理的な推論をしたうえで、自らの意見を発表できる力を育成することを目的とした授業であり、社会コミュニケーション機能としてのメディアの情報の特性を実際の記事に即して説明し、学生と意見を交換する。				
到達目標	1. 受容した情報の意味や意義を適切に推論する力をつけることができる 2. 情報を発信したメディアの意図を適切に推論する力をつけることができる 3. 受容した情報の真偽を適切に推論する力をつけることができる				
学位授与方針	幼児教育学科 (1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科 (1・2・3・4・5) 文化表現学科 (1・②・③・4)				
授業計画	第1回	内容	ガイダンス。人間社会に情報としてのコミュニケーションの意味について説明する。	予習	シラバスを読んでおくこと
				復習	ノートを確認しておくこと
	第2回	内容	自我の形成とコミュニケーション。人間の自我の形成について説明する。	予習	自我とは何かについて調べておくこと
				復習	授業内容をノートに箇条書きすること
	第3回	内容	メディアと社会。人間のさまざまな社会コミュニケーションについて説明する	予習	社会コミュニケーションを調べておくこと
				復習	授業内容をノートに箇条書きすること
	第4回	内容	メディアと社会。人間のさまざまな社会コミュニケーションについて説明する	予習	新聞を読んでおくこと
				復習	授業内容をノートに箇条書きすること
	第5回	内容	メディアの手法。現在使われている様々なメディアの効果手法について説明する。	予習	新聞を読んでおくこと
				復習	授業内容をノートに箇条書きすること
	第6回	内容	メディアのメッセージ。メディアのメッセージとは何かについて説明する。	予習	新聞を読んでおくこと
				復習	授業内容をノートに箇条書きすること
	第7回	内容	振り返りと小テスト。②から⑥までの取りまとめと小テストの実施	予習	筆記したノートを確認しておくこと
				復習	授業内容をノートに箇条書きすること
	第8回	内容	メディアのコミュニケーション機能。環境監視機能等の機能について説明する。	予習	新聞を読んでおくこと
				復習	授業内容をノートに箇条書きすること
第9回	内容	メディアの効果論。強力効果論などメディアの効果論について説明する。	予習	新聞を読んでおくこと	
			復習	授業内容をノートに箇条書きすること	
第10回	内容	沈黙のらせん理論。沈黙のらせん理論について説明する。	予習	新bんを読んでおくこと	
			復習	授業内容をノートに箇条書きすること	
第11回	内容	噂のコミュニケーション。噂はどのように広がっていくかについて説明する。	予習	新聞を読んでおくこと	
			復習	授業内容をノートに箇条書きすること	
第12回	内容	人間の情報受容性。人間は情報をどのように受け取るか。その特性について説明する。	予習	新聞を読んでおくこと	
			復習	授業内容をノートに箇条書きすること	
第13回	内容	言葉とイメージ。言葉の持つイメージと、情報受容特性について説明する。	予習	新聞を読んでおくこと	
			復習	授業内容をノートに箇条書きすること	
第14回	内容	内容分析。メディアのメッセージを分析する手法としての内容分析に付いて説明する。	予習	新聞を読んでおくこと	
			復習	授業内容をノートに箇条書きすること	
第15回	内容	まとめ。情報の意味や意義を適切に推論する力をつけることができたかを確認する。	予習	新聞を読んでおくこと	
			復習	授業内容をノートに箇条書きすること	
予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。					
課題へのフィードバック	適宜、理解度を示す確認の時間をとる。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する / (○) しない 成績評価の方法：筆記試験 (%)、レポート・課題 (60%)、作品・発表 (20%)、実技 (%)、授業態度 (20%)				
教科書	『書名』(著者名、出版社名) 毎回、教員が提供する。				
参考文献	「コミュニケーション入門」(有斐閣)				
注意事項	どの新聞でどの記事でもよいので、毎日新聞を読んでおいてください。評価点に組み込みます。また、復讐の際、学習した学習したな威容を箇条書きしてください。評価点になります。				

科目名	異文化コミュニケーション	単位数	2	実務経験	担当教員	まつお のぶこ 松尾 信子
ナンバリングコード	CT213	授業形態	講義	有・無		
授業の内容	日本での常識が外国では通用しないことが多数あり、日本人同士でも年齢や性別、職業や地位、出身地によって文化や価値観に違いがあります。この授業では、文化的背景を異にする者同士が相手の立場からコミュニケーションを取るために、複数の地域の文化を考える力を養い、文化の交流に積極的に取り組む姿勢を身につけます。					
到達目標	1. 世界の国々のさまざまな文化の違いを説明できる。 2. 異文化の人びとに日本の魅力を伝えることができる。 3. 外国語に関心を持ち、異文化の人びととコミュニケーションが取れるようになる。					
学位授与方針	幼児教育学科 (1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科 (1・2・3・4・5) 文化表現学科 (①・②・3・4)					
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション 異文化による問題発生の事例研究	予習	シラバスを読んでおく	
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する	
	第2回	内容	異文化コミュニケーションの基礎概念	予習	文化とは何かについて調べる	
				復習	異文化コミュニケーションの意味をまとめる	
	第3回	内容	異文化コミュニケーションにおける重要キーワード	予習	新聞やニュースから海外の出来事を調べる	
				復習	場所・社会的状況、歴史などの影響をまとめる	
	第4回	内容	自己とアイデンティティ	予習	アイデンティティの意味を調べる	
				復習	アイデンティティと自己概念の理解とまとめ	
	第5回	内容	社会・文化的アイデンティティ	予習	新聞やニュースから海外の出来事を調べる	
				復習	社会や文化が与える影響についてまとめる	
	第6回	内容	異文化コミュニケーションの衝撃 [グループワーク] 日本国内で起きる摩擦の事例研究①	予習	事例について考えをまとめ、発表の準備をする	
				復習	偏見や差別等の障壁について考えをまとめる	
	第7回	内容	文化的価値の学習過程 [グループワーク] 日本国内で起きる摩擦の事例研究②	予習	事例について考えをまとめ、発表の準備をする	
				復習	文化的価値の共有と継承の仕組みをまとめる	
	第8回	内容	宗教・文化・芸術との関係性 [グループワーク] 世界の五大宗教についての調査研究	予習	新聞等から異文化間の宗教の問題を調べる	
				復習	関心のある宗教について調べ、まとめる	
第9回	内容	政治・教育・産業との関係性 [グループワーク] 宗教についての発表と比較研究	予習	新聞等から異文化間の政治の問題を調べる		
			復習	宗教や主義の違いがもたらす影響をまとめる		
第10回	内容	日本の歴史や文化等を通して自国を見直す [グループワーク] 外国語の日常&旅行会話修得(挨拶)	予習	外国語による挨拶について調べる		
			復習	日本の歴史・文化について考えをまとめる		
第11回	内容	コミュニケーションスタイルの多様性 [グループワーク] 外国語の日常&旅行会話(自己紹介)	予習	外国語による自己紹介を考える		
			復習	個人差と文化差について意見をまとめる		
第12回	内容	コミュニケーションとノンバーバルコミュニケーション [グループワーク] 外国語の日常&旅行会話(質問対応)	予習	外国語での質問に対する回答について調べる		
			復習	ノンバーバルコミュニケーションの重要性についてまとめる		
第13回	内容	相互理解を図るための話し方と聞き方 [グループワーク] 外国語の日常&旅行会話(日本食紹介)	予習	外国語による日本食の紹介を考える		
			復習	相互理解を図るために必要な要素をまとめる		
第14回	内容	コミュニケーションを取る際の注意点と心構え [グループワーク] 外国語の日常&旅行会話(観光地紹介)	予習	外国語による観光地の紹介を考える		
			復習	訪日客に対する配慮について考えをまとめる		
第15回	内容	新聞やニュースから現在の世界の状況を把握する 授業の総括と演習	予習	新聞等から異文化間の問題を調べる		
			復習	異文化理解に関する今後の取組みをまとめる		
予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。						
課題へのフィードバック	レポートや課題に対する提出物に関しては、その都度、ランク付けとコメントを添付して返却します。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施()する/()しない 成績評価の方法： レポート・課題(40%)、作品・発表(40%)、授業態度(20%)					
教科書	なし					
参考文献	なし					
注意事項	1. 始業時間は厳守してください。レジュメやレポート課題は毎回インターネットで配信します。 2. 授業は毎回、演習やグループワークを取り入れた全員参加型ですので、楽しく活発になるように協力してください。					

科目名	アナウンス表現演習		単位数	2	実務経験	担当教員 しばた 柴田 かおる
ナバリンコート	CT321	授業形態	演習	有・無		
授業の内容	この講義では正しい発声をするために必要な呼吸法、はっきりと大きな声で話す方法、相手が聞きやすい発音を指導する。また人に伝わる話し方の組み立てを繰り返し行い、最終的には人前で自分の考えを分かりやすく話せるように訓練する。特に、就職試験の面接や社会人になった時に必ず求められる自己紹介は徹底的に練習して、誰よりも印象的に本人の長所が伝わるようになるまで行う。					
到達目標	1・聞き取りやすい発音の仕方を身につく。 2・同じ部屋にいる人間がすべて聞き取れるくらいの音量で話せるようになる。 3・何が言いたいのか、明確な話の組み立て方ができる。 4・好印象を与える自己紹介の方法ができるようになる。					
学位授与方針	幼児教育学科 (1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科 (1・2・3・4・5) 文化表現学科 (1・2・3・4)					
授業計画	第1回	内容	腹式呼吸で声を出す方法 実際に決められた時間で自己紹介をする 為に、話す内容を整理して発表する。	予習	自己紹介の原稿を書いてくる	
				復習	授業で指摘されたことをもとに自己紹介をやり直して録音再生してみる	
	第2回	内容	腹式呼吸で声を出しながら「あ行～さ行」の活舌の訓練をする。 2分間で自己紹介をしてみる。	予習	腹式呼吸を意識しながら2分間で自己祖父空 きができるか時間を計ってみる	
				復習	活舌の練習を家でもやってみて、それを意識しながら自己紹介を録音再生してみる	
	第3回	内容	腹式呼吸で声を出しながら「た行～は行」の活舌の訓練をする。 自分が現在一番興味のあることについて、具体的に話す内容をまとめる。	予習	活舌の練習を自宅でも行う。自分が現在一番興味のあることについて、まとめる	
				復習	自分が現在一番興味のあることについて、まとめ発表した内容を再度自宅でも録音再生してみる	
	第4回	内容	腹式呼吸で声を出しながら「ま行～わ行」の活舌の訓練をする。 自分が現在一番興味のあることについて、まとめた原稿を読んで発表する。	予習	活舌の練習を自宅でも行う。前の週に授業中指摘されたことを現行に反映して書き直す	
				復習	授業で指摘されたことを意識しながら発表を録音再生してみる	
	第5回	内容	腹式呼吸による発声練習、活舌の練習文を声に出して読む。 地図を使って、ある場所への行き方の説明をする。	予習	活舌の練習を自宅でも行う。課題で出された場所への地図を説明できるようにする	
				復習	授業で指摘されたことを意識しながら発表を録音再生してみる。地図の説明が本当にわかりやすいか、第三者にも聞いてもらう	
	第6回	内容	腹式呼吸による発声練習、活舌の練習文を声に出して読む。 自分だけが知っている場所へ、最寄り駅から行く方法をわかりやすく説明する。	予習	活舌の練習を自宅でも行う。加太の場所に行く方法をわかりやすく説明する原稿を書く。	
				復習	授業で指摘されたことを直して、録音再生して確認する	
	第7回	内容	腹式呼吸による発声練習、活舌の練習文を声に出して読む。 自分だけが知っている物について、それを見たことがない人に正確に伝える。	予習	活舌の練習を自宅でも行う。 課題の原稿を書く	
				復習	授業で指摘されたことを直して、録音再生して確認する。第三者にも聞いてもらう。	
	第8回	内容	腹式呼吸による発声練習、活舌の練習文を声に出して読む。 第7週で発表した内容について、発表者以外の学生は疑問点を指摘する。発表者は全員が分かるように再度発表する。	予習	活舌の練習を自宅でも行う。 禅宗の課題で指摘されたことを遂行して原稿を書きなおす。	
復習				授業で指摘されたことを直して、録音再生して確認する。第三者にも聞いてもらう。		
第9回	内容	腹式呼吸による発声練習、活舌の練習文を声に出して読む。 最近の新聞で気になった記事についてまとめて発表する。人の発表について質問する	予習	新聞を読んで興味ある記事についてまとめる		
			復習	授業で指摘されたことを踏まえて原稿を遂行する。		
第10回	内容	腹式呼吸による発声練習、活舌の練習分を声に出して読む。 第9週で他の人から指摘された内容を踏まえて再度わかりやすく発表する	予習	遂行した原稿を声に出して読んで練習する。		
			復習	授業で指摘されたことをもとに原稿を直し、再度録音再生してみる		
第11回	内容	腹式呼吸による発声練習、活舌の練習分を声に出して読む。 自分の好きなものについてその理由を明確に伝える。	予習	分の好きなものについてその理由を明確に伝える原稿を書く。		
			復習	授業で指摘されたことをもとに原稿を直し、再度録音再生してみる		
第12回	内容	腹式呼吸による発声練習、活舌の練習文を声に出して読む。 自分の得意なことについて、原稿をまとめ、2分間で話す。	予習	自分の得意なことについて、原稿をまとめる。		
			復習	授業で指摘されたことをもとに原稿を直し、再度録音再生してみる		
第13回	内容	腹式呼吸による発声練習、活舌の練習文を声に出して読む。 自分が卒業後にやりたいことについて、原稿をまとめ、2分間で話す。	予習	自分が卒業後にやりたいことについて、原稿をまとめ		
			復習	授業で指摘されたことをもとに原稿を直し、再度録音再生してみる		
第14回	内容	腹式呼吸による発声練習、活舌の練習文を声に出して読む。 聞いてほしい、ちょっといい話について、2分間のスピーチをして、録音。自分の話し方を客観的に理解する。	予習	聞いてほしい、ちょっといい話について、2分間の原稿にまとめる。		
			復習	授業で指摘されたことをもとに原稿を直し、再度録音再生してみる。		
第15回	内容	これまで授業で訓練してきた発表方法を踏まえながら、2分間の再度自己紹介をし、初回での発表との違いを比較。授業の成果	予習	これまで授業で訓練してきた発表方法を踏まえながら、2分間の再度自己紹介の原稿を書く。		

		を見る。	復習	授業で指摘されたことをもとに原稿を直し、再度録音再生してみる。
	予習に要する学習時間：概ね 40 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。			
課題へのフィードバック	授業で発表のたびに、講評、問題点を指摘する			
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）しない 成績評価の方法：レポート・課題（ 50%）、授業態度（50 %）			
教科書	その都度プリント配布			
参考文献	その都度プリント配布			
注意事項	毎日、新聞に目を通す習慣を身に着ける 授業時間には声を出すので満腹にして授業に出席しない 私語は慎む			

科目名	ボランティア活動	単位数	2	実務経験	担当教員	なかにし きわ 中西 希和
ナンバリングコード	CT231	授業形態	実習	有・無		
授業の内容	地域社会とのつながりを、ボランティア活動を通して築きあげていくとともに、ボランティア活動の社会的な必要性を認識し、社会の構成員としての状況に応じた果たすべき役割について、実践を通して考えていきます。					
到達目標	1. 毎回、活動日誌を作成することができる。 2. 日々の活動を捉えなおすことや活動に対する評価等を客観化できる。					
学位授与方針	幼児教育学科 (1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科 (1・2・3・4・5) 文化表現学科 (1 ②・3・④)					
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	シラバスを読んでおく	
				復習	この授業で習得すべき内容を理解する	
	第2回	内容	ボランティア先の調査・研究、計画作成	予習	ボランティア先を調査する	
				復習	計画を立てる	
	第3回	内容	計画への評価、ボランティア活動で目指すもの	予習	計画を確認する	
				復習	活動の目標を立てる	
	第4回	内容	ブレ・ボランティア	予習	活動の具体的な内容について調べておく	
				復習	日誌等に記入し、活動をチェックする	
	第5回	内容	積極的にボランティアに参加し、実習を行う。ボランティア参加後は、必ず記録を残しておく。	予習	活動の具体的な内容について調べておく	
				復習	日誌等に記入し、活動をチェックする	
	第6回	内容	積極的にボランティアに参加し、実習を行う。ボランティア参加後は、必ず記録を残しておく。	予習	活動の具体的な内容について調べておく	
				復習	日誌等に記入し、活動をチェックする	
	第7回	内容	積極的にボランティアに参加し、実習を行う。ボランティア参加後は、必ず記録を残しておく。	予習	活動の具体的な内容について調べておく	
				復習	日誌等に記入し、活動をチェックする	
	第8回	内容	積極的にボランティアに参加し、実習を行う。ボランティア参加後は、必ず記録を残しておく。	予習	活動の具体的な内容について調べておく	
				復習	日誌等に記入し、活動をチェックする	
第9回	内容	積極的にボランティアに参加し、実習を行う。ボランティア参加後は、必ず記録を残しておく。	予習	活動の具体的な内容について調べておく		
			復習	日誌等に記入し、活動をチェックする		
第10回	内容	積極的にボランティアに参加し、実習を行う。ボランティア参加後は、必ず記録を残しておく。	予習	活動の具体的な内容について調べておく		
			復習	日誌等に記入し、活動をチェックする		
第11回	内容	積極的にボランティアに参加し、実習を行う。ボランティア参加後は、必ず記録を残しておく。	予習	活動の具体的な内容について調べておく		
			復習	日誌等に記入し、活動をチェックする		
第12回	内容	積極的にボランティアに参加し、実習を行う。ボランティア参加後は、必ず記録を残しておく。	予習	活動の具体的な内容について調べておく		
			復習	日誌等に記入し、活動をチェックする		
第13回	内容	積極的にボランティアに参加し、実習を行う。ボランティア参加後は、必ず記録を残しておく。	予習	活動の具体的な内容について調べておく		
			復習	日誌等に記入し、活動をチェックする		
第14回	内容	報告書の作成、実習日誌をまとめる	予習	報告書の提出を確認する		
			復習	実習日誌を整理する		
第15回	内容	実習日誌の提出	予習	実習日誌をチェックする		
			復習	全体の活動を振り返り、評価する		
予習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。						
課題へのフィードバック	活動の講評を行います。					
成績評価	試験期間における定期試験： 実施 () する / (○) しない 成績評価の方法： 課題・レポート (20%)、実習 (80%)					
教科書	なし 必要に応じ、プリントを配布します。					
参考文献	授業の中で随時、紹介します。					
注意事項	自ら行動する習慣を身につけましょう。					

科目名	マンガ・イラスト表現 I	単位数	2	実務経験	担当 教員	飯田 耕一郎
ナンバリング コード*	CE201	授業 形態	演習	㊟・無		
授業の 内容	マンガは絵と物語の両方を合わせた世界なので、デッサン、キャラクター、背景、パースなどの基本を複合的に進めていく形になります。 イラストもまた物語性を理解することによって創作の幅が広がるものと考えて大きな区別はありません。					
到達目 標	1. 人物の顔と表情が描き分けられるようになり、いろんなキャラを描ける。 2. 人物の全身は難しいですが、チビキャラで構造を理解し描けるようになる。 3. 人物に合わせて背景も描けるためのパースの基礎を理解できるようになる。					
学位授 与方針	幼児教育学科 (1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科 (1・②・③・4・5) 文化表現学科 (1・②・3・④)					
授業 計画	第1 回	内容	【〇と□を描こう】円と四角を描けることが基本の基本。	予 習	均等な線を引けるように描く	
				復 習	〇と□を描く	
	第2 回	内容	【いろいろな表情を描こう】表情が変化するパターンを学ぶ。	予 習	大きさを変えて〇を描く	
				復 習	自分でパターンをつくってみる	
	第3 回	内容	【喜怒哀楽の表情を描こう】感情表現を理解する。	予 習	顔の感情変化を考えてみる	
				復 習	パターンの数を増やしてみる	
	第4 回	内容	【二頭身キャラを描こう】シンプルなキャラを描く。	予 習	同じ大きさの〇をふたつ描く	
				復 習	体型の変化を考えて描く	
	第5 回	内容	【二頭身キャラのアクション】キャラに動きをつける。	予 習	ふたつの〇を重ねて描く	
				復 習	動きのパターンを考えて描く	
	第6 回	内容	【三頭身キャラを描こう】キャラを描く。	予 習	同じ大きさの〇を三つ描く	
				復 習	体型の変化を考えて描く	
第7 回	内容	【三頭身キャラのアクション】キャラに動きをつける。	予 習	三つの〇を重ねて描く		
			復 習	動きのパターンを考えて描く		
第8 回	内容	【一点透視図法を学ぼう】パースを理解する。	予 習	定規で直線を均等に引く		
			復 習	箱を並べて描いてみる		
第9 回	内容	【一点透視図法を学ぼう】家を描いてみる。	予 習	一点パースの写真に線を引き手みる		
			復 習	家のパターンを変えて描いてみる		
第10 回	内容	【一点透視図法を学ぼう】線路を描いてみる。カーブをかけてみる。	予 習	一点パースの写真に消失点を探す		
			復 習	並んだ電柱を描いてみる		
第11 回	内容	【二点透視図法を学ぼう】箱を描いてみる。	予 習	二つの箱を左右に分けて描いてみる		
			復 習	形の違う箱を並べて描いてみる		
第12 回	内容	【二点透視図法を学ぼう】	予 習	二点パースの写真に線を引きいてみる		

	回		ビルを描いてみる。		復習	ビルに窓を足してみる
	第13回	内容	【二点透視図法を学ぼう】 いろんな角度のBOXを描いてみる。		予習	空き箱を描いてみる
					復習	アイレベルを変えて箱を描いてみる
	第14回	内容	【自分の部屋を描いてみよう】 部屋と人物を描く。		予習	自分の部屋の見取り図を描いてみる
					復習	描いた部屋に小物を描いてみる
	第15回	内容	【色を塗ってみよう】 塗りでカラー表現を学ぶ。		予習	色鉛筆を使っておく
					復習	色鉛筆でグラデーションを表現する
	予習に要する学習時間：概ね15分を目安とする。復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。					
課題へのフィードバック	課題作品にたいしてのアドバイスによる修正点、上達ポイントを指摘することでより向上を目指します。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（30%）、作品・発表（20%）、実技（30%）、授業態度（20%）					
教科書	なし					
参考文献	なし					
注意事項						

科目名	マンガ・イラスト表現Ⅱ		単位数	2	実務経験	担当 教員	飯田耕一郎
ナンバリングコード*	CE301		授業形態	演習	⑦・無		
授業の内容	背景、パースなどの基本内容を復習しながら更に模写の技術、線画の技術などを深めていく内容になっています。課題もより創作に近づけた内容になっていきます。						
到達目標	1. 表現の仕方のコツを学び、理解力の幅を広げていく。 2. 人物はチビキャラから更に進めて5頭身～6頭身のサイズで描くことを学びます。 3. 背景も単純な形状から俯瞰、アオリを含めた複雑な描写と、透視図法を理解出来るようになる。						
学位授与方針	幼児教育学科 (1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科 (1・2・3・4・5) 文化表現学科 (1・②・3・④)						
授業計画	第1回	内容	【人体の構造を学ぶ】 骨格の構造などの理解。	予習	体を触って骨を認識してみる		
				復習	骨で全身を描いてみる		
	第2回	内容	【5頭身キャラを描こう】人物の動作を六頭身で描きま す。	予習	3頭身の復習をしておく		
				復習	体型を変えて5頭身を描く		
	第3回	内容	【5頭身キャラを描こう】人物の全身で感情表現を学ぶ。	予習	5頭身に動きをつけてみる		
				復習	喜怒哀驚の動きを描いてみる		
	第4回	内容	【線の強弱のつけ方を学ぶ】線による表現力の違いを学び ます。	予習	細い線太い線を描き分ける		
				復習	課題を参考に窓の細部を描く		
	第5回	内容	【模写の仕方を学ぶ】 大きさの違う対象を模写する。	予習	写真 or イラストを模写		
				復習	課題を参考に模写をする		
	第6回	内容	【シワの描き方】 布のシワ。ハンカチ、カーテン。	予習	ティッシュを丸めて描く		
				復習	部屋のカーテンを描く		
	第7回	内容	【シワの描き方】 人物の服のシワ。	予習	ハンカチを描く		
復習				鏡で自分の服のシワを描く			
第8回	内容	【手の描き方】 手の構造の理解。	予習	手のラフを描く			
			復習	手の裏表を描く			
第9回	内容	【手の描き方】 いろんな手のポーズを描く。	予習	自分の手にポーズをつけて模写			
			復習	課題サンプルその他を模写			
第10回	内容	【足の描き方】 足の構造と描き方。	予習	足のラフを描く			
			復習	課題サンプルその他を模写			
第11回	内容	【複数キャラを描こう】 脇役をうまく描いてみましょ う。	予習	知人をキャラ化してみる			
			復習	脇役の角度を変えて描く			
第12回	内容	【ショットサイズ】 カメラ視点で人物のサイズを変えて描く。	予習	人物を色々なサイズで撮ってみる			
			復習	ショットサイズを変えて人物を描く			
第13回	内容	【俯瞰とあおりと平行】 平行	予習	固定した人物をズームして撮る			

	回		視点で人物と背景を描いてみる。	復習	課題細部を完成する
	第14回	内容	【俯瞰とあおりと平行】あおり視点で人物を描いてみる。	予習	人物をあおりで撮ってみる
				復習	課題細部を完成する
	第15回	内容	【俯瞰とあおりと平行】俯瞰視点で人物と背景を描いてみる。	予習	人物を俯瞰で撮ってみる
				復習	課題細部を完成する
	予習に要する学習時間：概ね15分を目安とする。復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。				
課題へのフィードバック	課題作品にたいしてのアドバイスによる修正点、上達ポイントを指摘することでより向上を目指します。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（30%）、作品・発表（20%）、実技（30%）、授業態度（20%）				
教科書	なし				
参考文献	なし				
注意事項					

科目名	マンガ 創作	単 位 数	2	実務経験	担当 教員	飯田 耕一郎
ナンバリング コード	CE401	授 業 形 態	演習	有・無		
授業の 内容	物語をつくるための創作技法の理解。 実際にコマを割ってマンガ作品を創作します。 そのためのコマ割りの技術を学んでいきます。					
到達目 標	1. マンガの描き方の流れを学び、ペンを使いコマを割って創作作品をひとつ仕上げること。 2. 自由イラストを制作すること。 3. 生徒全員で同人誌を制作すること。					
学位授 与方針	幼児教育学科 (1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科 (1・2・3・4・5) 文化表現学科 (1・ ②・3・④)					
授 業 計 画	第1 回	内 容	【マンガ制作の流れ】 制作 プロセスを理解します。	予 習	日常のエピソードを考える	
				復 習	キャラづくりをする	
	第2 回	内 容	【コマ割りの理解①】 コマ を割って課題とともに学びま す。	予 習	通勤中のエピソードをメモする	
				復 習	キャラづくりをする	
	第3 回	内 容	【コマ割りの理解②】 コマ に分割していく流れを学びま す。	予 習	家庭でのエピソードをメモする	
				復 習	プロットを考える	
	第4 回	内 容	【コマ割りの理解③】 コマ を読む進める流れを学びま す。	予 習	プロットを考える	
				復 習	プロットを考える	
	第5 回	内 容	【プロット作り】 オリジナ ルのあらすじを考えましょ う。	予 習	プロットを煮詰める	
				復 習	プロットを煮詰める	
	第6 回	内 容	【ストーリー作り①】 それ を物語にしていきます。	予 習	プロットを起承転結にまとめる	
				復 習	プロットを起承転結にまとめる	
	第7 回	内 容	【ストーリー作り②】 ネー ムという作業を学びます。	予 習	プロットを紙にラフで頁分割する	
			復 習	プロットを紙にラフで頁分割する		
第8 回	内 容	【課題を元にコマを割る】 コマを実際に割って見ます。	予 習	ネームをつくる		
			復 習	ネームをつくる		
第9 回	内 容	【課題を元にコマを割る】 アドバイスと共に完成させま す。	予 習	ネームをつくる		
			復 習	ネームをつくる		
第10 回	内 容	【下描き①】 原稿用紙に下 描きをしてみます。	予 習	下描き		
			復 習	下描き		
第11 回	内 容	【下描き②】 原稿用紙に下 描きをしてみます。	予 習	下描き		
			復 習	下描き		
第12 回	内 容	【ペン入れ】 原稿用紙にペ ン入れ。	予 習	ペン入れ		
			復 習	ペン入れ		
第13 回	内 容	【ペン入れ】 原稿用紙にペ	予 習	ペン入れ		

	回		ン入れ。		復習	仕上げ
	第14回	内容	【ペン入れ】 原稿用紙にペン入れ。		予習	ペン入れ
					復習	仕上げ
	第15回	内容	【作品チェック】 アドバイス。		予習	作品チェック
					復習	作品チェック
予習に要する学習時間：概ね15分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。						
課題へのフィードバック	課題作品にたいしてのアドバイスによる修正点、上達ポイントを指摘することでより向上を目指します。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（30%）、作品・発表（40%）、実技（20%）、授業態度（10%）					
教科書	なし					
参考文献	なし					
注意事項						

科目名	アニメーション表現 I	単位数	2	実務経験		飯田耕一郎
ナンバリングコード	CE202	授業形態	演習	有・無	担当教員	
授業の内容	アニメーションの基本的な理解。 製作工程、決まりごとを学びます。 動きの基本を単純で簡単なところから学んでいきます。					
到達目標	1. アニメーション制作の工程を理解できる 2. アニメーションの基本的な動きを実際に描いてみて知識と描写力をつけること。 3. アニメーションの表現方法の幅の広さを理解する。 4.					
学位授与方針	幼児教育学科 (1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科 (1・2・3・4・5) 文化表現学科 (1・②・3・④)					
授業計画	第1回	内容	アニメーションの基本を知ろう。	予習	好きなアニメ映画をメモしておく	
				復習	実写とアニメの違いを考える	
	第2回	内容	アニメーションはこうして創られる。	予習	好きなテレビアニメをメモしておく	
				復習	アニメの工程を再確認	
	第3回	内容	アニメーションの歴史の流れを知る。	予習	アニメーションの種類を考える	
				復習	監督と作品を再確認	
	第4回	内容	動かしてみよう「ボールの跳ねる動き」。	予習	ボールを跳ねさせて観察	
				復習	ボールの動きを再確認	
	第5回	内容	動かしてみよう「ボールの移動の動き」	予習	ボールを転がして観察	
				復習	ボールの動きを再確認	
	第6回	内容	動かしてみよう「重力と慣性」	予習	ボールを落として観察	
				復習	重力と慣性の動きを再確認	
	第7回	内容	動かしてみよう「ヨセとノコシ」	予習	速さと遅さの確認	
				復習	ヨセとノコシの動きを再確認	
	第8回	内容	動かしてみよう「手を振る」	予習	手を振る動きを観察	
				復習	手の振りの動きを再確認	
	第9回	内容	動かしてみよう「手を振る2」	予習	手の振りの動きを観察	
				復習	手の振りの動きを再確認	
	第10回	内容	動かしてみよう「お辞儀」	予習	お辞儀の動きを観察	
				復習	お辞儀の動きを再確認	
	第11回	内容	動かしてみよう「お辞儀2」	予習	お辞儀の動きを観察	
				復習	お辞儀の動きを再確認	
	第12回	内容	動かしてみよう「立ち上がる」	予習	立ち上がりの動きを観察	
				復習	立ち上がりの動きを再確認	

	第13回	内容	動かしてみよう「立ち上がる2」	予習	立ち上がりの動きを観察
				復習	立ち上がりの動きを再確認
	第14回	内容	動かしてみよう「歩く」	予習	歩きの動きを観察
				復習	歩きの動きを再確認
	第15回	内容	動かしてみよう「歩く2」	予習	歩きの動きを観察
				復習	歩きの動きを再確認
予習に要する学習時間：概ね15分を目安とする。復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。					
課題へのフィードバック	課題作品にたいしてのアドバイスによる修正点、上達ポイントを指摘することでより向上を目指します。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（0%）、レポート・課題（40%）、作品・発表（0%）、実技（40%）、授業態度（20%）				
教科書	なし				
参考文献	なし				
注意事項					

科目名	アニメーション表現Ⅱ	単位数	2	実務経験	担当 教員	飯田耕一郎
ナンバリング コード*	CE302	授業 形態	演習	有・無		
授業の内容	単純な動きの理解から更に進んで動物などの具体的な例でアニメーションさせていくことを学びます。 動きの基本には慣性や重力というものが大きく関わっていることを理解していきます。					
到達目標	1.単純な動きの理解から、人間の歩きをアニメーションさせること。 2.多関節の動きを理解して動物のアニメーションを描けるようになること。 3.水、炎などの動きを理解し、アニメーションさせるようになること。					
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7） 地域保育学科（1・2・3・4・5） 文化表現学科（1・②・3・④）					
授業計画	第1回	内容	アニメーションの基本構成を知ろう。	予習	アニメーション監督を10人メモする	
				復習	基本構成の再確認	
	第2回	内容	アニメーションの歴史その2	予習	アニメーション作品を10作メモする	
				復習	歴史を再確認	
	第3回	内容	動かしてみよう「歩き横向き」	予習	歩きの観察	
				復習	歩きの動きを再確認	
	第4回	内容	動かしてみよう「歩き横向き2」	予習	歩きの観察	
				復習	歩きの動きを再確認	
	第5回	内容	動かしてみよう「鳥の羽ばたき」	予習	羽ばたきの動きを考える	
				復習	羽ばたきの動きを再確認	
	第6回	内容	動かしてみよう「鳥の羽ばたき2」	予習	羽ばたきの動きを考える	
				復習	羽ばたきの動きを再確認	
	第7回	内容	名作を観る その1	予習	なし	
			復習	レポートを描く		
第8回	内容	動かしてみよう「表情をつけよう」	予習	表情を観察		
			復習	表情の動きを再確認		
第9回	内容	動かしてみよう「表情をつけよう2」	予習	表情を観察		
			復習	表情の動きを再確認		
第10回	内容	動かしてみよう「カエルのジャンプ」	予習	カエルの動きを考える		
			復習	カエルの動きを再確認		
第11回	内容	動かしてみよう「カエルのジャンプ2」	予習	カエルの動きを考える		
			復習	カエルの動きを再確認		
第12回	内容	名作を観る その2	予習	なし		
			復習	レポートを描く		
第13回	内容	動かしてみよう「炎」	予習	炎の動きを観察		

	回			復習	炎の動きを再確認
	第14回	内容	動かしてみよう「水」	予習	水の動きを観察
				復習	水の動きを再確認
	第15回	内容	生徒作品を観る	予習	なし
				復習	課題チェック修正
	予習に要する学習時間：概ね 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 分を目安とする。				
課題へのフィードバック	課題作品にたいしてのアドバイスによる修正点、上達ポイントを指摘することでより向上を目指します。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法： レポート・課題（40%）、作品・発表（0%）、実技（40%）、授業態度（20%）				
教科書	なし。				
参考文献	なし。				
注意事項					

科目名	アニメーション 創作	単位数	2	実務経験	担当 教員	飯田耕一郎
ナンバリング コード*	CE402	授業 形態	演習	有・無		
授業の 内容	実際にキャラクターや背景を描いてアニメーションを創作することになりますが、その手法に関していろんな形があることを楽しく学んで進められればと考えています。					
到達目 標	1. 基本的なアニメーションの流れを理解して実際に作ってみる。 2. 共通のテーマを前提にそれぞれが発想し短編アニメーション一本を創りあげること。 3. いろんな方法でアニメーションが創れることを学ぶ。					
学位授 与方針	幼児教育学科 (1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科 (1・2・3・4・5) 文化表現学科 (1・②・3・④)					
授業 計画	第1回	内容	アニメーション創作の流れ。	予習	短い展開の物語を考える	
				復習	短い展開の物語を考える	
	第2回	内容	テーマを決めよう	予習	自作のアニメの構成	
				復習	自作のアニメの構成	
	第3回	内容	内容を決めよう。	予習	構成のチェック	
				復習	構成のチェック	
	第4回	内容	キャラを設定をしよう。	予習	キャラクター創作	
				復習	キャラクター創作	
	第5回	内容	絵コンテを切ろう。	予習	絵コンテラフをつくる	
				復習	絵コンテラフをつくる	
	第6回	内容	絵コンテを切ろう。	予習	絵コンテをつくる	
				復習	絵コンテをつくる	
	第7回	内容	原画を描こう。	予習	作画	
				復習	作画	
	第8回	内容	原画を描こう。	予習	作画	
				復習	作画	
	第9回	内容	背景を作画しよう。	予習	作画	
				復習	作画	
	第10回	内容	背景を作画しよう。	予習	作画	
				復習	作画	
	第11回	内容	人物を描こう。	予習	作画	
				復習	作画	
	第12回	内容	人物を描こう。	予習	作画	
				復習	作画	
	第13回	内容	人物を描こう。	予習	作画	
				復習	取り込み	

	第14回	内容	仕上げてみよう。	予習	取り込み
				復習	取り込み
	第15回	内容	作品チェック	予習	作品チェック
				復習	作品チェック
予習に要する学習時間：概ね15分を目安とする。復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。					
課題へのフィードバック	課題作品にたいしてのアドバイスによる修正点、上達ポイントを指摘することでより向上を目指します。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（20%）、作品・発表（30%）、実技（30%）、授業態度（20%）				
教科書	なし。				
参考文献	なし。				
注意事項					

科目名	写真撮影技術演習	単位数	2	実務経験	担当教員	くどう けんいち 工藤 研一
ナバリングコード	CE251	授業形態	演習	有・無		
授業の内容	<p>様々分野において、写真(画像)は欠かせない表現方法として、いたる所で使用されています。ここでは短期間で写真撮影に関する基礎的な知識を身に付け、初歩的な撮影方法をしっかりと学び、写真で自己表現ができるように身に付けることを目指します。</p>					
到達目標	<p>1. 写真撮影に関する基礎知識とマナーを理解している。 2. 写真撮影による自己表現の方法を身につけている。 3. フォトアルバム制作により、今までに撮影した多くの写真を作品として整理しまとめる事ができる。 4. 日本の歴史的な場所で撮影することで伝統および近代文化に対する理解を深めている。</p>					
学位授与方針	幼児教育学科 (1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科 (1・2・3・4・5) 文化表現学科 (①・②・3・4)					
授業計画	第1回	オリエンテーション： 履修者が所有するカメラの把握。スケジュールの説明	予習	シラバスを読んでおく		
			復習	この科目で習得すべき内容を理解する		
	第2回	講習① 写真の概要、撮影マナーと肖像権	予習	所有しているカメラを確認し準備をする		
			復習	肖像権について理解する		
	第3回	実習① カメラの使い方と身近な被写体の撮影実習	予習	カメラの説明書の基本的な部分を読んでおく		
			復習	カメラの使い方を再度確認しておく		
	第4回	実習② 課題：学外の屋外撮影実習 予定地：文京区 根津神社・つつじ祭りなど	予習	実習場所を予め把握しておく		
			復習	撮影した場所・ポイントを整理する		
	第5回	講習② 撮影実習結果の講評と添削	予習	撮影した画像を事前に見ておく		
			復習	プリントする画像を選んでおく		
	第6回	講習③ 構図(フレーミング)、感度と露出	予習	テキストの構図の部分を見ておく		
			復習	構図について理解する		
	第7回	実習③ 課題：学外の屋外撮影実習 場所：旧古河庭園・春のバラフェスティバルなど	予習	実習場所を予め把握し撮影準備をする		
			復習	撮影した場所・ポイントを整理する		
	第8回	講習④ 撮影実習結果の講評と添削	予習	撮影した画像を予め確認しておく		
			復習	プリントする写真を選択する		
第9回	実習④ 課題：人物・小物アクセサリの撮影実習	予習	写したい小物アクセサリを用意する			
		復習	撮影したポイントを理解する			
第10回	実習⑤ 課題：学外の屋外撮影実習 場所：喜多院・川越の街並み歴史的建造物など	予習	実習場所と被写体を予め把握をしておく			
		復習	撮影した場所・ポイントを整理する			
第11回	講習⑤ 撮影実習結果の講評と添削	予習	撮影した画像を見ておく			
		復習	プリントする写真を選択しプリントする			
第12回	実習⑥ 課題：学外の屋外撮影実習 場所：航空公園など	予習	実習場所を予め把握すること			
		復習	撮影した場所・ポイントを整理する			
第13回	実習⑦ 課題：フォトアルバム制作	予習	制作に使う写真やマスキングテープそろえる			
		復習	足りない写真はプリントしておく			
第14回	実習⑧ 課題：フォトアルバム制作	予習	制作に必要な写真などをそろえておく			
		復習	足りない写真はプリントする			
第15回	講習⑥ 実習のまとめ、フォトアルバムの作品発表	予習	制作に必要な写真などをそろえておく			
		復習	他者の作品を鑑賞し今後の参考にする			
予習に要する学習時間：概ね15分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。						
課題へのフィードバック	撮影後の添削時にコメントを行う					
成績評価	<p>試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 課題・作品・発表（60%）、授業態度（40%）</p>					
教科書	なし					
参考文献	なし					
注意事項	<p>履修期間中は最終課題のフォトアルバムの写真が足らなくなるように撮影実習日は必ず出席し撮影を心がけること。また履修者の撮影したい被写体、季節や天候など考慮し、授業計画内容が一部変更になることもある。学外実習は主に時間の取れる土曜日に行う（3回以上実施予定）。教科書や参考文献等が無い代わりに必要な費用はアルバム・メディア・交通費・入園料等が掛かります。</p>					

科目名	小説創作	単位数	2	実務経験	担当教員 井上 雅彦
ナンバリングコード	CE311	授業形態	演習	有・無	
授業の内容	職業としての小説家を目指し、現代の読者を魅了し感動を与える「エンターテインメント小説」を書くための技量を育成し、そのことを通じて、世界に対峙する自分自身の感性を高め、思考力を深め、独自の表現力を磨く授業とする。同時に、様々なジャンルに渡る現代小説についての知識・教養を身につける授業とする。				
到達目標	1. 小説家に望まれる発想力・構想力・表現力など、小説を創作する力を養うことができる。 2. 多岐のジャンルに渡る現代の小説に関する知識・考え方を理解することができる。 3. さまざまな文学新人賞を勝ち抜くために重要な基礎力を身に付けることができる。				
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（1・2・3・4）				
授業計画	第1回	内容	ガイダンス 作家の仕事、創作力の育て方について説明する	予習	シラバスを読んでおくこと
				復習	授業内容のノートを確認すること
	第2回	内容	現代における小説・物語の様々な様式について説明する、	予習	自己申告シートを記入すること
				復習	授業ノートを確認し、課題を実施すること
	第3回	内容	短い物語の創作演習と、着想の技法について。	予習	指定のテキストを読んでおくこと
				復習	課題を実施すること
	第4回	内容	短い物語の創作演習と、展開の手法について。	予習	指定のテキストを読んでおくこと
				復習	課題を実施すること
	第5回	内容	キャラクターについて。(主人公とはなにか)	予習	好きな小説の主人公について考えておくこと
				復習	授業ノートを確認し、課題を実施すること
	第6回	内容	キャラクターについて。(登場人物を描写する)	予習	好きな小説の主人公について考えておくこと
				復習	授業ノートを確認し、課題を実施すること
	第7回	内容	ストーリーを「構想」する方法について	予習	小説の主人公とストーリーについて考えること
				復習	授業ノートを確認し、課題を実施すること
	第8回	内容	ストーリーを「構築」する方法について	予習	指定のテキストを読むこと
				復習	授業ノートを確認し、課題を実施すること
第9回	内容	ストーリーを「表現」する方法について	予習	指定のテキストを読むこと	
			復習	授業ノートを確認し、課題を実施すること	
第10回	内容	世界観について（舞台・背景・文化）	予習	好きな小説の世界観について考えておくこと	
			復習	授業ノートを確認し、課題を実施すること	
第11回	内容	世界観について（異世界・非日常）	予習	指定のテキストを読むこと	
			復習	授業ノートを確認し、課題を実施すること	
第12回	内容	ライトノベルの現状について	予習	指定のテキストを読むこと	
			復習	予授業ノートを確認し、課題を実施すること	
第13回	内容	ジャンルの特質を深く識るため、知識と考え方を説明をする	予習	指定のテキストを読むこと	
			復習	授業ノートを確認し、課題を実施すること	
第14回	内容	さらなる物語の魅力を追求めるための知識と方法を説明する	予習	指定のテキストを読むこと	
			復習	授業ノートを確認し、課題を実施すること	
第15回	内容	新人賞に臨むための留意点を説明する	予習	これまでの課題・創作物を確認すること	
			復習	授業内容のノートを確認すること	
予習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。					
課題へのフィードバック	課題、実作に関してコメントを行う				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（ 40%）、作品・発表（40%）、実技（ ）、授業態度（ 20%）				
教科書	独自の教材を提供する				
参考文献	適宜、指定する				
注意事項	教員が指定したテーマにしたがって、実作の執筆、日常的な各種創作ノートの執筆を促す。				

科目名	ルポルタージュ入門	単位数	2	実務経験	担当教員	ひだ あつこ 樋田 敦子
ナンバリングコード	CE421	授業形態	演習	有・無		
授業の内容	友人、知人、好きな人、気になる人に関する人物ルポルタージュを完成する。 人物に関して調べ、取材し、それをフィードバックして、文章に落とし込む作業を目標に、自らの思考力、判断力、表現力を向上させることを指導していく。 特に、そこに社会的な課題を見つげられるかどうか、大きな課題だ。書くことを楽しんでほしい。					
到達目標	1. 課題に対して思考力を深める。なぜ、その人物を選んだか、などの考察。 2. ファクトチェックも含めて、徹底的な取材、調査による事実とは何かを見極める・ 3. 執筆作業を通じて文章表現力を高める。 4. 取材、執筆を通じてコミュニケーション力、判断力を身につけられるようにする。					
学位授与方針	幼児教育学科(1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科(1・2・3・4・5) 文化表現学科(1・②・③・④)					
授業計画	第1回	内容	ガイダンス。自著「東大を出たあの子は幸せになったのか」を例に、取材、執筆をするに至った理由を説明する。	予習	シラバスを読んでおく	
				復習	授業内容を理解する	
	第2回	内容	ガイダンス。人物を誰に設定するかの考察。	予習	人物ルポルタージュに目を通す	
				復習	授業内容を理解する	
	第3回	内容	取材することへの一般的な注意。何を聞き出すのか。どう取材するのか。	予習	取材するにはどうするのかを考察	
				復習	注意点を要約する	
	第4回	内容	編集会議。誰を取り上げるのか。	予習	取り上げたい人物を考える	
				復習	授業内容を理解する	
	第5回	内容	取材ノートを作成する。その書き方。	予習	メモを取る練習	
				復習	授業内容を理解する	
	第6回	内容	取材①	予習	これまでのふり返し	
				復習	課題を書き出す	
	第7回	内容	取材②	予習	これまでのふり返し	
				復習	課題を書き出す	
	第8回	内容	ルポの書き方。どのように書いていくのか。	予習	ルポを読む	
				復習	課題をまとめる	
第9回	内容	足りないところの見直し。追加取材。	予習	これまでのふり返し		
			復習	追加取材で足りなかったところを書く		
第10回	内容	追加取材、執筆へのアプローチ。	予習	取材ノートを読み直し		
			復習	課題をまとめる		
第11回	内容	執筆。	予習	取材ノートを読み直す		
			復習	執筆への課題を見つける		
第12回	内容	執筆。	予習	取材ノートを読み直す		
			復習	文章の見直し		
第13回	内容	編集して1本の作品に仕上げる。	予習	文章の見直し		
			復習	文章の見直し		
第14回	内容	作品の最終的な見直し。	予習	文章の見直し		
			復習	文章の見直し		
第15回	内容	出来上がった作品を発表・講評。	予習	文章の見直し、発表へのアプローチ		
			復習	授業のまとめ		
予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね45分を目安とする。						
課題へのフィードバック	課題を達成するまで粘り強く指導します。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施()する/ (○)しない 成績評価の方法：筆記試験()%、レポート・課題(60%)、作品・発表(20%)、実技()%、授業態度(20%)					
教科書	特になし。その都度プリントを配布する。					
参考文献	「調べる技術、書く技術」(野村進著、講談社現代新書)					
注意事項	取材をするために、正しい敬語や適切な身だしなみに留意してほしい。					

科目名	編集と出版	単位数	2	実務経験	担当教員	ひだ あつこ 樋田 敦子
ナンバリングコード	CE221	授業形態	演習	有・無		
授業の内容	<p>実際に使用する機会の多い、WORD、POWERPOINT を使って、最終的に1冊の小冊子を仕上げる。立案、取材、執筆、編集、の過程を経て、製本までを行う。</p> <p>1冊を作るには、企画力、取材対象とのコミュニケーション力、そして文章力が必要になるので、細かい説明をしながら、就職にも対応できる文章力を身につける。</p>					
到達目標	<p>1. パソコンの作業に慣れ、社内報や広報誌を作れるスキルを磨く。</p> <p>2. 企画書を書くための発想ができるようにする。</p> <p>3. 取材のコツをつかんで、コミュニケーション力を上げる。</p> <p>4. 文章の基本を学び、目的に合った文章の書き分けを目指す。</p>					
学位授与方針	幼児教育学科 (1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科 (1・2・3・4・5) 文化表現学科 (1・②③④)					
授業計画	第1回	内容	ガイダンスで編集とは何か。出版業界の現状をレクチャー。	予習	シラバスを読んでおく	
				復習	習得すべき内容を把握する	
	第2回	内容	言葉の使い方、文章要約の仕方の課題を解いてみる。	予習	身近な文章を要約してみる	
				復習	課題を見直す	
	第3回	内容	読者から支持される文章とはどういうものか、の考察。	予習	自分の好きな文章を探す	
				復習	課題を見直す	
	第4回	内容	冊子作成までの流れを説明する。	予習	Wordに慣れておく	
				復習	授業の流れのおさえあい	
	第5回	内容	編集会議。どんな冊子を作りたいかを立案。取材先、インタビュアーを決める。	予習	作りたい冊子をイメージする	
				復習	授業内容のふり返し	
	第6回	内容	実際に取材してみる。	予習	取材にあたっての態度を確認	
				復習	取材でうまくいかなかった点を考察	
	第7回	内容	実際の取材と、取材のテープ起こしへの道。	予習	取材の課題を決める	
				復習	短いテープ起こしを試してみる	
	第8回	内容	編集会議。取材に基づく冊子の企画を考える。	予習	これまでのふり返し	
				復習	要点を書きだす	
第9回	内容	補足取材の時間。何が足りないのか。	予習	これまでのふり返し		
			復習	要点を書きだす		
第10回	内容	編集作業。まずはWordで文章作成。	予習	WORDの使い方の本を読む		
			復習	整理する		
第11回	内容	編集作業。記事の作成。	予習	Word作業のやり方を確認		
			復習	整理する		
第12回	内容	編集作業。記事の作成。	予習	これまでのふり返し		
			復習	整理する		
第13回	内容	編集作業。誌面のレイアウト。ラフを作る。	予習	これまでのふり返し		
			復習	整理する		
第14回	内容	編集作業。いよいよ製本へ。	予習	作成した文章の点検		
			復習	課題を見直す		
第15回	内容	小冊子の講評。まとめ。	予習	発表作品の見直し		
			復習	自分の作品を発展させる		
予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。復習に要する学習時間：概ね45分を目安とする。						
課題へのフィードバック	課題が完成するまで指導していく。					
成績評価	<p>試験期間における定期試験：実施 () する / (○) しない</p> <p>成績評価の方法：筆記試験 (%)、レポート・課題 (40 %)、作品・発表 (30 %)、実技 (%)、授業態度 (30 %)</p>					
教科書	特になし。都度プリント配布。					
参考文献	「編集ハンドブック					
注意事項	関係者取材に際し、正しい敬語、身だしなみに気を付ける。読書をしてほしい。					

科目名	校正・校閲演習 I	単位数	2	実務経験	担当教員	のなか ひろふみ 野中 博史
ナバリングコード	CE222	授業形態	演習	有・無		
授業の内容	編集作業で不可欠の校閲ができるようになることを目的として、各種の校閲の取り決め記号について修得し、実際の記事や小説等を使って校閲作業を行う授業とする。					
到達目標	1. 校閲記号やマークを覚え、使用することができる。 2. 実際の記事や小説の校閲ができる。 3. 漢字検定準 2 級程度の漢字や常識的なことわざ等を修得できる。					
学位授与方針	幼児教育学科 (1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科 (1・2・3・4・5) 文化表現学科 (1・2・③・4)					
授業計画	第 1 回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおくこと	
				復習	授業内容について理解すること	
	第 2 回	内容	難解漢字や漢字検定準 2 級程度の漢字の練習及び校閲記号の説明と校閲作業の実践。	予習	予め渡す資料について読んでおくこと	
				復習	学習した内容を覚えるまで復習すること	
	第 3 回	内容	難解漢字や漢字検定準 2 級程度の漢字の練習及び校閲記号の説明と校閲作業の実践。	予習	予め渡す資料について読んでおくこと	
				復習	学習した内容を覚えるまで復習すること	
	第 4 回	内容	難解漢字や漢字検定準 2 級程度の漢字の練習及び校閲記号の説明と校閲作業の実践。	予習	予め渡す資料について読んでおくこと	
				復習	学習した内容を覚えるまで復習すること	
	第 5 回	内容	難解漢字や漢字検定準 2 級程度の漢字の練習及び校閲記号の説明と校閲作業の実践。	予習	予め渡す資料について読んでおくこと	
				復習	学習した内容を覚えるまで復習すること	
	第 6 回	内容	難解漢字や漢字検定準 2 級程度の漢字の練習及び校閲記号の説明と校閲作業の実践。	予習	予め渡す資料について読んでおくこと	
				復習	学習した内容を覚えるまで復習すること	
	第 7 回	内容	難解漢字や漢字検定準 2 級程度の漢字の練習及び校閲記号の説明と校閲作業の実践。	予習	予め渡す資料について読んでおくこと	
				復習	学習した内容を覚えるまで復習すること	
	第 8 回	内容	1 回目から 7 回までのまとめと (中間テスト及び復習)	予習	予め渡す資料について読んでおくこと	
				復習	学習した内容を覚えるまで復習すること	
第 9 回	内容	難解漢字や漢字検定準 2 級程度の漢字の練習及びことわざ・故事の練習と校閲記号の説明と校閲作業の実践。	予習	予め渡す資料について読んでおくこと		
			復習	学習した内容を覚えるまで復習すること		
第 10 回	内容	難解漢字や漢字検定準 2 級程度の漢字の練習及びことわざ・故事の練習と校閲記号の説明と校閲作業の実践	予習	予め渡す資料について読んでおくこと		
			復習	学習した内容を覚えるまで復習すること		
第 11 回	内容	難解漢字や漢字検定準 2 級程度の漢字の練習及びことわざ・故事の練習と校閲記号の説明と校閲作業の実践	予習	予め渡す資料について読んでおくこと		
			復習	学習した内容を覚えるまで復習すること		
第 12 回	内容	難解漢字や漢字検定準 2 級程度の漢字の練習及びことわざ・故事の練習と校閲記号の説明と校閲作業の実践	予習	予め渡す資料について読んでおくこと		
			復習	学習した内容を覚えるまで復習すること		
第 13 回	内容	難解漢字や漢字検定準 2 級程度の漢字の練習及びことわざ・故事の練習と校閲記号の説明と校閲作業の実践	予習	予め渡す資料について読んでおくこと		
			復習	学習した内容を覚えるまで復習すること		
第 14 回	内容	難解漢字や漢字検定準 2 級程度の漢字の練習及びことわざ・故事の練習と校閲記号の説明と校閲作業の実践	予習	予め渡す資料について読んでおくこと		
			復習	学習した内容を覚えるまで復習すること		
第 15 回	内容	難解漢字や漢字検定準 2 級程度の漢字の練習及びことわざ・故事の練習と校閲記号の説明と校閲作業の実践	予習	予め渡す資料について読んでおくこと		
			復習	学習した内容を覚えるまで復習すること		
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	適宜、達成度を確認します。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する / (○) しない 成績評価の方法：筆記試験 (70%)、レポート・課題 ()%、作品・発表 ()%、実技 ()%、授業態度 (30%)					
教科書	『書名』(著者名、出版社名) 特に指定しません。					
参考文献	『書名』(著者名、出版社名) 『校正記号の使い方』(日本エディタースクール) 及び漢字検定準 2 級以上の市販の教材、					
注意事項	漢字検定準 2 級以上に挑戦する気持ちで学んでください。					

科目名	校正・校閲演習Ⅱ	単位数	2	実務経験	担当教員	のなか ひろふみ 野中 博史
ナンバリングコード	CE322	授業形態	演習	有・無		
授業の内容	編集作業で不可欠の校閲ができるようになることを目的として、各種の校閲の取り決め記号について修得し、実際の記事や小説等を使って校閲作業を行うとともに、校閲作業の基盤となる漢字や故事・ことわざ、歴史、地理など一般教養について学習する授業とする。					
到達目標	1. 幅広い教養を駆使できる。 2. 実際の記事や長文小説等の校閲ができる。 3. 就職試験などで出題される一般教養に関する知識や難解な故事・ことわざ等を駆使できる。					
学位授与方針	幼児教育学科 (1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科 (1・2・3・4・5) 文化表現学科 (1・2・ 3 ・4)					
授業計画	第1回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおくこと	
				復習	シラバスを理解すること	
	第2回	内容	一般教養問題とその校正 (漢字・ことわざ・故事・四字熟語)	予習	課題資料を読んでおくこと	
				復習	麦秋内容をマスターすること	
	第3回	内容	一般教養問題とその校正 (漢字・ことわざ・故事・四字熟語)	予習	課題資料を読んでおくこと	
				復習	麦秋内容をマスターすること	
	第4回	内容	一般教養問題とその校正 (漢字・ことわざ・故事・四字熟語)	予習	課題資料を読んでおくこと	
				復習	麦秋内容をマスターすること	
	第5回	内容	一般教養問題とその校正 (社会・歴史)	予習	課題資料を読んでおくこと	
				復習	麦秋内容をマスターすること	
	第6回	内容	一般教養問題とその校正 (社会・歴史)	予習	課題資料を読んでおくこと	
				復習	麦秋内容をマスターすること	
	第7回	内容	一般教養問題とその校正 (社会・歴史)	予習	課題資料を読んでおくこと	
				復習	麦秋内容をマスターすること	
	第8回	内容	一般教養問題とその校正 (社会・地理)	予習	課題資料を読んでおくこと	
				復習	麦秋内容をマスターすること	
第9回	内容	一般教養問題とその校正 (社会・地理)	予習	課題資料を読んでおくこと		
			復習	麦秋内容をマスターすること		
第10回	内容	一般教養問題とその校正 (社会・地理)	予習	課題資料を読んでおくこと		
			復習	麦秋内容をマスターすること		
第11回	内容	一般教養問題とその校正 (理科)	予習	課題資料を読んでおくこと		
			復習	麦秋内容をマスターすること		
第12回	内容	一般教養問題とその校正 (理科)	予習	課題資料を読んでおくこと		
			復習	麦秋内容をマスターすること		
第13回	内容	一般教養問題とその校正 (理科)	予習	課題資料を読んでおくこと		
			復習	麦秋内容をマスターすること		
第14回	内容	一般教養問題とその校正 (総合)	予習	課題資料を読んでおくこと		
			復習	麦秋内容をマスターすること		
第15回	内容	一般教養問題とその校正 (総合)	予習	課題資料を読んでおくこと		
			復習	麦秋内容をマスターすること		
予習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。						
課題へのフィードバック	適宜、確認の時間をとります。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する / <input checked="" type="radio"/> しない 成績評価の方法：筆記試験 (70%)、レポート・課題 () %、作品・発表 () %、実技 () %、授業態度 (30%)					
教科書	『書名』(著者名、出版社名) 特にありません。					
参考文献	『書名』(著者名、出版社名) 随時資料を渡します。					
注意事項	校閲検定に挑戦する気持ちで幅広い教養を学習してください。					

科目名	情報処理概論	単位数	2	実務経験	担当教員	えもと まさし 江本 全志
ナンバリングコード	DR101	授業形態	講義	有・無		
授業の内容	IT パスポートとは、企業の業務で必要とされる基本的な IT 知識を習得していることが証明できる国家資格である。IT 技術の知識だけでなく、経営全般や IT 管理の知識も問われます。この資格取得を新卒採用活動や社員研修で課している企業が数多くあります。本授業は、IT パスポートの資格取得を目標に、IT を正しく理解し、IT を利活用できる力を身につけることを目指します。					
到達目標	1. コンピュータ用語や IT 技術（テクノロジー）について説明できる。 2. 経営全般（ストラテジ）について説明できる。 3. IT 管理（マネジメント）について説明できる。					
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（1・2・③・4）					
授業計画	第1回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読み、IT パスポートについて調べる	
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する	
	第2回	内容	ストラテジ系 企業と法務	予習	企業と法務の用語について調べる	
				復習	企業と法務の演習問題を復習する	
	第3回	内容	ストラテジ系 経営戦略	予習	経営戦略の用語について調べる	
				復習	経営戦略の演習問題を復習する	
	第4回	内容	ストラテジ系 システム戦略	予習	システム戦略の用語について調べる	
				復習	システム戦略の演習問題を復習する	
	第5回	内容	ストラテジ系（経営全般）の小テスト	予習	ストラテジ系の全範囲の内容を整理しておく	
				復習	ストラテジ系の小テストを復習する	
	第6回	内容	マネジメント系 開発技術	予習	開発技術の用語について調べる	
				復習	開発技術の演習問題を復習する	
	第7回	内容	マネジメント系 プロジェクトマネジメント	予習	プロジェクトマネジメントの用語について調べる	
				復習	プロジェクトマネジメントの演習問題を復習する	
	第8回	内容	マネジメント系 サービスマネジメント	予習	サービスマネジメントの用語について調べる	
				復習	サービスマネジメントの演習問題を復習する	
第9回	内容	マネジメント系（IT 管理）の小テスト	予習	マネジメント系全範囲の内容を整理しておく		
			復習	マネジメント系の小テストを復習する		
第10回	内容	テクノロジー系 基礎理論	予習	基礎理論の用語について調べる		
			復習	基礎理論の演習問題を復習する		
第11回	内容	テクノロジー系 コンピュータシステム	予習	コンピュータシステムの用語について調べる		
			復習	コンピュータシステムの演習問題を復習する		
第12回	内容	テクノロジー系 技術要素①	予習	技術要素①の用語について調べる		
			復習	技術要素①の演習問題を復習する		
第13回	内容	テクノロジー系 技術要素②	予習	技術要素②の用語について調べる		
			復習	技術要素②の演習問題を復習する		
第14回	内容	テクノロジー系（IT 技術）の小テスト	予習	テクノロジー系全範囲の内容を整理しておく		
			復習	テクノロジー系小テストを復習する		
第15回	内容	まとめ	予習	IT パスポートの試験について調べる		
			復習	これまで行なった内容を復習する		
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	単元ごとの小テストの採点結果を返す。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 小テスト（50%）、授業態度（50%）					
教科書	プリントまたは PDF 形式のファイルを配布します。					
参考文献	なし					
注意事項						

科目名	WebデザインI		単位数	2	実務経験	担当教員 よしの あけみ 吉野 明美
ナンバリングコード	DR111	授業形態	演習	有・無		
授業の内容	ビジネスのみならず個人においても、プロモーションやマーケティングなど、Webを活用した情報発信が増えている。この講義では、Web ページを制作するための基礎である HTML (ページ構造) と CSS (スタイルデザインの定義) を学習する。サイトの構成や構造を理解して、Web デザインに関する基礎知識と技術を身につける。					
到達目標	1. HTML を理解して、Web ページを作成できる 2. CSS を理解して、Web ページにデザインを施すことができる 3. HTML と CSS を駆使して、思い描くレイアウト構成を作成できる					
学位授与方針	幼児教育学科 (1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科 (1・2・3・4・5) 文化表現学科 (1・②・③・4)					
授業計画	第1回	内容	Web デザインの基礎知識	予習	シラバスを読んでおく	
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する	
	第2回	内容	Web ページ制作の流れ	予習	Web ページとは何か調べる	
				復習	Web ページ制作の手順をまとめる	
	第3回	内容	HTML① 基本タグ・改行・見出し・段落	予習	HTML について調べる	
				復習	教科書を読み、基本タグについて整理する	
	第4回	内容	HTML② 画像	予習	保存先、参照先について考える	
				復習	ファイル参照を理解する	
	第5回	内容	HTML③ 表・リスト	予習	リストとは何か調べる	
				復習	table タグを整理しておく	
	第6回	内容	HTML④ リンク・ページの連携	予習	リンクに関するタグの種類と違いを調べる	
				復習	課題 HTML 部分を完成させる	
	第7回	内容	CSS① HTML とのリンク	予習	HTML と CSS の関連性を調べる	
				復習	HTML と CSS 作成手順を整理する	
	第8回	内容	CSS② 色の指定・背景	予習	CSS 記述方法を確認しておく	
				復習	CSS 記述方法を理解する	
第9回	内容	CSS③ サイズ・枠線・余白	予習	padding タグと margin タグの違いを調べる		
			復習	padding タグと margin タグを理解する		
第10回	内容	CSS④ HTML のグループ化・配置	予習	div タグについて調べる		
			復習	id と class の違いを理解する		
第11回	内容	CSS⑤ 表の詳細設定・リストの活用	予習	表とリストに関するタグを見直しておく		
			復習	課題 CSS 部分を完成させる		
第12回	内容	ページレイアウト	予習	id と class の必要性を考える		
			復習	ページレイアウトの仕方を整理する		
第13回	内容	インラインフレーム	予習	インラインフレームについて調べる		
			復習	インラインフレームについてまとめる		
第14回	内容	フォームの作成	予習	フォームについて調べる		
			復習	課題全ページを完成させる		
第15回	内容	これまでのまとめ	予習	HTML と CSS についてまとめる		
			復習	HTML と CSS を理解する		
予習に要する学習時間：概ね10分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね40分を目安とする。						
課題へのフィードバック	課題の到達基準については、授業の中で具体的に内容を示す。 定期試験は、終了後模範解答を配布する。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施 (○) する / () しない 成績評価の方法： 課題 (20%)、実技試験 (60%)、授業態度 (20%)					
教科書	『HTML5 & CSS3 ワークブック ステップ 30 (情報演習 14)』(相澤裕介、カットシステム)					
参考文献	『作りながら学ぶ HTML/CSS デザインの教科書』(高橋 朋代、SBクリエイティブ)					
注意事項	「ウェブデザイン実務士」取得予定者は、必ず履修すること。					

科目名	WebデザインⅡ		単位数	2	実務経験	担当教員 よしの あけみ 吉野 明美
ナンバリングコード	DR211	授業形態	演習	有・無		
授業の内容	WebデザインⅠで学んだHTML・CSSの知識をもとに、Web制作ソフトを使用して実務レベルで活用できるWebデザインを身につける。 Webサイトの制作・編集作業効率を上げ、保管・リニューアル（更新や修正）についても、理解を深めていく。					
到達目標	1. Web制作ソフトを使い、サイト作成・編集ができる 2. サイトデザインをビジュアル確認しながら、コード編集ができる 3. サイト構成を理解している					
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（1・②・③・4）					
授業計画	第1回	内容	サイトの定義	予習	シラバスを読んでおく	
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する	
	第2回	内容	Webページの作成	予習	Web制作ソフトについて調べる	
				復習	Web制作ソフトの操作に慣れる	
	第3回	内容	タグの編集	予習	HTML記述を整理しておく	
				復習	制作手順を確認しておく	
	第4回	内容	表・画像の追加	予習	タグ（表・画像）を確認しておく	
				復習	背景画像の扱い方を理解する	
	第5回	内容	リンクの設定	予習	タグ（リンク）を確認しておく	
				復習	リンクの4状態を理解する	
	第6回	内容	情報のグループ化	予習	idとclassの違いを確認しておく	
				復習	コメントの必要性を考える	
	第7回	内容	CSSでレイアウト	予習	CSS記述を整理しておく	
				復習	インラインレベル・ブロックレベルをまとめる	
	第8回	内容	ボックスを使ったレイアウト	予習	marginとpaddingの違いを確認しておく	
				復習	ボックスのサイズ設定を理解する	
第9回	内容	ロールオーバー	予習	ロールオーバーの必要性を考える		
			復習	ロールオーバーのデザインを検索する		
第10回	内容	ファイルの複製	予習	サイトのファイル構成について考える		
			復習	課題（各ページ）を完成させる		
第11回	内容	フォームの作成	予習	入力しやすいフォームを考える		
			復習	タグ（フォーム）を確認する		
第12回	内容	ファイル管理	予習	ネットワークサーバについて調べる		
			復習	ネットへのアップ方法を確認する		
第13回	内容	作品制作① ページ作成：レイアウトとコンテンツ	予習	Web素材の著作権について調べる		
			復習	画像検索サイトを使う		
第14回	内容	作品制作② ページ作成：デザイン	予習	Webカラーについて調べる		
			復習	課題（全ページ）を完成させる		
第15回	内容	作品制作③ 動作・表示確認と修正	予習	課題（全ページ）を完成させる		
			復習	ブラウザごとの表示の違いを確認する		
予習に要する学習時間：概ね15分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。						
課題へのフィードバック	課題の到達基準については、授業の中で具体的に内容を示す 定期試験は、終了後模範解答を配布する。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法： 課題（40%）、実技試験（40%）、授業態度（20%）					
教科書	授業内にて指定する					
参考文献	なし					
注意事項	1. 「WebデザインⅠ」の履修を終えていることが必要 2. 「ウェブデザイン実務士」取得予定者は、必ず履修すること					

科目名	Webデザイン演習		単位数	2	実務経験	担当教員 よしの あけみ 吉野 明美
ナンバリングコード	DR411	授業形態	演習	有・無		
授業の内容	Web 関連科目の総括として、各自テーマを決めて、サイト制作を行う。 ターゲット、コンセプト、目的を明確にして、自らの思い描く Web サイトを完成させる。制作の一連の流れ（企画、設計、制作、運営）を通して、表現力と技術力を高めていく。					
到達目標	1. 情報の収集、分析を行うことができる 2. 適切な表現で情報を発信できる 3. 利用する人の視点からデザインを考案できる 4. 作品を公開、運用できる					
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（1・②・③・4）					
授業計画	第1回	内容	Web サイト制作とプランニング	予習	シラバスを読んでおく	
				復習	企画案を作成する	
	第2回	内容	企画の立案と情報収集	予習	情報収集を行う	
				復習	企画案を完成させる	
	第3回	内容	企画書の作成	予習	企画案を完成させる	
				復習	企画書を仕上げる	
	第4回	内容	グラフィックソフトでデザイン	予習	グラフィックソフトの使い方を調べる	
				復習	画像編集する	
	第5回	内容	ページデザイン修正	予習	画像編集する	
				復習	ページデザインを修正する	
	第6回	内容	Web 用画像素材への変換	予習	画像ファイル形式を調べて、整理しておく	
				復習	画像修正、編集を行う	
	第7回	内容	ディレクトリの配置	予習	サイト構成を考える	
				復習	サイト構成を見直す	
	第8回	内容	コーディング（HTML） トップページの内容をマークアップ	予習	トップページのコンテンツを準備する	
				復習	トップページの HTML を完成させる	
第9回	内容	コーディング（CSS） トップページのレイアウトを整える	予習	トップページの HTML を完成させる		
			復習	トップページの CSS を完成させる		
第10回	内容	トップページのデザイン修正	予習	トップページのレイアウトを完成させる		
			復習	トップページの修正をする		
第11回	内容	コーディング（HTML） 下層ページの内容をマークアップ	予習	ヘッダーフッターの活用を考える		
			復習	下層ページの HTML を完成させる		
第12回	内容	コーディング（CSS） 下層ページのレイアウトを整える	予習	下層ページの HTML を完成させる		
			復習	下層ページの CSS を完成させる		
第13回	内容	リンク設定とレイアウトの見直し	予習	リンクの動きを確認する		
			復習	レイアウトの見直しをする		
第14回	内容	文章の校正とデザイン修正	予習	文章の見直しをする		
			復習	デザインの修正を行う		
第15回	内容	サイトの公開と動作・表示確認	予習	各ブラウザでの表示を確認する		
			復習	ネット上での動作確認をする		
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 40 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	作品制作についてのコメント、アドバイス、評価は、個別対応する インターネット上で、既履修者及び履修者全員の作品公開を行う					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法： 課題（10%）、作品（70%）、授業態度（20%）					
教科書	なし					
参考文献	なし					
注意事項	1. 「Web デザインⅡ」または「Web サイト管理演習」の履修を終えていることが必要 2. 「ウェブデザイン実務士」を取得予定学生は、必ず履修すること 3. 作品制作には、授業時間外にも積極的に取り組んでほしい					

科目名	Webサイト管理演習		単位数	2	実務経験	担当教員 よしの あけみ 吉野 明美
ナンバリングコード	DR311	授業形態	演習	有・無		
授業の内容	Webサイトの管理や運営について、理解を深める。 Webサイトの使い勝手のよさをWebユーザビリティという。利用者（ユーザ）がどれだけ快適に操作できるかという視点に立ち、色彩の基本や見やすさといったデザイン性や操作性、セキュリティなどを捉えながら、情報発信と管理の重要性を学ぶ。					
到達目標	1. Webサイトの運営や管理の知識を身につけている 2. Webサイトの効果的デザイン・レイアウトを理解できる 3. ユーザビリティの視点から、Webサイトのデザインを提案できる					
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（1・2・3・4）					
授業計画	第1回	内容	Webサイトの基礎知識	予習	シラバスを読んでおく	
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する	
	第2回	内容	デザインの基礎 画像・色彩・フォント	予習	Webユーザビリティについて調べる	
				復習	Webユーザビリティの事例をまとめる	
	第3回	内容	制作ツール① Web制作ソフト	予習	Web作成ソフトを調べる	
				復習	Web作成ソフトを使ってみる	
	第4回	内容	文章デザイン・ブロック配置とレイアウト	予習	見出しの重要性とデザインを調べる	
				復習	行間・文字間の重要性を考える	
	第5回	内容	制作ツール② グラフィックソフト	予習	グラフィックソフトを調べる	
				復習	グラフィックソフトを使ってみる	
	第6回	内容	カーニング・ボタン作成・写真の加工	予習	ボタンデザインを考える	
				復習	ボタンを作成する	
	第7回	内容	プランニング① ユーザの想定とデザインの方向性	予習	ユーザを想定してデザインの方向性を考える	
				復習	ユーザを想定してデザインの方向性を決める	
	第8回	内容	プランニング② サイトマップと色彩設計	予習	Webカラーについて調べる	
				復習	サイトマップを作成する	
第9回	内容	プランニング③ ナビゲーション・ページサイズ	予習	パンくずリストについて調べる、		
			復習	ナビゲーションの種類と役割をまとめる		
第10回	内容	CSSでレイアウト① インラインレベルとブロックレベル	予習	CSSを使った見出しのデザインを考える		
			復習	インラインレベルとブロックレベルを理解する		
第11回	内容	CSSでレイアウト② ボックス・ボーダー・フロート	予習	CSSを使ったボーダーデザインを考える		
			復習	ボックスのサイズ計算を理解する		
第12回	内容	CSSでレイアウト③ 背景画像・リンク	予習	CSSを使ったボタンのデザインを考える		
			復習	作成課題のリンク動作を確認する		
第13回	内容	jQueryと動的サイト	予習	jQueryについて調べる		
			復習	動的サイトの効果をまとめる		
第14回	内容	SEO対策	予習	SEOとは何か調べる		
			復習	SEO対策についてまとめる		
第15回	内容	まとめ	予習	課題を完成させる		
			復習	課題の動作確認をする		
予習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。						
課題へのフィードバック	課題や作品制作について、コメント、アドバイスを個別対応する					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法： 課題（20%）、作品（60%）、授業態度（20%）					
教科書	なし					
参考文献	なし					
注意事項	1. 「WebデザインI」を履修済みで、HTMLを理解していることが必要 2. 課題や作品制作は、授業時間外にも積極的に取り組んでほしい					

科目名	Webプログラミング		単位数	2	実務経験	担当教員 なかしま しゅんじ 中島 俊治
ナンバリングコード	DR312		授業形態	講義	有・無	
授業の内容	本講義では、Webプログラミングの基礎としての「JavaScript」を学ぶ。 「JavaScript」は、計算は勿論、Web ページのコンテンツやスタイルをコントロールが可能である。それらの概要や技術的仕様に触れることを通じて、Web プログラミングの概要の説明やアプリケーション制作ができるようになる。					
到達目標	1. 「Web プログラミング」の概要を理解し、説明できる。 2. 「JavaScript」の基本的な仕組みを理解し、説明できる。 3. 「Web アプリケーション」を自ら制作できる。					
学位授与方針	幼児教育学科 (1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科 (1・2・3・4・5) 文化表現学科 (1・2・③・4)					
授業計画	第1回	内容	Web プログラミングの基礎知識	予習	シラバスを読んでおく	
				復習	本科目の目的を再確認する	
	第2回	内容	HTML によるマークアップの方法	予習	作りたいプログラムをひとつ考える	
				復習	HTML の記述方法をまとめておく	
	第3回	内容	CSS によるスタイリングの方法	予習	テキストの当該範囲を予め目を通しておく	
				復習	CSS の記述方法をまとめておく	
	第4回	内容	JavaScript とは	予習	テキスト当該範囲のコードに目を通しておく	
				復習	JavaScript の記述方法をまとめておく	
	第5回	内容	ページに出力する方法	予習	第1回～第4回までを読み直しておく	
				復習	出力方法をまとめておく	
	第6回	内容	データを入力する	予習	身近なデータ保存を考える	
				復習	入力方法をまとめておく	
	第7回	内容	計算機アプリを作る	予習	どんな計算機アプリを作れるかを考える	
				復習	計算機アプリをオリジナル化する	
	第8回	内容	時計アプリを作る	予習	どんな時計アプリを作れるかを考える	
				復習	時計アプリをオリジナル化する	
第9回	内容	占いアプリを作る	予習	どんな占いアプリを作れるかを考える		
			復習	占いアプリをオリジナル化する		
第10回	内容	じゃんけんアプリを作る	予習	どんなじゃんけんアプリを作れるかを考える		
			復習	じゃんけんアプリをオリジナル化する		
第11回	内容	効果音・映像を取り込む	予習	アプリ内の効果音・映像の効果を考える		
			復習	じゃんけんアプリに効果音を追加する		
第12回	内容	データを保存する	予習	データの保存の効果を考える		
			復習	じゃんけんアプリにデータ保存機能を追加		
第13回	内容	マウス・タッチの座標の取得	予習	マウス入力の実用性について考える		
			復習	マウスを使ったアプリをオリジナル化する		
第14回	内容	図形描画する	予習	図形描画アプリの効率について考える		
			復習	描画を用いた時計アプリを作る		
第15回	内容	Web プログラミングのまとめ	予習	自分はどんなアプリを作れるかを考える		
			復習	オリジナルのアプリを実際に作ってみる		
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。						
課題へのフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> 作成したプログラムにコメントを行う。 期末試験後に問題の解説を行う。 					
成績評価	試験期間における定期試験：実施 (○) する / () しない 成績評価の方法：筆記試験 (50%)、レポート・課題 () %、作品・発表 () %、実技 () %、授業態度 (50%)					
教科書	なし					
参考文献	なし					
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> PC のキーボードの英字、数字等の入力に支障がないことを前提とする。 「どんなアプリケーションを作ろうか」という思いを巡らせながら授業に臨むこと。 					

科目名	Webアニメーション演習	単位数	2	実務経験	担当教員 なかしま しゅんじ 中島 俊治
ナンバリングコード	DR412	授業形態	演習	有・無	
授業の内容	最近、ホームページ上で画像や図形がアニメーションしているのを見かける。これは「CSS」というスタイリングの技術が、大幅に進化し容易にアニメーションが実現できるようになったためである。本科目ではその「CSS」を中心に様々なアニメーションの方法を学び「Webアニメーション」の表現方法を探求する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 「Webアニメーション」概要について理解し、説明できる。 CSSによるアニメーションの仕組みを理解できる。 自ら簡単なアニメーションを制作し公開することができる。 				
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（1・2・③・4）				
授業計画	第1回	内容	Webアニメーションの基礎知識・様々なアニメーション手法	予習	シラバスを読んでおく
				復習	本科目の目的を再確認する
	第2回	内容	Webを制作するための文法	予習	作りたいアニメーションをひとつ考える
				復習	制作のための文法をまとめておく
	第3回	内容	基本のCSSプロパティ(ボックスモデル)	予習	テキストの当該範囲を予め読んでおく
				復習	基本のCSSのサンプルをオリジナル化する
	第4回	内容	リッチなCSSプロパティ(影・角丸・グラデーション)	予習	ボックスモデルを再確認しておく
				復習	影・角丸をオリジナル化する
	第5回	内容	遷移のCSSプロパティ(トランジション)	予習	第1回～第4回を読み直しておく
				復習	トランジションの方法をまとめておく
	第6回	内容	遷移のCSSプロパティ(制作演習①)	予習	作りたいものをひとつ考えておく
				復習	アニメーションをオリジナル化する
	第7回	内容	変形のCSSプロパティ	予習	身近な変形のアニメーションを探しておく
				復習	変形の方法をまとめておく
	第8回	内容	変形のCSSプロパティ(制作演習②)	予習	作りたい変形をひとつ考えておく
				復習	変形のアニメーションをオリジナル化する
第9回	内容	アニメーションのCSSプロパティ	予習	身近なアニメーションを探しておく	
			復習	アニメーションの方法をまとめておく	
第10回	内容	アニメーションのCSSプロパティ(制作演習③)	予習	作りたいアニメーションを考えておく	
			復習	アニメーションをオリジナル化する	
第11回	内容	三次元のCSSプロパティ	予習	身近な三次元のアニメーションを探しておく	
			復習	三次元の方法をまとめておく	
第12回	内容	三次元のCSSプロパティ(制作演習④)	予習	作りたい三次元アニメーションを考えておく	
			復習	三次元アニメーションをオリジナル化する	
第13回	内容	JavaScriptとの連携	予習	JavaScriptについて再確認しておく	
			復習	JavaScript連携についてまとめておく	
第14回	内容	JavaScriptとの連携(制作演習⑤)	予習	作りたいJavaScript連携を考えておく	
			復習	JavaScript連携をさらにオリジナル化する	
第15回	内容	Webアニメーションのまとめ	予習	自分でどんなものが作れるかを考える	
			復習	オリジナルのアニメーションを実際に作る。	
	予習に要する学習時間：概ね45分を目安とする。復習に要する学習時間：概ね45分を目安とする。				
課題へのフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> 作成した作品に都度コメントを行う。 期末試験後に問題の解説を行う。 				
成績評価	試験期間における定期試験：実施(○)する/()しない 成績評価の方法：筆記試験(50%)、レポート・課題()%、作品・発表()%、実技()%、授業態度(50%)				
教科書	なし				
参考文献	なし				
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> PCのキーボードの英字、数字等の入力に支障がないことを前提とする。 「どんなアニメーションを作ろうか」という思いを巡らせながら授業に臨むこと。 				

科目名	画像処理演習 I		単位数	2	実務経験	担当教員 よしい としまさ 吉井 利眞
ナンバリングコード	DR121	授業形態	演習	有・無		
授業の内容	デジタル画像に関する基礎概念とペイント系ソフトの活用力の習得をめざします。 デジタル画像の基本的特性を理解し、ソフトによる画像処理の目的・対応・処理結果の評価を重ねるとともに、作品の制作を通し、各自の表現力の向上を図ります					
到達目標	1. デジタル画像に関する基礎知識が理解できる。 2. 自己表現力をデジタル画像を使って高めることができる。 3. 作品や課題に対する自己評価ができる。					
学位授与方針	幼児教育学科 (1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科 (1・2・3・4・5) 文化表現学科 (1・②・③・4)					
授業計画	第1回	内容	デジタル画像の特徴と画像フォーマット	予習	画像ファイルの拡張子について調べておく	
				復習	演習ファイルの再確認	
	第2回	内容	画像モードの特性	予習	色の3原色、光の3原色を調べておく	
				復習	演習ファイルの再操作、確認	
	第3回	内容	色調とその補正	予習	演習用 JPG ファイルを準備する	
				復習	サンプルを使い色調補正を試す	
	第4回	内容	画像の修正	予習	演習用 JPG ファイルを準備する	
				復習	サンプルを使い画像の修正を試す	
	第5回	内容	画像の重層化	予習	演習用 JPG ファイルを準備する	
				復習	任意の画像の合成を試す	
	第6回	内容	カラーチャンネル	予習	浮世絵の版木について調べておく	
				復習	サンプルでチャンネル毎の補正の復習	
	第7回	内容	アプリケーションの利用① 描画モード	予習	アプリケーションメニューやパネルを概観	
				復習	演習ファイルで授業内容を復習	
	第8回	内容	アプリケーションの利用② フィルタ処理	予習	アプリケーションメニューやパネルを概観	
				復習	演習ファイルで授業内容を復習	
第9回	内容	アプリケーションの利用③ 表現手法	予習	アプリケーションメニューやパネルを概観		
			復習	演習ファイルで授業内容を復習		
第10回	内容	小作品の制作指導① 企画とラフスケッチ	予習	作品の構想を練っておく		
			復習	指示された修正、変更点を確認		
第11回	内容	小作品の制作指導② 素材の選定と加工	予習	アプリケーション操作の練習		
			復習	指示された修正、変更点を確認		
第12回	内容	小作品の制作指導③ 中間発表と修正	予習	中間発表の準備		
			復習	修正点の確認		
第13回	内容	小作品の制作指導④ 作品の完成作業	予習	遅れている部分を進めておく		
			復習	修正点の確認		
第14回	内容	作品の提出と相互評価	予習	作品の完成準備		
			復習	修正作業を進める		
第15回	内容	作品の修正と提出	予習	再提出の準備作業		
			復習	評価や問題点の確認		
予習に要する学習時間：概ね 15 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	課題や作品についてコメントする					
成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する / (○) しない 成績評価の方法： 筆記試験 (%)、レポート・課題 (50%)、作品・発表 (50%)、実技 (%)、授業態度 (%)					
教科書	なし					
参考文献	なし					
注意事項	空き時間を利用したアプリケーション操作の練習に心がけましょう。					

科目名	画像処理演習Ⅱ		単位数	2	実務経験	担当教員 よしい としまさ 吉井 利眞
ナンバリングコード	DR221	授業形態	演習	有・無		
授業の内容	ドロー系ソフトによって描かれるベクター画像の特徴を学びながら、実際にベジェ曲線を操作し、いろいろな文字や図形の作成、下絵のトレースなどの作業を行っていきます。ドロー系ソフトの利用範囲は非常に広く、演習の中でもこのソフトの特徴を生かした作品作りに挑戦していきます					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. ベジェ曲線の概念を理解し、作成・操作できる。 2. 描画の正確さやデジタル表現の多様性が理解でき、これを実践できる。 3. ベクター画像による自己表現ができる。 4. 自己評価と反省、修正ができる。 					
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（1・②・③・4）					
授業計画	第1回	内容	ラスター画像とベクター画像	予習	WEBでベクター画像の特徴を調べる	
				復習	演習ファイルの再確認	
	第2回	内容	ベジェ曲線の操作① ベジェ曲線の考え方と作図方法	予習	WEBでベジェ曲線の作図について調べる	
				復習	演習ファイルの再操作	
	第3回	内容	ベジェ曲線の操作② アプリケーションを用いた作図	予習	アプリケーションのメニューを確認	
				復習	演習ファイルの再操作	
	第4回	内容	アプリケーション操作① パスの操作	予習	アプリケーションのツールを確認	
				復習	演習ファイルの再操作	
	第5回	内容	アプリケーション操作② オブジェクトの扱い	予習	アプリケーションのツールを確認	
				復習	演習ファイルの再操作	
	第6回	内容	アプリケーション操作③ 描画	予習	パスの特徴を確認しておく	
				復習	演習ファイルの再操作	
	第7回	内容	アプリケーション操作④ 塗りと効果	予習	アプリケーションのパネルを確認	
				復習	演習ファイルの再操作	
	第8回	内容	アプリケーション操作⑤ 各種ツールの利用	予習	アプリケーションのメニューを確認	
				復習	演習ファイルの再操作	
第9回	内容	アプリケーション操作⑥ 文字の扱い	予習	フォントをアウトライン化してみる		
			復習	演習ファイルの再操作		
第10回	内容	小作品の制作指導① 企画とラフスケッチ	予習	作品の構想を練っておく		
			復習	指示された修正、変更点を確認		
第11回	内容	小作品の制作指導② 素材の選定と加工	予習	アプリケーション操作の練習		
			復習	指示された修正、変更点を確認		
第12回	内容	小作品の制作指導③ 中間発表と修正	予習	中間発表の準備		
			復習	修正点の確認		
第13回	内容	小作品の制作指導④ 作品の完成作業	予習	遅れている部分を進めておく		
			復習	修正点の確認		
第14回	内容	作品の提出と相互評価	予習	作品の完成準備		
			復習	修正作業を進める		
第15回	内容	作品の修正と提出	予習	再提出の準備作業		
			復習	評価や問題点の確認		
予習に要する学習時間：概ね15分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。						
課題へのフィードバック	課題と作品へコメントする					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（50%）、作品・発表（50%）、実技（ ）、授業態度（ ）					
教科書	なし					
参考文献	なし					
注意事項	空き時間を利用したアプリケーション操作の練習に心がけましょう。					

科目名	CG演習	単位数	2	実務経験	担当教員	よしい としまさ 吉井 利眞
ナンバリングコード	DR321	授業形態	演習	有・無		
授業の内容	3D・CGソフト（Shade）を利用し、3次元的な構想力と簡単な製図手法の習得をめざす。 3次元空間をパソコンの画面上でどのように把握し、表現することができるのかという基本的な感覚の把握を前提に、身近なもののデザインを行う					
到達目標	1. 空間座標による立体構造の把握ができ、自由にそれらを表現力できる。 2. CG制作にかかわる基本ツールや表現手法を利用できる。 3. CG制作演習を通して、現実の製作物の構造が想像できる。 4. 自己表現と、反省・修正ができる。					
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（1・②・③・4）					
授業計画	第1回	内容	3次元空間の理解と表現	予習	上下、左右、前後から立体を眺めてみる	
				復習	演習ファイルの再確認	
	第2回	内容	製図の基本 作業用座標平面と見取り図	予習	缶コーヒーの見取り図をスケッチしておく	
				復習	演習ファイルの再確認	
	第3回	内容	基本製図作業① 各種ツールの理解	予習	アプリケーションのツールを確認	
				復習	演習ファイルの再操作	
	第4回	内容	基本製図作業② 各種形状の作成と編集	予習	基本図形の作成練習	
				復習	演習ファイルの再操作	
	第5回	内容	基本製図作業③ 掃引体と回転体	予習	アプリケーションのメニュー、ツールを確認	
				復習	演習ファイルの再操作	
	第6回	内容	課題への取り組み① テーブルと椅子の制作	予習	作図平面の再確認、線形状の作成練習	
				復習	操作内容の復習と課題の完成	
	第7回	内容	課題への取り組み② ガラスと液体の製作	予習	回転体作成の練習	
				復習	操作内容の復習と課題の完成	
	第8回	内容	課題への取り組み③ 材質の決定・ブリアンレンダリング練習	予習	WEBでブリアン演算についてチェックする	
				復習	操作内容の復習と課題の完成	
第9回	内容	課題の提出相互評価	予習	課題の提出準備		
			復習	修正作業		
第10回	内容	課題への取り組み④ 製品のデザイン	予習	作品の構想を練っておく		
			復習	指示された修正、変更点を確認		
第11回	内容	課題への取り組み⑤ 図面への描きだし 丸めと回転	予習	WEBで自由曲面について調べておく		
			復習	演習ファイルの再操作		
第12回	内容	課題への取り組み⑥ 図面への描きだし レンダリングと修正	予習	準備ファイルの完成度を上げておく		
			復習	指示された修正、変更点を確認		
第13回	内容	課題への取り組み⑦ 細部の完成指導 テクスチャーの貼付け	予習	準備ファイルの完成度を上げておく		
			復習	指示された修正、変更点を確認		
第14回	内容	作品の提出と相互評価	予習	作品の完成準備		
			復習	修正作業を進める		
第15回	内容	作品の修正と提出	予習	再提出の準備作業		
			復習	評価や問題点の確認		
予習に要する学習時間：概ね15分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。						
課題へのフィードバック	課題へコメントする					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（50%）、作品・発表（50%）、実技（ ）、授業態度（ ）					
教科書	なし					
参考文献	なし					
注意事項	初心者向けの授業内容となりますので、楽しみながら授業を進めたいと思います。					

科目名	CG創作	単位数	2	実務経験	担当教員	よしい としまさ 吉井 利真
ナンバリングコード	DR421	授業形態	演習	有・無		
授業の内容	CG 演習で習得した 3 DCG ソフトの基本操作を前提に、多様な形状をもつ複雑な立体像の制作に取り組みます。各自がテーマを決め、作品を作り上げていきます。最初にサンプルを全員で作成し、要領を覚えた段階で作品の制作に入っていきます。簡単な CG アニメーションの作成を行います。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 3 DCG を用いて、多様な表現ができる。 簡単な工業製品の 3 D 設計ができる。 作品をアニメーションムービーとして描き出すことができる。 自己評価と反省・修正ができる。 					
学位授与方針	幼児教育学科 (1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科 (1・2・3・4・5) 文化表現学科 (1・②・③・4)					
授業計画	第1回	内容	サンプル作製① 簡単なモデルとアニメーション設定	予習	アプリケーションのメニュー、ツールを確認	
				復習	演習ファイルの再操作	
	第2回	内容	サンプル作製② アニメーションレンダリング	予習	アニメーション設定を確認	
				復習	演習ファイルの完成	
	第3回	内容	テーマについて企画、プレゼンテーション	予習	作品の構想を練ってくる	
				復習	修正点の確認	
	第4回	内容	作品作り 車輪の作成①	予習	タイヤの簡単な構造を把握しておく	
				復習	修正作業	
	第5回	内容	作品作り 車輪の作成②	予習	動きを想定しておく	
				復習	完成作業	
	第6回	内容	作品作り 自動車の作成①	予習	自動車の簡単な骨格を把握しておく	
				復習	修正作業	
	第7回	内容	作品作り 自動車の作成②	予習	作業ファイルの準備	
				復習	修正作業	
	第8回	内容	作品作り 自動車の作成③	予習	作業ファイルの準備	
				復習	修正、完成作業	
第9回	内容	作品作り 遊具の作成①	予習	回転する遊具を考えておく		
			復習	修正作業		
第10回	内容	作品作り 遊具の作成②	予習	複合回転する遊具を考えておく		
			復習	修正作業		
第11回	内容	作品作り 遊具の作成③	予習	大型遊具を考えておく		
			復習	修正作業		
第12回	内容	作品作り 遊具の作成④	予習	作業ファイルの準備を進める		
			復習	修正作業		
第13回	内容	ムービーへの描きだし 複数の視点での描きだし	予習	動きのタイムラインを考えておく		
			復習	修正作業		
第14回	内容	プレゼン、相互評価	予習	作品の完成準備		
			復習	修正作業を進める		
第15回	内容	作品の修正と提出	予習	再提出の準備作業		
			復習	評価や問題点の確認		
予習に要する学習時間：概ね 15 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	課題、作品へコメントする					
成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する / (○) しない 成績評価の方法：筆記試験 (%)、レポート・課題 (50%)、作品・発表 (50%)、実技 (%)、授業態度 (%)					
教科書	なし					
参考文献	なし					
注意事項	空き時間を利用して進捗調整に努めましょう。					

科目名	デジタルビデオ編集Ⅰ	単位数	2	実務経験	担当教員 たかはし かずお 高橋 一夫
ナンバリングコード	DR222	授業形態	演習	有・無	
授業の内容	YouTubeの普及などで私たちの映像環境は日々進化し、スマホ撮影は日常的な行為になっている。それは楽しみながら自己表現力と情報発信力を育てる絶好の場にもなりえる。当講座では、お気に入りの写真、動画、音楽を組み合わせ「動画で遊ぶ」事から始めて、人に伝わる表現スキルと撮影・編集の基本テクを学ぶ。				
到達目標	1. 企画／シナリオ作りができる 2. 撮影／カメラ、三脚などの基本操作ができる 3. 編集／パソコン、アプリの基本操作ができる				
学位授与方針	文化表現学科(2・3)				
授業計画	第1回	内容	ビデオ作品制作の全体(企画からM.A、公開まで)／ビデオ編集の役割	予習	作品制作と編集について考える
				復習	制作と編集についてレポートにまとめる
	第2回	内容	ビデオ制作ツールにふれる①デジタルビデオカメラ・撮影の基本	予習	撮影ツールについて考える
				復習	撮影ツールについてレポートにまとめる
	第3回	内容	ビデオ制作ツールにふれる②編集アプリケーション/iMovie, Final Cut Pro	予習	編集アプリについて考える
				復習	編集アプリについてレポートにまとめる
	第4回	内容	企画を作る①どんなビデオ作品を作るか?完成形をイメージする	予習	作品の完成形について考える
				復習	作品の完成形についてレポートにまとめる
	第5回	内容	企画を作る②企画構成案～シナリオ/脚本の書き方 わかりやすいということ	予習	脚本について考える
				復習	脚本についてレポートにまとめる
	第6回	内容	企画プレゼンテーション 人に伝える	予習	企画プレゼンについて考える
				復習	企画プレゼンについてレポートにまとめる
	第7回	内容	撮影準備(カメラ・三脚の基本操作 撮影計画とテスト撮影)	予習	撮影準備について考える
				復習	撮影準備についてレポートにまとめる
	第8回	内容	撮影→取り込み(撮影した素材ファイルをパソコンに取り込む)	予習	素材取り込みについて考える
			復習	素材取り込みについてレポートにまとめる	
第9回	内容	編集の基本①操作 カット・ギャップを閉じる・エフェクトの基本	予習	編集操作について考える	
			復習	編集操作についてレポートにまとめる	
第10回	内容	編集の基本②映像エフェクト ビデオトランジションとビデオフィルタ	予習	トランジションについて考える	
			復習	トランジションについてレポートにまとめる	
第11回	内容	編集の基本③文字と音のエフェクト ビデオジェネレータとオーディオエフェクト	予習	文字と音について考える	
			復習	文字と音についてレポートにまとめる	
第12回	内容	編集作業①基本の復習	予習	編集の基本について考える	
			復習	編集の基本についてレポートにまとめる	
第13回	内容	編集作業②テロップの長さを決める	予習	テロップの長さについて考える	
			復習	テロップの長さについてレポートにまとめる	
第14回	内容	編集作業③仕上げ・完成	予習	仕上げと完成について考える	
			復習	仕上げと完成についてレポートにまとめる	
第15回	内容	まとめ・全体の復習	予習	作品全体について考える	
			復習	作品全体についてレポートにまとめる	
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。					
課題へのフィードバック	作成した作品にコメントを行う				
成績評価	試験期間における定期試験：実施()する／(○)しない 成績評価の方法： レポート・課題(25%)、作品・発表(25%)、実技(25%)、授業態度(25%)				
教科書	なし				
参考文献	『CG&映像しくみ事典』(永田豊志/CGWORLD、ワークスコーポレーション)、 『映画の瞬き—映像編集という仕事』(ウォルター・マーチ/吉田 俊太郎、フィルムアート社)				
注意事項	心や頭の中に浮かぶ形のないイメージを、映像と音を使って人に見てもらえる作品にすることで自己表現のノウハウを学んでほしい。				

科目名	デジタルビデオ編集Ⅱ	単位数	2	実務経験	担当教員 たかはし かずお 高橋 一夫
ナンバリングコード	DR322	授業形態	演習	有・無	
授業の内容	<p>基本的には前期「デジタルビデオ編集Ⅰ」受講生が対象だが、それ以外の学生も受講可。前期で学んだ技術を発展させ、より高度な映像表現を学ぶ。</p> <p>ビデオカメラ、スマホなどから取り込んだ映像や音を組み合わせて、自分の意図した映像作品を創作する。自己満足でなく、人が見て「理解できる」「おもしろい」映像作りを学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. 多様なメディア素材の取込ができる</p> <p>2. 多様なエフェクト／トランジションを使いこなすことができる</p> <p>3. 的確な撮影・編集表現ができる</p>				
学位授与方針	文化表現学科 (2・3)				
授業計画	第1回	内容	前期の復習と後期授業計画の詳細確認	予習	作品制作について考える
				復習	作品制作についてレポートにまとめる
	第2回	内容	参考作品鑑賞と意見交換	予習	参考作品について考える
				復習	参考作品についてレポートにまとめる
	第3回	内容	後期作品・企画書・シナリオ作成	予習	企画について考える
				復習	企画についてレポートにまとめる
	第4回	内容	プレゼンテーション	予習	プレゼンについて考える
				復習	プレゼンについてレポートにまとめる
	第5回	内容	撮影準備 (撮影計画作成とテスト撮影)	予習	撮影準備について考える
				復習	撮影準備についてレポートにまとめる
	第6回	内容	撮影のスキルアップ	予習	撮影スキルについて考える
				復習	撮影スキルについてレポートにまとめる
	第7回	内容	撮影実習	予習	撮影実習について考える
				復習	撮影実習についてレポートにまとめる
	第8回	内容	作品撮影	予習	作品撮影について考える
				復習	作品撮影についてレポートにまとめる
第9回	内容	撮影と取り込み	予習	撮影と取り込みについて考える	
			復習	撮影と取り込みについてレポートにまとめる	
第10回	内容	編集のスキルアップ	予習	編集スキルについて考える	
			復習	編集スキルについてレポートにまとめる	
第11回	内容	編集作業①	予習	編集作業①について考える	
			復習	編集作業①についてレポートにまとめる	
第12回	内容	編集作業②	予習	編集作業②について考える	
			復習	編集作業②についてレポートにまとめる	
第13回	内容	編集作業③	予習	編集作業③について考える	
			復習	編集作業③についてレポートにまとめる	
第14回	内容	編集作業④仕上げ／ブラッシュアップ完成	予習	仕上げについて考える	
			復習	仕上げについてレポートにまとめる	
第15回	内容	まとめ・全体の復習	予習	完成作品について考える	
			復習	完成作品についてレポートにまとめる	
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。					
課題へのフィードバック	作成した作品にコメントを行う				
成績評価	<p>試験期間における定期試験：実施 () する / (○) しない</p> <p>成績評価の方法： レポート・課題 (25%)、作品・発表 (25%)、実技 (25%)、授業態度 (25%)</p>				
教科書	なし				
参考文献	<p>『CG&映像しくみ事典』(永田豊志/CGWORLD、ワークスコーポレーション)、</p> <p>『映画の瞬き—映像編集という仕事』(ウォルター・マーチ/吉田 俊太郎、フィルムアート社)</p>				
注意事項	心や頭の中に浮かぶ形のないイメージを、映像と音を使って人に見てもらえる作品にすることで自己表現のノウハウを学んでほしい。				

科目名	ビデオ創作	単位数	2	実務経験	担当教員 たかはし かずお 高橋 一夫
ナンバリングコード	DR422	授業形態	演習	有・無	
授業の内容	本講座は映像のクリエイティビティ（創作表現）に主眼を置く。YouTube、ドラマ、CM…どんな映像も、伝えたいメッセージがあってはじめて様々なテクニックは生かされる。見る人に何を伝えたいか？その為にはどんな映像と音が必要か？表現と創作について考え、作品を制作する。				
到達目標	1. 頭の中にあるイメージを具体的な形（映像）にすることができる 2. 映像と音をコミュニケーションツールとして使うことができる 3. 多様な撮影・編集テクニックを使いこなすことができる				
学位授与方針	文化表現学科（2・3）				
授業計画	第1回	内容	講座の目的・概要と授業計画の説明。Q.&A	予習	ビデオ創作について考える
				復習	ビデオ創作についてレポートにまとめる
	第2回	内容	参考作品鑑賞。コンテンツの制作意図と、そのために使用されたテクニックを検証する	予習	参考作品について考える
				復習	参考作品についてレポートにまとめる
	第3回	内容	映像のテクニック 参考作品鑑賞と意見交換	予習	映像テクニックについて考える
				復習	映像テクニックについてレポートにまとめる
	第4回	内容	音響のテクニック 参考作品鑑賞と意見交換	予習	音響テクニックについて考える
				復習	音響テクニックについてレポートにまとめる
	第5回	内容	実習 高度な映像表現を学ぶ	予習	映像表現について考える
				復習	映像表現についてレポートにまとめる
	第6回	内容	実習 高度な音響表現を学ぶ	予習	音響表現について考える
				復習	音響表現についてレポートにまとめる
	第7回	内容	企画案・構成案・シナリオ作成①	予習	企画構成①について考える
				復習	企画構成①についてレポートにまとめる
	第8回	内容	企画案・構成案・シナリオ作成②	予習	企画構成②について考える
				復習	企画構成②についてレポートにまとめる
第9回	内容	実習 高度な撮影技術を学ぶ	予習	撮影技術について考える	
			復習	撮影技術についてレポートにまとめる	
第10回	内容	実習 高度な映像編集技術を学ぶ	予習	編集技術について考える	
			復習	編集技術についてレポートにまとめる	
第11回	内容	実習 高度な音響編集技術を学ぶ	予習	音響編集について考える	
			復習	音響編集についてレポートにまとめる	
第12回	内容	作品制作①映像撮影	予習	撮影について考える	
			復習	撮影についてレポートにまとめる	
第13回	内容	作品制作②映像編集	予習	映像編集について考える	
			復習	映像編集についてレポートにまとめる	
第14回	内容	作品制作③音響編集	予習	音響編集について考える	
			復習	音響編集についてレポートにまとめる	
第15回	内容	完成試写・全体復習	予習	完成作品について考える	
			復習	完成作品についてレポートにまとめる	
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。					
課題へのフィードバック	作成した作品にコメントを行う				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（25%）、作品・発表（25%）、実技（25%）、授業態度（25%）				
教科書	なし				
参考文献	『CG&映像しくみ事典』（永田豊志/CGWORLD、ワークスコーポレーション）、 『映画の瞬き—映像編集という仕事』（ウォルター・マーチ/吉田 俊太郎、フィルムアート社）				
注意事項	心や頭の中に浮かぶ形のないイメージを、映像と音を使って人に見てもらえる作品にすることで自己表現のノウハウを学んでほしい。				

科目名	DTPオペレーションI	単位数	2	実務経験	担当教員 もりやま たかつぐ 森山 隆次
ナバリングコード	DR231	授業形態	演習	有・無	
授業の内容	今日様々な職場で必要とされるクリエイティブ能力を、コンピュータによるコンテンツ制作を通じて養い、様々な企業においてデザイン・データ作成・文書管理といった専門職に通じる、DTP（ディスクトップパブリッシング）技術の習得と、理解企画力のある人材の育成を目指す。				
到達目標	1. グラフィックアプリケーションと専門PCの操作知識を習得している。 2. グラフィックデザインおよび企画・編集・出版・印刷の知識を習得している。 3. 学期中に2点課題の作成および提出をしている。				
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7） 地域保育学科（1・2・3・4・5） 文化表現学科（1・2・③・4）				
授業計画	第1回	内容	講習内容のオリエンテーション/講義 (DTPの基礎知識)	予習	
				復習	第1回配布資料を熟読しDTP用語を理解する
	第2回	内容	コンピュータ実習1/A 課題制作1・旅行会社が企画する海外ツアーのパンフレットの作成	予習	テーマ都市の旅行パンフレットを集める
				復習	グラフィックソフトの基本操作を反復する
	第3回	内容	コンピュータ実習2/A 課題制作2・画像の編集	予習	テーマ都市の画像データを収集する
				復習	グラフィックソフトの基本操作を反復する
	第4回	内容	コンピュータ実習3/A 課題制作3・テキスト編集・レイアウト編集	予習	テーマ都市のプロフィールを調べる
				復習	グラフィックソフトの応用操作を反復する
	第5回	内容	コンピュータ実習4/A 課題制作4・地図の編集・レイアウト編集	予習	テーマ都市の地図情報の収集する
				復習	グラフィックソフトの応用操作を反復する
	第6回	内容	コンピュータ実習5/A 課題制作5・画像の取り込み・レイアウト編集	予習	編集過程のデータチェック、修正する
				復習	グラフィックソフトの応用操作を反復する
	第7回	内容	コンピュータ実習6/A 課題制作6・全体の構成確認・レイアウト処理	予習	データのプリントテストをする
				復習	制作データの仕上げ・まとめる
	第8回	内容	コンピュータ実習7/A 課題提出まとめ・データの完成、プリントアウト	予習	データのチェック・提出準備する
				復習	完成データの提出をする
第9回	内容	コンピュータ実習8/B 課題制作1・飲食店のメニューの作成	予習	飲食店のメニューサンプルの収集する	
			復習	グラフィックソフトの基本操作を反復する	
第10回	内容	コンピュータ実習9/B 課題制作2・ページの構成	予習	当該のメニュー画像の収集する	
			復習	グラフィックソフトの応用操作を反復する	
第11回	内容	コンピュータ実習10/B 課題制作3・画像編集	予習	当該メニューの内容整理をする	
			復習	グラフィックソフトの応用操作を反復する	
第12回	内容	コンピュータ実習11/B 課題制作4・テキスト編集・レイアウト編集	予習	当該メニューのレイアウト構成レイアウト構成レイアウト構成する	
			復習	グラフィックソフトの応用操作を反復する	
第13回	内容	コンピュータ実習12/B 課題制作5・レイアウト処理	予習	メニューページの編集チェックチェックチェックする	
			復習	グラフィックソフトの応用操作を反復する	
第14回	内容	コンピュータ実習13/B 課題制作6・全体の構成確認・レイアウト処理	予習	データのプリントテストする	
			復習	制作データの仕上げ・まとめる	
第15回	内容	コンピュータ実習14/B 課題提出まとめ・データの完成、プリントアウト	予習	データのチェック・提出準備する	
			復習	完成データの提出をする	
予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。					
課題へのフィードバック	データと共に提示したプリントに、評価を記して返還する。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する/（□）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）%、レポート・課題（60%）、作品・発表（ ）%、実技（25%）、授業態度（15%）				
教科書	初回講習時に配布する資料を参考書とする				
参考文献	インターネットにより参考資料各種				
注意事項	課題は期限までのデータでの提出が必須、常に自己のデータの保安全管理に注意し、データの消失等に留意すること。				

科目名	DTPオペレーションⅡ		単位数	2	実務経験	担当教員 もりやま たかつぐ 森山 隆次
ナンバリングコード	DR331		授業形態	演習	有・無	
授業の内容	グラフィックデザインの職場で必要とされる、アプリケーションの操作技術の向上とデザイン・出版印刷業界企業の専門職に通じる、企画力のある人材の育成を目指す。「DTP オペレーションⅠ」で学んだ技能の応用力を伸ばす。					
到達目標	1. グラフィックアプリケーションと専門 PC の操作知識を習得している。 2. グラフィックデザインおよび企画・編集・出版・印刷の知識を習得している。 3. 学期中に 2 点課題の作成および提出している。					
学位授与方針	幼児教育学科 (1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科 (1・2・3・4・5) 文化表現学科 (1・2・③・4)					
授業計画	第1回	内容	講習内容のオリエンテーション/講義 (DTP の基礎知識)	予習		
				復習	第1回配布資料を熟読し DTP 用語を理解する	
	第2回	内容	コンピュータ実習 1 / A 課題制作 1・2019年のオリジナルカレンダーの制作	予習	既存のカレンダーのサンプリングする	
				復習	グラフィックソフトの基本操作を反復する	
	第3回	内容	コンピュータ実習 2 / A 課題制作 2・ページネーションとレイアウト編集	予習	2020年の暦データの確認する	
				復習	グラフィックソフトの基本操作を反復する	
	第4回	内容	コンピュータ実習 3 / A 課題制作 3・月毎の画像編集	予習	画像データの収集しておく	
				復習	グラフィックソフトの応用操作を反復する	
	第5回	内容	コンピュータ実習 4 / A 課題制作 4・表紙のデザイン制作	予習	表紙デザインのプランニングをする	
				復習	グラフィックソフトの応用操作を反復する	
	第6回	内容	コンピュータ実習 5 / A 課題制作 5・月毎各ページの編集制作	予習	編集過程のデータチェック、修正する	
				復習	グラフィックソフトの応用操作を反復する	
	第7回	内容	コンピュータ実習 6 / A 課題制作 6・提出前事前チェック・ブラッシュアップ	予習	データのプリントテストする	
				復習	制作データの仕上げ・まとめ	
	第8回	内容	コンピュータ実習 7 / A 課題提出まとめ・データの完成、プリントアウト	予習	データのチェック・提出準備をする	
				復習	完成データを提出する	
第9回	内容	コンピュータ実習 8 / B 課題制作 1・店舗の開店パンフ+サービスチケットの作成	予習	テーマの選定と資料収集する		
			復習	グラフィックソフトの基本操作を反復する		
第10回	内容	コンピュータ実習 9 / B 課題制作 2・既存印刷物のトレース編集	予習	サンプルからのアレンジ考案する		
			復習	グラフィックソフトの応用操作を反復する		
第11回	内容	コンピュータ実習 10 / B 課題制作 3・データ編集アレンジ・カラーリング	予習	オリジナルの色合いを考案する		
			復習	グラフィックソフトの応用操作を反復する		
第12回	内容	コンピュータ実習 11 / B 課題制作 4・全体の構成確認・レイアウト処理	予習	レイアウトの完成度を高めておく		
			復習	グラフィックソフトの応用操作を反復する		
第13回	内容	コンピュータ実習 12 / B 課題制作 5・チケットの編集作成	予習	サービスチケットのプランニングする		
			復習	グラフィックソフトの応用操作を反復する		
第14回	内容	コンピュータ実習 13 / B 課題制作 6・提出前事前チェック・ブラッシュアップ	予習	データのプリントテストする		
			復習	制作データの仕上げ・まとめる		
第15回	内容	コンピュータ実習 14 / B 課題提出まとめ・データの完成、プリントアウト	予習	データのチェック・提出準備する		
			復習	完成データの提出をする		
予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	データと共に提出したプリントに、評価を記して返却する。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する / (□) しない 成績評価の方法：筆記試験 () %、レポート・課題 (60%)、作品・発表 () %、実技 (25%)、授業態度 (15%)					
教科書	初回講習時に配布する資料を参考書とする					
参考文献	インターネットにより参考資料各種					
注意事項	課題は期限までのデータでの提出が必須、常に自己のデータの保全管理に注意し、データの消失等に留意すること					

科目名	イベント・プランニング	単位数	2	実務経験	担当教員	なかにし きわ 中西 希和
ナバリングコード	BP201	授業形態	講義	有・無		
授業の内容	観光関連産業の一つであるイベントは、「人と人」をつなぐコミュニケーション・メディアとしての役割を持ち、観光及びコミュニティ活動を活性化していくための効果的な手段として注目されている。この授業ではイベントについて理解し、観光と関連したイベントを企画することによって、観光アイデアを生み出し、提案していく力を身につけることを目指します。					
到達目標	1. イベントと観光の関係を理解し、説明できる 2. 観光に関するイベントのアイデアを発想することができる。 3. アイデアをもとに新しいイベントの企画書を作成し、発表することができる。					
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7） 地域保育学科（1・2・3・4・5） 文化表現学科（1 ② ③ 4）					
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション：イベントとは何か	予習	シラバスを読んでおくこと	
				復習	授業内容を理解すること	
	第2回	内容	イベントの歴史と分類	予習	イベントとは何かについて調べておく	
				復習	イベント内容について理解する	
	第3回	内容	コミュニケーション・メディアとしてのイベントの機能と効果	予習	イベントのコミュニケーション機能を調べておくこと	
				復習	イベントのコミュニケーション機能を理解すること	
	第4回	内容	観光産業としてのイベントの機能・効果	予習	観光とイベントの関係について調べておくこと	
				復習	観光とイベントの関係を理解すること	
	第5回	内容	観光及びイベントに関する関連法規	予習	観光・イベント関連法規について調べておくこと	
				復習	観光・イベント関連法規について理解すること	
	第6回	内容	博物館・美術館の展覧会① 展示のプロセス	予習	日本の博物館について調べておくこと	
				復習	博物館の展示について理解すること	
	第7回	内容	博物館・美術館の展覧会② 展示の事例	予習	日本の美術館について調べておくこと	
				復習	美術館の展示について理解すること	
	第8回	内容	イベントの企画	予習	イベントとは何かについて調べておくこと	
				復習	イベントの機能について理解すること	
第9回	内容	イベント企画の手法 アイデア発想	予習	イベントの発想を考えておくこと		
			復習	イベントの発想を具体化させること		
第10回	内容	イベント企画・立案	予習	イベントの企画について考えておくこと		
			復習	イベントの企画・立案について推敲しておくこと		
第11回	内容	イベント企画書の制作①	予習	イベント企画書を考えておくこと		
			復習	イベントの企画書の推敲をすること		
第12回	内容	イベント企画書の制作②	予習	イベント企画書をまとめる作業を考えておくこと		
			復習	イベント企画書に遺漏がないか考えること		
第13回	内容	プレゼンテーション① 準備	予習	イベント企画書のプレゼンの準備をすること		
			復習	イベント企画を確認すること		
第14回	内容	プレゼンテーション② 発表	予習	発表の準備をしておくこと		
			復習	発表後の反省点・課題点を考えること		
第15回	内容	授業の振り返りとまとめ	予習	全体を総括して問題点・課題点を考えておくこと		
			復習	実践に活かせることを考える		
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。						
課題へのフィードバック	授業内に小テストを実施し、解説と授業の振り返りを行います。					
成績評価	試験期間における定期試験： 実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（30%）、レポート・課題（20%）、発表（30%）、授業態度（20%）					
教科書	なし 必要に応じ、プリントを配布します。					
参考文献	授業の中で随時、紹介します。					
注意事項						

科目名	イベント・マネジメント	単位数	2	実務経験	担当教員	なかにし きわ 中西 希和
ナバリングコード	BP301	授業形態	講義	有・無		
授業の内容	イベントは効果的なコミュニケーション・メディアとして注目され、実施されていますが、様々なリスクも持っています。この授業では、イベントの運営、関連業務等を理解し、集客効果を上げるフライヤー、ポスターを制作する他、企画したイベントを成功させていくためには何が必要であるか、考えていきます。また観光、インバウンドについても触れます。					
到達目標	1. イベントを成功させるための具体的な計画を立てることができる。 2. 集客効果を上げるフライヤー、ポスターを制作する。 3. 多様な来場者、参加者への対応の仕方を理解している。					
学位授与方針	幼児教育学科 (1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科 (1・2・3・4・5) 文化表現学科 (1 ②③ 4)					
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	シラバスを読んでおく	
				復習	授業内容を理解する	
	第2回	内容	イベントの計画	予習	イベントの計画を考える	
				復習	イベントの計画を確認する	
	第3回	内容	イベントプログラムの制作	予習	イベントプログラムを考える	
				復習	イベントプログラムを確認する	
	第4回	内容	イベントの告知・集客	予習	イベントの集客方法を考える	
				復習	イベントの集客方法について理解する	
	第5回	内容	広報・PR活動	予習	イベントの広報・PR活動について考える	
				復習	広報・PR活動の重要性を理解する	
	第6回	内容	インバウンドの集客	予習	インバウンドについて調べる	
				復習	外国人旅行者へのアプローチ方法を理解する	
	第7回	内容	フライヤーの制作	予習	フライヤーのデザインを考える	
				復習	フライヤーの重要性を理解する	
	第8回	内容	イベントの運営	予習	イベント会場での運営業務について調べる	
				復習	会場での様々な業務について理解する	
第9回	内容	イベントにおけるリスク	予習	イベントでのリスクについて考える		
			復習	リスクに対する対策について理解する		
第10回	内容	イベント関連の保険	予習	イベント関連の保険について考える		
			復習	イベント関連の保険について理解する		
第11回	内容	イベントとコンプライアンス	予習	コンプライアンスについて調べる		
			復習	イベントのコンプライアンスを理解する		
第12回	内容	イベントにおけるサステナビリティ (持続可能性) とレガシー	予習	サステナビリティについて調べる		
			復習	サステナビリティについて理解する		
第13回	内容	ユニバーサルイベント	予習	ユニバーサルイベントについて調べる		
			復習	ユニバーサルイベントについて理解する		
第14回	内容	訪日外国人旅行者の対応	予習	訪日外国人旅行者への対応について調べる		
			復習	訪日外国人旅行者への対応について理解する		
第15回	内容	授業の振り返りとまとめ	予習	ノートを整理しておく		
			復習	内容を復習する		
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。						
課題へのフィードバック	授業内に小テストを実施し、解説と授業の振り返りを行います。					
成績評価	試験期間における定期試験： 実施 () する / (○) しない 成績評価の方法： 筆記試験 (30%)、課題 (20%)、作品 (30%)、授業態度 (20%)					
教科書	なし 必要に応じ、プリントを配布します。					
参考文献	授業の中で随時、紹介します。					
注意事項						

科目名	ファッションの知識と実務	単位数	2	実務経験	担当教員	なかにし きわ 中西 希和
ナバリングコード	BP202	授業形態	講義	有・無		
授業の内容	<p>ファッションの多様化とともに、ファッションの知識に対する重要性は高まっています。この授業では、ファッションの商品知識や基礎的な技術、ファッションビジネスの現状や仕組み、マーケティングやマーチャндаイジング、ファッション販売に関わる内容を取り上げ、ファッションに関する幅広い知識を習得することを目的とします。</p>					
到達目標	<p>1. ファッション商品の基礎知識を身につけている。 2. ファッション業界の全体像や現状を把握している。 3. ファッション情報を客観的に捉える力を身につけている。</p>					
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（1②③④）					
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション ファッションとは 資格について	予習	シラバスを読んでおく	
				復習	授業内容を理解する	
	第2回	内容	ファッションの商品知識① アイテムについて	予習	アイテムについて調べる	
				復習	アイテムについてまとめる。	
	第3回	内容	ファッションの商品知識② 素材について（繊維）	予習	繊維について調べる	
				復習	各素材の特徴を理解する	
	第4回	内容	ファッションの商品知識③ 素材について（布の構造）	予習	衣服に使われている素材を調べる	
				復習	布の構造を理解する	
	第5回	内容	ファッションの商品知識④ 表示について	予習	衣服の表示ラベルを調べる	
				復習	衣服の表示を確認する。	
	第6回	内容	ファッションビジネスの変遷と 特性について	予習	テキストの用語を調べる	
				復習	ファッションビジネスの変遷を整理する	
	第7回	内容	ファッション産業の構造① テキスタイル産業、アパレル産業の構造	予習	テキストの用語を調べる	
				復習	ファッション産業の構造を理解する	
	第8回	内容	ファッション産業の構造② 小売業の構造	予習	テキストの用語を調べる	
				復習	ファッション産業の構造を理解する	
第9回	内容	ファッション・マーケティングの基礎知識	予習	マーケティングについて調べる		
			復習	特性をまとめる		
第10回	内容	ファッション・マーチャндаイジングの 基礎知識	予習	マーチャндаイジングについて調べる		
			復習	企業の取り組みをまとめる		
第11回	内容	ファッションと環境問題	予習	テキストの用語を調べる		
			復習	用語を整理し、理解する。		
第12回	内容	ファッション小物制作①	予習	必要な材料、道具を準備する		
			復習	デザインを考える		
第13回	内容	ファッション小物制作②	予習	計画を立てる		
			復習	制作方法を確認する		
第14回	内容	ファッション小物制作③	予習	計画を確認する		
			復習	レポートにまとめる		
第15回	内容	授業の振り返りとまとめ	予習	ノートを整理しておく。		
			復習	実生活に活かす		
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。						
課題へのフィードバック	授業内に小テストを実施し、解説と授業の振り返りを行います。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（30%）、レポート（20%）、作品（20%）授業態度（30%）					
教科書	なし 必要に応じ、プリントを配布します。					
参考文献	『ファッション販売Ⅰ』（財団法人 日本ファッション教育振興協会）					
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図像資料を紹介しながら授業を行うため、パワーポイント、DVDを使用します。 ・ 配布資料が多いので、失くさないように整理して保管してください。 					

科目名	ファッションコーディネート	単位数	2	実務経験	担当教員	なかにし きわ 中西 希和
ナンバリングコード	BP302	授業形態	講義	有・無		
授業の内容	この授業では、ファッションコーディネートの基本的な知識や技術を身につけ、2種類以上のアパレル商品を組み合わせることによってトータルに美しく着こなす方法、また自分らしさを表現する方法を考えていきます。					
到達目標	1. ファッションコーディネートに関する基本的な知識や技術を身につけている。 2. 目的やイメージに合ったコーディネートをトータルで表現することができる。					
学位授与方針	幼児教育学科 (1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科 (1・2・3・4・5) 文化表現学科 (1 ②・3・4)					
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション ファッションコーディネートの重要性	予習	シラバスを読んでおく ○	
				復習	この授業で習得すべき内容を理解する	
	第2回	内容	20世紀のファッション史	予習	配布プリントを読んでおく	
				復習	戦後のファッション史を理解する	
	第3回	内容	ファッション情報について	予習	配布プリントを読んでおく	
				復習	ファッション情報を収集する	
	第4回	内容	ファッション商品の基礎知識	予習	配布プリントを読んでおく	
				復習	アクセサリについてレポートにまとめる	
	第5回	内容	色によるコーディネート① 色の分類、色の心理的効果	予習	配布プリントの用語を調べる	
				復習	色についての基礎を理解する	
	第6回	内容	色によるコーディネート② (制作)	予習	必要な道具を準備する	
				復習	コーディネートの種類を整理し、まとめる	
	第7回	内容	素材・イメージによるコーディネート① イメージの分類	予習	配布プリントの用語を調べる	
				復習	素材、イメージについて理解する	
	第8回	内容	素材・イメージによるコーディネート② 制作	予習	必要な道具を準備する	
				復習	コーディネートの種類を整理し、まとめる	
第9回	内容	体型に合わせたコーディネート	予習	配布プリントの用語を調べる		
			復習	授業内容を確認し、整理しておく		
第10回	内容	ライフスタイルに合わせたコーディネート① (個別コーディネート作成方法)	予習	配布プリントの用語を調べる		
			復習	コーディネートの種類を整理しておく		
第11回	内容	ライフスタイルに合わせたコーディネート② (個別コーディネート作成)	予習	必要な道具を準備する		
			復習	コーディネートの種類を整理し、まとめる		
第12回	内容	フォーマルウェアの知識 (昼、夜、ウェディング、ブラックのフォーマル)	予習	配布プリントの用語を調べる		
			復習	フォーマルウェアの種類を理解する		
第13回	内容	ネイルの基礎知識	予習	配布プリントの用語を調べる		
			復習	ネイルケアを行う		
第14回	内容	ヘア&メイクの基礎知識	予習	必要な道具等を準備する		
			復習	普段のメイクを見直す		
第15回	内容	授業の振り返りとまとめ	予習	配布プリントを整理しておく		
			復習	内容を復習する		
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。						
課題へのフィードバック	授業内に小テストを実施し、解説と授業の振り返りを行います。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する / (○) しない 成績評価の方法：筆記試験 (30%)、作品 (40%)、授業態度 (30%)					
教科書	なし 必要に応じ、プリントを配布します。					
参考文献	授業の中で随時、紹介します。					
注意事項	・ 図像資料を紹介しながら授業を行うため、パワーポイント、DVDを使用します。 ・ 配布資料が多いので、失くさないように整理して保管してください。					

科目名	ショップ・プレゼンテーション	単位数	2	実務経験	担当教員	なかにし きわ 中西 希和
ナンバリングコード	BP402	授業形態	演習	有・無		
授業の内容	<p>ショップでは、ただ商品を並べるだけでなく、商品やショップのコンセプトをアピールしてお客様をひきつけ、買い物をするためにわかりやすく快適な環境を作る必要があります。</p> <p>この授業では、お客様にとって快適なショップとは何かを考え、基礎的な陳列や展示方法、POP、ラッピングの技術を習得することを目指します。</p>					
到達目標	<p>1. 快適で魅力的なショップとは何かを理解している。</p> <p>2. ショップ演出の基礎的な知識、技術を身につけている。</p>					
学位授与方針	幼児教育学科 (1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科 (1・2・3・4・5) 文化表現学科 (1 ②・③ 4)					
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション ショップ演出の重要性、購買心理	予習	シラバスを読んでおく	
				復習	この授業で習得すべき内容を理解する	
	第2回	内容	快適なショップ(売り場)作り、 ディスプレイの役割と効果、照明・色彩	予習	配布プリントを読んでおく	
				復習	売り場環境づくりについてまとめる	
	第3回	内容	陳列の基本とさまざまな方法について、 ショップの事例紹介、実習	予習	陳列について調べる	
				復習	陳列方法を理解する	
	第4回	内容	展示の基本とさまざまな方法について、 ショップの事例紹介、実習	予習	展示について調べる	
				復習	展示方法を理解する	
	第5回	内容	POPの役割、POP文字の書き方、 基本的なレイアウト	予習	POPについて調べる	
				復習	ショップの様々なPOPに注目してみる	
	第6回	内容	POP制作	予習	POPのデザイン、コピーを考える	
				復習	POPの役割を理解する	
	第7回	内容	ラッピング 斜め包み、合わせ包み、リボンの結び方	予習	ラッピングについて調べる	
				復習	ラッピング方法を理解する	
	第8回	内容	ラッピング ふろしき包み、ラッピングの応用	予習	配布プリントを読み、確認する	
				復習	実生活で実践する	
第9回	内容	アパレル商品の陳列・展示方法① フォーミング、フォルデッド	予習	必要な道具等を準備する		
			復習	手法を理解する		
第10回	内容	アパレル商品の陳列・展示方法② レイダウン、ピンナップ	予習	必要な道具等を準備する		
			復習	様々手法についてまとめる		
第11回	内容	学外見学(百貨店等のディスプレイ見学)	予習	見学場所について調べる		
			復習			
第12回	内容	学外見学(百貨店等のディスプレイ見学)、 学外見学まとめ(レポート提出)	予習			
			復習	レポートにまとめる		
第13回	内容	ディスプレイ実習①(ディスプレイ計画、 グループ決定)	予習	配布プリントを読んでおく		
			復習	担当する作業を理解する		
第14回	内容	ディスプレイ実習②(グループごとにディ スプレイ発表)	予習	必要な道具等を準備する		
			復習	実習を振り返り、考えをまとめる		
第15回	内容	授業の振り返りとまとめ	予習	配布プリントを整理しておく		
			復習	内容を復習する		
予習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。						
課題へのフィードバック	授業内に小テストを実施し、解説と授業の振り返りを行います。					
成績評価	<p>試験期間における定期試験： 実施()する/ (○)しない</p> <p>成績評価の方法： 筆記試験(30%)、レポート・課題(30%)、発表(10%)、授業態度(30%)</p>					
教科書	なし 必要に応じ、プリントを配布します。					
参考文献	授業の中で随時、紹介します。					
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 画像資料を紹介しながら授業を行うため、パワーポイント、DVDを使用します。 ・ 配布資料が多いので、失くさないように整理して保管してください。 					

科目名	カラーコーディネート	単位数	2	実務経験	担当教員 もりやま たかつぐ 森山 隆次
ナンバリングコード	BP211	授業形態	講義	有・無	
授業の内容	実社会における様々な分野で注目されている「カラーコーディネーター」について、その基礎を身に付け、クリエイティブな仕事に対応できる能力を身につける。				
到達目標	1. 文部科学省認定の色彩検定3級の資格取得の能力がついている。 2. 文部科学省認定の色彩検定2級の知識の習得の能力がついている。 3. 実習課題の制作提出がされている。				
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7） 地域保育学科（1・2・3・4・5） 文化表現学科（1・2・③・4）				
授業計画	第1回	内容	講習内容のオリエンテーション（授業内容とスケジュールの説明）	予習	
				復習	色彩が社会に役立つ事例を調べてまとめる
	第2回	内容	基本講習1（色のはたらき）	予習	次回講習項目について教科書を熟読する
				復習	出題された課題を仕上げる
	第3回	内容	基本講習2（光と色）	予習	次回講習項目について教科書を熟読する
				復習	出題された課題を仕上げる
	第4回	内容	基本講習3（色の表示Ⅰ）	予習	次回講習項目について教科書を熟読する
				復習	出題された課題を仕上げる
	第5回	内容	基本講習4（色彩心理）	予習	次回講習項目について教科書を熟読する
				復習	出題された課題を仕上げる
	第6回	内容	基本講習5（配色調和）	予習	次回講習項目について教科書を熟読する
				復習	出題された課題を仕上げる
	第7回	内容	基本講習6（色彩効果）	予習	次回講習項目について教科書を熟読する
				復習	出題された課題を仕上げる
	第8回	内容	基本講習7（色彩と生活）	予習	次回講習項目について教科書を熟読する
				復習	出題された課題を仕上げる
第9回	内容	基本講習8（ファッション）	予習	次回講習項目について教科書を熟読する	
			復習	出題された課題を仕上げる	
第10回	内容	基本講習9（インテリア）	予習	次回講習項目について教科書を熟読する	
			復習	出題された課題を仕上げる	
第11回	内容	基本講習10（色名）	予習	次回講習項目について教科書を熟読する	
			復習	出題された課題を仕上げる	
第12回	内容	基本講習11（色の表示Ⅱ）	予習	次回講習項目について教科書を熟読する	
			復習	出題された課題を仕上げる	
第13回	内容	色彩検定対策講習Ⅰ（模擬試験）	予習	過去問題を閲覧し試験問題の傾向を把握する	
			復習	模擬試験の結果の正誤を分析する	
第14回	内容	色彩検定対策講習Ⅱ	予習	3級と2級の違いを理解しておく	
			復習	本試験に向けて不明点を確認しておく	
第15回	内容	総評・まとめ	予習	テキスト全体の再度熟読する	
			復習		
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。					
課題へのフィードバック	提出した課題を返却時、個々にその仕上がりについて面談でコメントする				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（□）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（70%）、レポート・課題（15%）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度（15%）				
教科書	『色彩検定公式テキスト3級編』（AFT企画）、『新配色カード199a』（日本色研事業株式会社）				
参考文献	インターネットにより参考資料各種				
注意事項	実社会で資格として通用する2級試験の受験希望者は『色彩検定公式テキスト2級編』を購入する事を推奨する。				

科目名	商品とデザイン	単位数	2	実務経験	担当教員 もりやま たかつぐ 森山 隆次
ナバリングコード	BP311	授業形態	演習	有・無	
授業の内容	コンピュータと最新のグラフィックアプリケーションでのオペレーションを取り入れ、実社会の各分野に通用する、実践的な課題の制作に取り組み、デザインセンスを身に付け、自ら創造し提案「できる」能力を磨き、創造力を高める人材の育成を目指す				
到達目標	1. グラフィックアプリケーションの操作技術が身についている。 2. オリジナルのデザイン制作ができる、創造力やセンスが身についている 3. 学期中に2点課題の作成および提出ができる。				
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7） 地域保育学科（1・2・3・4・5） 文化表現学科（1・②・③・4）				
授業計画	第1回	内容	講習内容のオリエンテーション（授業内容とスケジュールの説明）	予習	
				復習	初回到配布された資料を熟読する
	第2回	内容	コンピュータ実習1（ソフトウェアの使い方）	予習	ソフトウェアのメニューを予め確認する
				復習	ソフトの操作・データの扱いを再確認する
	第3回	内容	コンピュータ実習2（A課題作成）・食品サンプルの作成	予習	自ら製作する作品のラフスケッチを描く
				復習	データ制作・取り扱いの流れを再確認する
	第4回	内容	コンピュータ実習3（A課題作成）・画像編集	予習	自ら製作する素材画像データを集める
				復習	画像編集の操作を反復する
	第5回	内容	コンピュータ実習4（A課題作成）レイアウト編集	予習	ラフスケッチと実データを比較検討する
				復習	レイアウト編集操作を反復する
	第6回	内容	コンピュータ実習5（A課題作成）カラー編集	予習	実データの配色を考える
				復習	作成データの色違い版を作る
	第7回	内容	コンピュータ実習6（A課題作成）	予習	実物を作るためのレシピを考える
				復習	データのプリントテストする
	第8回	内容	コンピュータ実習7（A課題作成）課題のプリントアウト、提出	予習	データのチェック・提出準備をする
				復習	完成データを提出する
第9回	内容	コンピュータ実習7（B課題作成）・製品パッケージの制作	予習	見本となるパッケージサンプルを探す	
			復習	ソフトウェアの操作を反復する	
第10回	内容	コンピュータ実習8（B課題作成）・展開図の制作	予習	インターネットにて展開図見本を見ておく	
			復習	展開図の見直し修正する	
第11回	内容	コンピュータ実習9（B課題作成）・バージョン編集	予習	製品のシリーズ化を考える	
			復習	色・文字編集メニューを反復する	
第12回	内容	コンピュータ実習10（B課題作成）・プリント+組み立て	予習	プリントメニューを確認する	
			復習	課題作品の問題点をチェックする	
第13回	内容	コンピュータ実習11（B課題作成）・データのブラッシュアップ	予習	データの修正点を考える	
			復習	データの完成度を高める	
第14回	内容	コンピュータ実習12（B課題作成）課題のプリントアウト、提出	予習	データのチェック・提出準備をする	
			復習	完成データを提出する	
第15回	内容	講義（製品とデザインの今後） 後期授業のまとめ、総評	予習	提出データの確認とPDF科する	
			復習	ポートフォリオ用データを作る	
予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。					
課題へのフィードバック	提出課題時、データと共に提した作品物に、評価を記して返還する。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（□）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）％、レポート・課題（60％）、作品・発表（25％）、実技（ ）％、授業態度（15％）				
教科書	『書名』（著者名、出版社名） 初回講習時に配布する資料を参考書とする				
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） インターネットにより参考資料各種				
注意事項	課題は期限までのデータでの提出が必須、常に自己のデータの保全管理に注意し、データの消失等に留意すること。				

科目名	商業デザイン演習	単位数	2	実務経験	担当教員 もりやま たかつぐ 森山 隆次
ナバリングコード	BP411	授業形態	演習	有・無	
授業の内容	本授業ではコンピュータによる課題作成を中心に、学生各自のデザインの想像力・創作力をデータ作成という具現化実習を通じて、クリエイティブ能力を発展・向上させ、積極的な提案を求められる実社会に通用するスキルを育てることを主たる目的とする。				
到達目標	1. グラフィックアプリケーションの操作の習得している 2. 学期中に2点課題の作成および提出している 3. 国際ユニバーサルデザイン協会認定「UD検定」受験ための知識を習得している。				
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（1・②・③・4）				
授業計画	第1回	内容	講習内容のオリエンテーション、講義（デザイン史および現代デザイン概論、ユニバーサルデザイン概論）	予習	
				復習	初回到配布された資料を熟読する
	第2回	内容	コンピュータ実習1（ソフトウェアの使い方）	予習	ソフトウェアのメニューを予め確認する
				復習	ソフトの操作・データの扱いを再確認する
	第3回	内容	コンピュータ実習2（A課題作成）・オリジナルTシャツの制作	予習	既成の見本をインターネットにて参照する
				復習	ソフトの操作・データの扱いを再確認する
	第4回	内容	コンピュータ実習4（A課題作成）レイアウト編集	予習	レイアウト案のラフスケッチを描く
				復習	レイアウト編集操作を反復する
	第5回	内容	コンピュータ実習5（A課題作成）画像編集及びテキスト編集	予習	取り込む画像データを用意する
				復習	画像編集操作を反復する
	第6回	内容	コンピュータ実習6（A課題作成）プリントアウト。データ提出	予習	データのチェック・提出準備をする
				復習	データのプリントテストする
	第7回	内容	コンピュータ実習6（A課題作成）プリントアウト。データ提出	予習	データのチェック・提出準備をする
				復習	完成データを提出する
	第8回	内容	実習1「データに基づいて、オリジナルTシャツ（実物）を作る	予習	実物用プリントを用意する
				復習	仕上がり作品をチェックする
第9回	内容	コンピュータ実習7（B課題作成）・オリジナルベルティエの制作	予習	作品のテーマを考える・見本を探す	
			復習	ソフトの操作・データの扱いを再確認する	
第10回	内容	コンピュータ実習8（B課題作成）レイアウト編集	予習	レイアウト案のラフスケッチを描く	
			復習	レイアウト編集操作を反復する	
第11回	内容	コンピュータ実習9（B課題作成）画像編集	予習	使用する画像データを集める	
			復習	画像編集操作を反復する	
第12回	内容	コンピュータ実習10（B課題作成）テキスト編集	予習	テキスト編集メニューを確認する	
			復習	テキスト編集操作を反復する	
第13回	内容	コンピュータ実習11（B課題作成）カラー編集	予習	データの配色を考える	
			復習	課題作品の問題点をチェックする	
第14回	内容	コンピュータ実習12（B課題作成）、課題のプリント提出	予習	データのチェック・提出準備をする	
			復習	完成データを提出する	
第15回	内容	講義（デザイン概論総集）、まとめ・総評	予習	初回到配布された資料を再読する	
			復習	ポートフォリオ用データを作る	
予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。					
課題へのフィードバック	提出課題時、データと共に提した作品物に、評価を記して返還する。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（□）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（60%）、作品・発表（25%）、実技（ ）、授業態度（15%）				
教科書	『書名』（著者名、出版社名） 初回講習時に配布する資料を参考書とする				
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） インターネットにより参考資料各種				
注意事項	課題は期限までのデータでの提出が必須、常に自己のデータの保全管理に注意し、データの消失等に留意すること。				

科目名	秘書概論	単位数	2	実務経験	担当教員 やまぐち ひろみ 山口 博美
ナンバリングコード	BP221	授業形態	講義	有・無	
授業の内容	秘書業務は、あらゆる組織で働く人々の基本的姿勢や、ビジネスの上での必要最低限の知識が盛り込まれている。秘書としての必要な知識を学びながら、上司のためだけでなく、組織の一員として自分がどう行動すればよいかを学ぶ。働き方改革を捉え、自らの将来を見据えたキャリアプランを考えることも授業の内容の一つである。				
到達目標	1. 秘書業務を理解し知識を身につけ、「秘書検定3級」に合格する知識を身につけている。 2. 「秘書実務」と連動して実務に役立つ行動力、表現力、マナーを身につけている。 3. 社会人として一般常識を身につけ、職場での学びを行動に活かせることを理解している。				
学位授与方針	幼児教育学科 (1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科 (1・2・3・4・5) 文化表現学科 (①・②・③・④)				
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション この講座の目的(基礎編3級合格)と受講の心構え	予習	テキストを読みこの講座の目的を調べる
				復習	アンケートの答え自己のマナーを採点する
	第2回	内容	秘書の歴史と概念の変化	予習	秘書のイメージの変化を調べる
				復習	秘書の役割をまとめる
	第3回	内容	秘書と会社組織(管理組織と経営方法)	予習	会社と組織そして秘書の立場
				復習	各課の役割についてまとめる
	第4回	内容	秘書の求められる資質と能力	予習	秘書の気配りと心構え
				復習	秘書と上司の関係 ポイント4つ ノートをまとめる
	第5回	内容	秘書業務(1)	予習	職務知識1について調べる
				復習	挨拶、言葉づかいとマナーについてまとめる
	第6回	内容	秘書業務(2)	予習	職務知識2について調べる
				復習	受付と来客対応についてまとめる
	第7回	内容	秘書業務(3)	予習	職務知識3について調べる
				復習	電話、名刺、日程管理についてまとめる
	第8回	内容	職務知識(4)	予習	職務知識4について調べる
				復習	手紙文の形式と郵便知識をまとめる
第9回	内容	職務知識(5)	予習	職務知識5について調べる	
			復習	冠婚葬祭マナーについてまとめる	
第10回	内容	職務知識(6)	予習	職務知識6について調べる	
			復習	宗派と葬儀、服装としきたり	
第11回	内容	職務知識(7)	予習	会議と経営用語について調べる	
			復習	総会、人事考課、降格、更迭などをまとめる	
第12回	内容	ビジネス実務	予習	ビジネス用語について調べる	
			復習	M&A、トップダウン等についてまとめる	
第13回	内容	ビジネス実務	予習	社内文書の種類と作成を調べる	
			復習	会議の案内書をまとめる	
第14回	内容	ビジネス実務	予習	社交文書の書き方を調べる	
			復習	新製品の案内状をまとめる	
第15回	内容	ビジネス実務	予習	伝言メモの取り方を調べる	
			復習	贈答品の送り方をまとめる	
予習に要する学習時間：概ね 15分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30分を目安とする。					
課題へのフィードバック	ノートを確認し、コメントをいれる				
成績評価	試験期間における定期試験：実施(○)する/()しない 成績評価の方法：筆記試験(60%)、レポート・課題(20%)、作品・発表()、実技()、授業態度(20%)				
教科書	秘書検定3級 集中講義 早稲田教育出版				
参考文献	『書名』(著者名、出版社名)				
注意事項	授業を通し、社会人としての一般的常識を身につけて就職に生かして欲しい。				

科目名	秘書実務	単位数	2	実務経験	担当教員 やまぐち ひろみ 山口 博美
ナバリングコード	BP321	授業形態	演習	有・無	
授業の内容	現代の秘書の仕事は、上司の補佐のみならず、あらゆる仕事の流れを知り、職場全体の仕事の知識・理解や人間関係を円滑にするという、ビジネスに欠くことのできぬ存在である。「秘書検定2級」合格は、「仕事の基本」と人柄育成を目指すことに繋がり、必要な専門的知識と実務能力を身につけていることを示す。				
到達目標	1. 就職活動にも効果的であり、社会人としての基礎を身に着けている。 2. 秘書検定2級を目指し、合格する。 3. 学んだことをビジネスの場だけではなく、あらゆる場で秘書としての人間性、社会性を表現できる。				
学位授与方針	幼児教育学科 (1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科 (1・2・3・4・5) 文化表現学科 (①・②・③・4)				
授業計画	第1回	内容	講義のオリエンテーション、	予習	秘書の仕事について調べる
				復習	講義の心構えと目標、検定日程についてまとめる
	第2回	内容	秘書業務の基礎知識	予習	秘書に求められる資質と素養について調べる
				復習	秘書検定2級問題で確認する
	第3回	内容	秘書と会社組織との関係	予習	会社組織と経営・法律用語の意味を調べる
				復習	秘書検定2級問題で確認する
	第4回	内容	秘書の必要とされる脂質	予習	秘書の能力について調べる
				復習	秘書検定2級問題で確認する
	第5回	内容	職務知識 (1)	予習	役割と機能について調べる
				復習	秘書検定2級問題で確認する
	第6回	内容	職務知識 (2)	予習	上司に対する理解を調べる
				復習	秘書検定2級問題で確認する
	第7回	内容	職務知識 (3)	予習	定型業務の意味を調べる
				復習	秘書検定2級問題で確認する
	第8回	内容	職務知識 (4)	予習	越権行為と進言について調べる
				復習	検定2級問題で確認する
第9回	内容	職務知識 (5)	予習	守秘義務について調べる	
			復習	検定2級問題で確認する	
第10回	内容	職務知識 (6)	予習	出張、会議の連絡業務を調べる	
			復習	検定2級問題で確認する	
第11回	内容	一般知識 手紙と電話	予習	郵便と手紙の知識の種類とを調べる	
			復習	検定2級問題で確認する	
第12回	内容	一般知識 メモと伝言、文書の種類	予習	必要用語を調べる	
			復習	検定2級問題で確認する	
第13回	内容	実技 マナー、接遇、敬語、冠婚葬祭	予習	人間関係としきたりを調べる	
			復習	検定2級問題で確認する	
第14回	内容	実技 社内文書、社交文書の作成	予習	社内文書の書き方を調べる	
			復習	検定2級問題で確認する	
第15回	内容	実技 グラフ、表の表し方	予習	統計をグラフ、表で表すことを調べる	
			復習	検定2級問題で確認する	
	予習に要する学習時間：概ね 15分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30分目安とする。				
課題へのフィードバック	ノートの確認コメントをいれる				
成績評価	試験期間における定期試験：実施 (○) する / () しない 成績評価の方法：筆記試験 (60%)、レポート・課題 (20%)、作品・発表 ()%、実技 ()%、授業態度 (20%)				
教科書	『書名』(著者名、出版社名) 秘書検定 2級実問題集 早稲田教育出版				
参考文献	『書名』(著者名、出版社名)				
注意事項	一般常識として就職試験にも生かせるようにする。				

科目名	販売サービス	単位数	2	実務経験	担当教員 しみず としゆき 清水 敏行
ナンバリングコード	BP231	授業形態	講義	有・無	
授業の内容	小売業における販売サービスの基本として、店舗運営の基本的役割とその流れ、陳列の目的と各種パターン、顧客の購買心理プロセス、接客販売の基本について学習します。また、販売員の基本業務、必要となる法律知識について、販売事務と計数管理の基本、売場の人間関係、店舗管理の役割についても習得します。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 販売サービスに関連する基礎理論や知識を習得できる。 2. 流通に関する今日的な実務・実践的な事例内容（店舗や商品など）を理解できる。 3. 「販売士3級試験」合格レベルの実力が養成できる。 				
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（1・②・③・④）				
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション ストアオペレーションの基本 （店舗運営の重要性と役割）	予習	シラバスを読んでおく
				復習	店舗運営の基本についてまとめる
	第2回	内容	ストアオペレーションの流れ （開店準備、発注・荷受け、補充、包装）	予習	開店準備から運営の流れを調べる
				復習	小売店舗での実際の運営についてまとめる
	第3回	内容	ディスプレイの基本的役割 （陳列の目的と役割）	予習	ディスプレイの目的と役割について調べる
				復習	ディスプレイの評価基準についてまとめる
	第4回	内容	ディスプレイの基本パターン① （陳列器具の形状によるパターン）	予習	陳列器具の種類について調べる
				復習	ディスプレイの実例についてまとめる
	第5回	内容	ディスプレイの基本パターン② （販売方法の特徴によるパターン）	予習	販売方法と陳列の関係について調べる
				復習	ディスプレイと売り方の実例をまとめる
	第6回	内容	ワークスケジューリングの基本 （作業割当の基本的役割）	予習	作業割当の役割について調べる
				復習	店舗での作業割当の実例についてまとめる
	第7回	内容	顧客の購買心理と接客販売の基本 （購買心理過程の段階、接客販売技術）	予習	顧客の購買心理のプロセスについて調べる
				復習	顧客心理と接客の関係についてまとめる
	第8回	内容	販売員の基本業務 （販売員の目的と役割、クレーム対応）	予習	販売員の役割と目的について調べる
				復習	販売員の売場での実際の行動をまとめる
第9回	内容	販売員に必要な法律知識① （販売活動、商品、販売促進関連法規）	予習	販売活動に関する主な法規について調べる	
			復習	商品、販売促進との関係をまとめる	
第10回	内容	販売員に必要な法律知識② （消費者基本法、環境問題関連法規）	予習	消費者基本法、環境基本法の重要事項を調べる	
			復習	消費者と環境問題の関係についてまとめる	
第11回	内容	販売事務の基本 （販売管理に伴う事務の役割と内容）	予習	販売活動と販売事務の関係について調べる	
			復習	販売事務の役割と内容についてまとめる	
第12回	内容	計数管理の基本 （売価の計算、売買損益の計算法）	予習	売買損益計算のプロセスについて調べる	
			復習	売買損益計算を実際に計算してまとめる	
第13回	内容	売場の人間関係 （コミュニケーションの基本と人間関係）	予習	売場でのコミュニケーションを調べる	
			復習	コミュニケーションと人間関係をまとめる	
第14回	内容	店舗管理の役割 （金銭管理、店舗施設の保守・管理）	予習	店舗施設の保守・管理について調べる	
			復習	店舗施設の役割についてまとめる	
第15回	内容	総まとめ/店舗運営と販売・経営管理	予習	店舗運営と管理について調べる	
			復習	店舗運営と販売・経営管理をまとめる	
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。					
課題へのフィードバック	選択した期末課題レポートのテーマの要点について解説する				
成績評価	試験期間における定期試験：（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（90%）、授業態度（10%）				
教科書	『販売士3級<第4版>』（清水敏行、中谷義浩、土居寛二/税務経理協会）				
参考文献	『流通経済の手引き』（日本経済新聞社） 『日経MJ流通新聞』（日本経済新聞社）				
注意事項	他の学生の勉学を妨げる行為は禁止（私語、携帯電話など）。				

科目名	流通経済のしくみ	単位数	2	実務経験	担当教員 しみず としゆき 清水 敏行
ナンバリングコード	BP331	授業形態	講義	有・無	
授業の内容	私たちの日常生活の幅広い分野に関わりのあるマーケティング活動を基礎から体系的に理解することを目的とします。市場における流通活動を中心としたマーケティングの基本知識と、時事・実務ケースなどの事例を合わせて学習していきます。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. マーケティングの基本的な考え方を習得できる。 2. 実際の仕事の場面でどのように活用するのか具体的な方法を理解できる。 3. 今日的な問題に対してどのように対応するのかを習得できる。 4. マーケティング的な視点からものごとを見る姿勢や能力を養成することができる。 				
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（1・②・③・④）				
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション マーケティングの概要（定義と役割） 事例研究①（具体的な企業や商品ケース）	予習	シラバスを読んでおく
			復習	マーケティングの基本的考え方をまとめる	
	第2回	内容	マーケティング・コンセプトの推移（考え方と発展過程） 事例研究②（具体的な企業や商品ケース）	予習	マーケティングの理念の推移を調べる
			復習	マーケティングの推移の各段階をまとめる	
	第3回	内容	マーケティング・マネジメント（環境と管理） 事例研究③（具体的な企業や商品ケース）	予習	マーケティング管理の3段階を調べる
			復習	マーケティング管理の実例をまとめる	
	第4回	内容	市場細分化の基本（基準と条件） 事例研究④（具体的な企業や商品ケース）	予習	市場細分化の種類を調べる
			復習	市場細分化の実例をまとめる	
	第5回	内容	標的市場の設定（設定の各方法） 事例研究⑤（具体的な企業や商品ケース）	予習	標的市場設定の2つのタイプを調べる
			復習	標的市場の設定の実例をまとめる	
	第6回	内容	マーケティング・リサーチ（市場調査のプロセスと方法） 事例研究⑥（具体的な企業や商品ケース）	予習	市場調査の方法について調べる
			復習	市場調査の実例についてまとめる	
	第7回	内容	消費者行動（購買意思決定のプロセスと要因） 事例研究⑦（具体的な企業や商品ケース）	予習	消費者行動の各要因について調べる
			復習	消費者行動の実例についてまとめる	
	第8回	内容	製品戦略①（製品分類、ライフサイクル） 事例研究⑧（具体的な企業や商品ケース）	予習	製品の分類について調べる
			復習	製品の具体的な特性についてまとめる	
第9回	内容	製品戦略②（ブランド、新製品開発） 事例研究⑨（具体的な企業や商品ケース）	予習	製品開発のプロセスについて調べる	
		復習	製品開発の実例についてまとめる		
第10回	内容	価格戦略（価格設定方法、価格政策） 事例研究⑩（具体的な企業や商品ケース）	予習	価格戦略の種類について調べる	
		復習	価格戦略の実例についてまとめる		
第11回	内容	流通チャネル戦略①（流通機能、流通政策） 事例研究⑪（具体的な企業や商品ケース）	予習	流通チャネル戦略の種類について調べる	
		復習	流通チャネル戦略の実例についてまとめる		
第12回	内容	流通チャネル戦略②（物流、新しい流通） 事例研究⑫（具体的な企業や商品ケース）	予習	物流の流れについて調べる	
		復習	物流戦略の実例についてまとめる		
第13回	内容	プロモーション戦略①（広告、パブリシティ） 事例研究⑬（具体的な企業や商品ケース）	予習	プロモーションの4分野について調べる	
		復習	プロモーションの実例についてまとめる		
第14回	内容	プロモーション戦略②（人的販売、販売促進） 事例研究⑭（具体的な企業や商品ケース）	予習	販売促進の種類について調べる	
		復習	販売促進方法の実例についてまとめる		
第15回	内容	総まとめ/マーケティングの体系 事例研究⑮（具体的な企業や商品ケース）	予習	マーケティングの体系について調べる	
		復習	マーケティングの体系の重要性をまとめる		
予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。					
課題へのフィードバック	作成したレポートにコメントを行う				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する 成績評価の方法：筆記試験（60%）、レポート・課題（30%）、授業態度（10%）				
教科書	『マーケティング・ビジネス実務検定＜ベーシック版テキスト第7版＞』（国際実務マーケティング協会編、税務経理協会）				
参考文献	『流通経済の手引き』（日本経済新聞社） 『日経トレンドィ』（日経ホーム出版社）				
注意事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事例研究レポートは、毎回の授業時に作成し提出します。 2. 他の学生の勉学を妨げる行為は禁止（私語、携帯電話など）。 				

科目名	簿記と会計のしくみ	単位数	2	実務経験	担当教員	かし 柏 俣 また ひろ 廣 行 ゆき
シリングコート	BP232	授業形態	講義	有・無		
授業の内容	簿記の基本的なしくみについて理解し、企業における取引を合理的、能率的に記帳する知識と技術を習得することを目的とした授業である。					
到達目標	1. 簿記の意味や意義を理解し、計数的に取引を処理する力をつけることができる。 2. 企業の実情をつねに計数的にとらえる力をつけることができる。 3. 経営の結果を各種の計算表にまとめ、検討し新しい計画を立てる資料を作成する力をつけることができる。					
学位授与方針	幼児教育学科 (1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科 (1・2・3・4・5) 文化表現学科 (1・2・③・4)					
授業計画	第1回	内容	ガイダンス・、簿記の意味・目的など簿記の基礎について説明をする。	予習	シラバスを読んでおくこと	
				復習	ノートを確認しておくこと	
	第2回	内容	資産・負債・純資産と貸借対照表と収益・費用と損益計算書について説明をする。	予習	貸借対照表と損益計算書について調べる	
				復習	簿記の五つの要素についてまとめる	
	第3回	内容	取引と勘定、仕訳と転記について説明をする	予習	仕訳帳と総勘定元帳について調べる	
				復習	取引の記帳についてまとめる	
	第4回	内容	試算表と精算表について説明をする。	予習	取引の記帳がしっかりできるようにしておく	
				復習	取引からの精算表までの流れをまとめる。	
	第5回	内容	決算の意味・手続きについて説明をする。	予習	決算の意味について調べる	
				復習	決算の意味・手続きをまとめる	
	第6回	内容	現金・預金などの取引について説明をする。	予習	現金・預金の種類について調べる	
				復習	各種出納帳の記帳についてまとめる	
	第7回	内容	商品売上の取引について説明をする。	予習	掛け取引について調べる	
				復習	仕入帳・売上帳についてまとめる	
	第8回	内容	商品有高帳と商品売買損益計算について説明をする。	予習	商品有高帳の記帳方法について調べる	
				復習	三分法で処理する意義をまとめる	
第9回	内容	手形の取引について説明をする。	予習	手形の種類、記帳について調べる		
			復習	各種記入帳をまとめる		
第10回	内容	有価証券の取引について説明をする。	予習	有価証券とは何か調べる		
			復習	取得と売却についてまとめる		
第11回	内容	その他の債権・債務の取引について説明をする。	予習	その他の債権・債務について調べる		
			復習	債権・債務についてまとめる		
第12回	内容	固定資産の取引について説明をする。	予習	固定資産とは何か調べる		
			復習	取得・売却、台帳についてまとめる		
第13回	内容	個人企業の取引と税金の取引についての説明をする。	予習	税金の種類について調べる		
			復習	個人企業の取引についてまとめる		
第14回	内容	決算整理・精算表について説明をする。	予習	決算整理の意味について調べる		
			復習	精算表作成出来るようにする		
第15回	内容	帳簿決算・財務諸表の作成について説明をする。	予習	財務諸表とは何か調べる		
			復習	企業の決算についてまとめる		
予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	適宜、ノート・問題集により理解度を示す確認の時間をとる。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施 (○) する / () しない 成績評価の方法： 筆記試験 (60%)、レポート・課題 (20%)、作品・発表 () %、実技 () %、授業態度 (20%)					
教科書	『新簿記』(安藤英義 実教出版)					
参考文献	最新段階式簿記検定問題集 全商3級 実教出版、日商簿記検定模擬問題集 3級					
注意事項	教科書、問題集、電卓、筆記用具(赤ペン)、定規の5点セットを忘れないでください。					

科目名	簿記演習	単位数	2	実務経験	担当教員	かし また ひろ ゆき 柏 俣 廣 行
シラバスコード	BP332	授業形態	演習	有・無		
授業の内容	実際に行われている企業における取引を合理的、能率的に記帳する知識と技術を習得することを目的とした授業である。また、日商簿記検定3級合格を目指す内容です。					
到達目標	1. 簿記の意味や意義を理解し、計数的に取引を処理する力をつけることができる。 2. 企業の実情をつねに計数的にとらえる力をつけることができる。 3. 経営の結果を各種の計算表にまとめ、検討し新しい計画を立てる資料を作成する力をつけることができる。					
学位授与方針	幼児教育学科 (1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科 (1・2・3・4・5) 文化表現学科 (1・2・③・4)					
授業計画	第1回	内容	ガイダンス・現金預金・小口現金の意味・目的などについて	予習	当座借越について調べる	
				復習	ノートを確認しておくこと	
	第2回	内容	社債・株式の購入、売却について。	予習	手数料の扱いについて調べる	
				復習	社債・株式の仕訳処理についてまとめる	
	第3回	内容	借入金、商品券の取り扱いについて	予習	振込手数料の取り扱いについて調べる	
				復習	利息・手数料の扱いについてまとめる	
	第4回	内容	手形裏書譲渡、割引、手形借り入れについて	予習	裏書きについて調べる	
				復習	手形取引についてまとめる	
	第5回	内容	仕入返品・戻し、売上返品・戻りについて	予習	手付金相殺、商品券受取について調べる	
				復習	売上・仕入の手続きをまとめる	
	第6回	内容	固定資産の購入・売却について	予習	減価償却累計額について調べる	
				復習	購入・売却についてまとめる	
	第7回	内容	株式会社の設立と基本仕訳について	予習	株式会社とは、何かについて	
				復習	剰余金の配当と処分についてまとめる	
	第8回	内容	店舗の固定資産税と店主個人の所得税について	予習	固定資産税について調べる	
				復習	税金の処理についてまとめる	
第9回	内容	手形の取引について	予習	手形の種類、記帳について調べる		
			復習	各種記入帳をまとめる		
第10回	内容	有価証券の取引について	予習	有価証券とは何か調べる		
			復習	取得と売却についてまとめる		
第11回	内容	その他の債権・債務の取引について	予習	その他の債権・債務について調べる		
			復習	債権・債務についてまとめる		
第12回	内容	従業員の所得税(源泉徴収)、社会保険料の処理について	予習	社会保険料とは何か調べる		
			復習	各種税の処理についてまとめる		
第13回	内容	本支店会計について	予習	本支店会計について調べる		
			復習	本支店の取引についてまとめる		
第14回	内容	決算整理・精算表について	予習	決算整理の意味について調べる		
			復習	8桁精算表作成出来るようにする		
第15回	内容	帳簿決算・財務諸表の作成について	予習	財務諸表とは何か調べる		
			復習	企業の決算についてまとめる		
予習に要する学習時間：概ね 40 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	適宜、ノート・問題集により理解度を示す確認の時間をとる。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施(○)する/()しない 成績評価の方法：筆記試験(60%)、レポート・課題(20%)、作品・発表()%、実技()%、授業態度(20%)					
教科書	『新簿記』(安藤英義 実教出版)					
参考文献	最新段階式簿記検定問題集 全商3級 実教出版、日商簿記検定模擬問題集 3級					
注意事項	教科書、問題集、電卓、筆記用具(赤ペン)、定規の5点セットを忘れないでください。					

科目名	文書処理演習	単位数	2	実務経験	担当教員	えもと まさし 江本 全志
ナンバリングコード	BP241	授業形態	演習	有・無		
授業の内容	文書作成ソフトのワードの応用的な操作を学びます。表や図形の使い方、ビジネス文書の形式、見栄えの良い文書の作り方、エクセルとの連携、目次を作るために必要なスタイルの使い方などを学びます。MOS (マイクロソフトオフィススペシャリスト) のワードの試験に合格できるスキルを身に付けることを目指します。					
到達目標	1. ワードの応用的な操作ができる。 2. 見栄えの良い文書が作成できる。 3. 社会生活において困らない文書作成スキルを身につけている。					
学位授与方針	幼児教育学科 (1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科 (1・2・3・4・5) 文化表現学科 (1・2・ 3 ・4)					
授業計画	第1回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく	
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する	
	第2回	内容	ワードの基本操作	予習	ワードの機能を調べる	
				復習	ワードの基本操作を復習する	
	第3回	内容	画像の編集・クリップアート	予習	クリップアートについて調べる	
				復習	画像の編集の機能を復習する	
	第4回	内容	履歴書の作成	予習	ワードの表機能について調べる	
				復習	表の作り方を復習する	
	第5回	内容	ビジネス文書の形式	予習	ビジネス文書について調べる	
				復習	ビジネス文書の形式を再度確認する	
	第6回	内容	旅のしおりの作成	予習	交通機関の時間や料金の探し方を調べる	
				復習	表機能と画像の貼り付け方を復習する	
	第7回	内容	旅のしおりの作成の続き	予習	旅行日程について調べる	
				復習	ページ区切りや表示の仕方を復習する	
	第8回	内容	フォントについて	予習	フォントの種類について調べる	
				復習	見栄えの良いフォントについて考える	
第9回	内容	文章と図の配置とデザイン	予習	見栄えの良いデザインを探す		
			復習	作成したスライドを考察する		
第10回	内容	名刺の作成	予習	QRコードについて調べる		
			復習	図形ツールの使い方を復習する		
第11回	内容	名刺の作成の続き	予習	フリー画像素材サイトについて調べる		
			復習	作成した名刺を考察する		
第12回	内容	差し込み文書	予習	差し込み文書について調べる		
			復習	差し込み文書のやり方を復習する		
第13回	内容	本の形式	予習	スタイル機能について調べる		
			復習	スタイル機能を復習する		
第14回	内容	本の形式の続き	予習	ヘッダーフッター機能について調べる		
			復習	目次の作り方を復習する		
第15回	内容	まとめ	予習	これまで作成した課題を確認する		
			復習	これまで作成した課題を振り返る		
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	学生が作成した課題に問題がある場合、コメントを行なう。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する / (O) しない 成績評価の方法： レポート・課題 (50 %)、授業態度 (50 %)					
教科書	プリントまたは PDF 形式のファイルを配布します。					
参考文献	なし					
注意事項						

科目名	表計算演習	単位数	2	実務経験	担当教員	えもと まさし 江本 全志
ナンバリングコード	BP341	授業形態	演習	有・無		
授業の内容	表計算ソフトのエクセルの応用的な操作を学びます。計算や関数の使い方、絶対参照やピボットテーブルの使い方、様々なグラフの作り方、データの集計や分析の仕方、マクロ（VBA）を使った簡単なプログラムの作成などを行ないます。MOS（マイクロソフトオフィススペシャリスト）のエクセルの試験に合格できるスキルを身に付けることを目指します。					
到達目標	1. エクセルの応用的な操作ができる。 2. 簡単なデータの集計や分析ができる。 3. 様々なグラフが作成できる。 4. 社会生活において困らない表計算スキルを身につけている。					
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（1・2・③・4）					
授業計画	第1回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく	
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する	
	第2回	内容	計算演習	予習	速さと割合に関する数式を調べる	
				復習	計算式の入れ方を復習する	
	第3回	内容	関数演習	予習	エクセルの関数の種類を調べる	
				復習	関数の使い方を復習する	
	第4回	内容	関数演習の続き	予習	仕事でよく使われる関数を調べる	
				復習	VLOOKUP 関数の使い方を復習する	
	第5回	内容	絶対参照・ピボットテーブルの演習	予習	絶対参照とピボットテーブルについて調べる	
				復習	絶対参照の使い方を復習する	
	第6回	内容	グラフ	予習	エクセルのグラフの種類を調べる	
				復習	グラフの作り方を復習する	
	第7回	内容	グラフの続き	予習	グラフ作成で使うデータを確認する	
				復習	複合グラフの作り方を復習する	
	第8回	内容	データベース作成	予習	データベースについて調べる	
				復習	データの整列の仕方を復習する	
	第9回	内容	データ分析	予習	100%積み上げグラフについて調べる	
復習				COUNTIF 関数の使い方を復習する		
第10回	内容	データ分析の続き	予習	ピボットテーブルの操作について調べる		
			復習	ピボットテーブルの使い方を復習する		
第11回	内容	万年カレンダーの作成	予習	日付に関する関数を調べる		
			復習	条件付き書式を復習する		
第12回	内容	マクロ 健康チェック	予習	マクロとVBAについて調べる		
			復習	フォームの作り方を復習する		
第13回	内容	マクロ 年齢計算	予習	干支と星座の出し方を調べる		
			復習	マクロの操作を復習する		
第14回	内容	マクロ 年齢計算の続き	予習	図形ツールについて調べる		
			復習	IF 文の書き方を復習する		
第15回	内容	まとめ	予習	これまで作成した課題を確認する		
			復習	これまで作成した課題を振り返る		
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	学生が作成した課題に問題がある場合、コメントを行なう。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（50%）、授業態度（50%）					
教科書	プリントまたはPDF形式のファイルを配布します。					
参考文献	なし					
注意事項						

(添付資料)

【文化表現学科】

「実務経験のある教員等による授業科目」一覧

(シラバスリンク)

https://www.akikusa.ac.jp/akitan/wordpress/wp-content/themes/akikusaTheme/assets/pdf/bh_syllabus_2019.pdf#pagemode=bookmarks

	科目名	単位数	授業形態	担当教員	シラバスページ
1	マンガ・イラスト表現Ⅰ	2	演習	飯田	60
2	マンガ・イラスト表現Ⅱ	2	演習	飯田	62
3	校正・校閲演習Ⅰ	2	演習	野中	76
4	校正・校閲演習Ⅱ	2	演習	野中	77
	計	8			

(実務家教員略歴)

飯田 耕一郎 ～ 漫画編集部勤務を経て、漫画家として活動する傍ら、日本マンガ塾講師を務める。

野中 博史 ～ 大学卒業後28年間、新聞記者として実務を担当。

注) 「実務経験のある教員等による授業科目」とは、担当する授業科目に関連した実務経験を有している者が、その実務経験を十分に授業に活かしつつ、実践的教育を行っている授業科目を指す。実務経験があっても、担当する授業科目の教育内容と関わりがなく、授業に実務経験を活かしているとは言えない場合は対象とはならないことに注意すること。また、必ずしも実務経験のある教員が直接の担当でなくとも、例えば、オムニバス形式で多様な企業等から講師を招いて指導を行う場合や、学外でのインターンシップや実習等を授業の中心に位置付けているなど、主として実践的教育から構成される授業科目もこれに含む。必修科目、選択科目又は自由科目の別を問わない。